

THE MONTHLY REPORT

OF

SEITO JITSUGYO KIOKWAI.

DECEMBER 1918 No. 12.

大 正 七 年 十 二 月

青 島 實 業 協 會

月 報

第 十 二 號

大正七年八月十九日第三種郵便物認可
大正七年十二月二十日發行
(每月一回二十日發行)

△本號要項▽

△統	△倫	△法	△青	△內	△主	△金	△海	△貿	△資	△協
	敦		島	外	要		運			會
	銀		雜	經	貿		及			錄
	塊			濟	易		鐵			
	相			時	品					
				概	概					
計	場	規	錄	報	況	融	道	易	料	事

青島及其附近人口

(十 月 卡)

國籍	戶數	人		計口
		男	女	
日本	四、九二一	一〇、四二三	八、六七一	一九、〇九四
支那人	一四、一八八	五一、二九四	二七、〇一〇	七八、三〇四
獨逸	一〇〇	一一三	二二七	三四〇
英國	一	一	二	二
奧國	二五	二二	三六	五八
露國	一六	一六	二九	四五
米國	一二	一六	一七	三三
丁抹	三	三	五	八
諾威	一	一	一	一
和蘭	二	二	一	二
佛國	一	一	二	二
希臘	一	一	一	一
瑞典	一	一	一	一
瑞典	二	二	一	三
葡萄牙	一	一	一	一
日本人計	四、九二一	一〇、四二三	八、六七一	一九、〇九四
支那人計	一四、一八八	五一、二九四	二七、〇一〇	七八、三〇四
歐米人計	一六六	一七七	三二〇	四九七
合計	一九、二七五	六一、八九四	三六、〇〇一	九七、八九五

▽青島實業協會月報第拾貳號目次△

協會錄事

□十二月例會.....一

□處務要件.....二

資料

□英人の見たる最近支那貿易事情.....四

□青島に於ける石鹼需給狀態.....七

□山東牛青島輸出狀況.....一〇

□博山の工業概況.....一五

貿易

□青島貿易近況.....一八

□主要貿易品情勢.....一九

海運及鐵道

□青島最近船舶出入.....二〇

□臨時船舶出入情況.....二一

□海州航路補助.....二一

□內地儲船運賃氣配.....二二

□內地近海運輸近況.....二二

□青島港出入汽船細別表.....二三

□三驛發著主要貨物.....二七

□山東鐵道輸送貨物比較表.....二八

金融

□銀塊並爲替相場.....一三

主要貿易品概況

□綿糸布 □砂糖 □材木 □石油 □紙卷煙草 □米 □木炭 □燐寸 □落花生實 □落花生油 □豆油

□牛肉 □鹽 □石炭 □棉花 □コークス □小麥 □牛皮 □紙類

内外經濟時報

□鹽供給に付當局の辯明	三七
□支那關稅改正委員會	三九
□米國棉花分配委員會の議決	三九
□山西の石炭	四三
□日本の陝西石油協定	四三
□保險業法改正諮問	四四
□世界金融中心の移動	四四
□流行性感冒と被保險人死亡	四五
□休戰條約と米國産業に對する制限撤廢	四五
□英國軍事從事員に對する戰後の措置	四五
□青島に於ける麥粉輸入情況	四六

青島雜錄

□護岸工事開始	□第三埠頭計畫	□港内浮標の撤去	□青島港則改正	□貨物引換證券	□制錢被害問題
□臺西鎮の發展	□小包關稅收入	□通信聯絡狀況	□畜產博出品數	□民事訴訟減少	□開設許可鹽田
□石臼所白楊樹	□本年家屋建築	□煙草栽培適地	□麥酒工場擴張	□人事	

法規

□電報料金後納規則	五〇
-----------	----

倫敦銀塊相場

□十一月中表示	五二
---------	----

寄贈書目

□十一月中到著の分及前號記載洩の分	五二
-------------------	----

青島物價表

□十月中青島の物價	五三
-----------	----

統計

□輸出入貿易	□青島三驛發著貨物主要品	□埠頭陸揚船積貨物	□出入汽船數	□出入汽船旅客數	□乘降鐵道旅客	□青島屠殺場屠殺數
--------	--------------	-----------	--------	----------	---------	-----------

青島實業協會月報 第拾貳號

協會錄事

十二月例會

大正七年の最終例會即ち十二月十日會は昨日午後五時半市民會内に開會、出席員左の如し

△出席會員（順序不定）

橫濱正金銀行出張所	南滿洲鐵道會社販出張所
梶野洋行	中村組支店
山田出張所	東和公司支店
日本棉花會社出張所	三菱商會社出張員
安部幸商店出張店	朝鮮銀行支店
江商株式會社支店	三井物產會社出張所
大連汽船會社出張所	茂木合名會社出張所
日本郵船會社出張所	湯淺貿易會社出張所
福昌公司出張所	岩城商會支店
大倉商會社出張所	内外棉會社出張所

（以上二十名）

晚餐後少憩、議事に入る前幹事（三井物產飯塚重五郎氏）より南滿洲鐵道株式會社青島鑛業部販賣課出張所撤廢來る十五日限り協會を退會さるる趣き披露し之に對し代表者岩崎恒義氏挨拶、次で梶野洋行代表者合田幸一氏を紹介、合田氏挨拶、次に三菱商會社青島出張員代表者關口嘉重氏を紹介、關口氏挨拶、次で吉見書記長より過日次男出生に付協會員代表者一統より祝儀

に預りしは感謝に堪わす此の機會に於て重て御禮を申述べと挨拶す、之より幹事は

一、吉田領事東上發程に付協會を代表し幹事に於て挨拶し置けり

一、米國領事よりの申出に係る恤兵義捐金は既に御承知の通り銀六拾圓、金參百參拾圓釀金を得たるに付き直に領事に送り置きたるに過日鄭重なる謝狀に接せり

一、會員大阪商船會社出張員は故森田氏死去後懸案中の所過日協會より本社に照會の結果愈よ退會のことに商船近海課長上谷續氏より回答ありたり

（書記長書信朗讀）

一、電話架設開通に就ては前回建議案出て遂に協會基金を以て之を記入することに決定され居たるも其後當局に懇請し架設方重て希望し置きたる所幸ひ一口の都合可能となり結局協會基金を煩はさず目的を達したるは當局の盡力に待つもの多く御同様同慶のことと信ず、之に就ては早速幹事及び書記長より夫々當局に謝する所ありたり

一、議事其他の場合ひ出席員意思表決に就て從來或る場合に於ては頗る満足を缺くものあるやに思はる今後は白球黒球を一箇の函に投入し白球を以て可とし黒球を以て否とするの方法を取り其の黑白何れが多數に歸するを待ち可否を決せん方法なり此の方法に據るときは極めて簡單に且つ無遠慮に表示さるることを得む御異議なければ直に設備すべし（賛成者多數、本件可決）

一、委員設定の場合之が任期に就ては從來殆んど有耶無耶に葬り去られたる觀あり今後は委員擔任事項解決と共に之が

解任解散等は一定の形式に於て全員に告知することとしたし例へば來るべき全員會合の機會に於て之が解任を報告し其の重大なる心勞に對しては慰勞謝意を表する等の如し

一、小麥委員解任の件は既に小麥問題も夫々解決し目下麥粉關稅問題のみ殘留の狀態なるが曩に選ばれたる三井物産、鈴木商店、湯淺貿易、東和公司、峯村洋行(常任、月番幹事)の小麥委員は今日を以て解任することとしたし

一、役員制度改正可否に就ては前回協議の結果委員附託となり該委員は前月二十七日會合種々協議したるも之が可否に就ては遽に決定の運びに至らず散會せり(とて其の會合所論の要旨を詳述し)故に今夕新めて出席各員の御意見を發表ありたしと希望し二三發言ありたるも最早議論し盡したるものとし採決の結果左記決定せり

一、役員制度は現在の儘とすること

一、常任幹事の名義を幹事長に改め規約を改正すること

一、月番幹事は現行の儘とすること

(規約中改正 第八條本會に幹事長一名、幹事二名を置く幹事長は會員の選舉に據り任期を六箇月とし幹事は月番により會員相互之に當り共に常務を處理す)

一、之より直に幹事長の選舉に移り投票の結果最高點を以て太田保一郎氏(横濱正金銀行青島出張所代表者)當選、太田氏より就任挨拶あり

一、錢業公所に關する研究委員に就ては幹事長指名説出たるも結局投票に據ることとなり一票七名連記投票の結果左の如く高點順により當選せり

三井物産株式會社青島出張所

朝鮮銀行支店

鈴木商店青島出張所

東和公司支店

峯村洋行

日本郵船株式會社青島出張事務所

湯淺貿易株式會社青島出張所

(湯淺貿易會社、茂木合名會社は同點なりしを以て抽籤の結果湯淺當選せり)

以上當選者の外幹事長、幹事(月番)之に加はることとなる以上各項逐次議事を終り最後に十二月分月番幹事は

岩城商會支店

大日本麥酒會社青島出張所

なる旨披露し午後九時過ぎ散會せり

處務要件

◎會議

一、小麥產地證明書に據る輸出未済の分關係者集會十一月十七日市民會内に會合協議せり

一、役員制度改正可否委員會十一月二十七日市民會内に開會せり

一、十二月例會は同月十日午後五時半市民會内に開會せり

◎調查回答

一、大阪東區辻石太郎商店より亞鉛製練業者に關する照會あり調查回答す

一、大阪東區山下庄七商店より牛皮取扱業者及輸出統計に關する照會あり調查回答す

◎來訪者 十一月中の來訪者四十五名にして内重なるものは

▲静岡縣濱松精練會社代表社員津倉龜治氏は經濟調査の爲め
▲山口高等商業學校講師法學士若森久靖氏は支那視察の途
▲元青島守備軍民政部警務部長憲兵中佐峯幸松氏は京都憲兵隊
長赴任挨拶の爲め▲大阪毎日新聞上海特派員平川清風氏は山
東事情調査の爲め▲警務部長山口憲兵大佐は著任挨拶の爲め
▲山東窯業株式會社取締役海田久之助氏は經濟調査の爲め▲大
連浪花商會の中山直榮氏は大連商業會議所の紹介を以て山東
に於ける獸毛調査の爲め▲内外貿易株式會社の松田琢海氏は
花生及花生調査の爲め何れも來訪せられたり

◎文書取扱件數 十一月中文書取扱件數は發信に係はる分二百
八十九件、受信に係はる分九十九件なり

◎雜件

一、協會用專用電話架設に就ては當局の盡力に依り愈々番號
八九六番を以て十二月五日より開通に付き吉見書記長は即日
夏秋總務部長、中野民政署長、古賀遞信部長、石井課長、中
川局長を歴訪し感謝の意を表せり

一、十一月十八日米國領事(非公式)よりの來書に依り直に協
會員宛恤兵義捐金に關する件取計ひたる所銀六十圓、金三百
三十圓の醵金を得たるを以て同月二十二日吉見書記長之を携
へベック氏を訪問手渡し置きたるに同月二十七日左記の通り
謝狀に接せり

Tsingtau, China, November 27, 1918.

The Japanese Business Men's Association,

Tsingtau, China.

Gentlemen :

I recently had the honor to inform you that there was in progress in the United States a "United War Work Campaign", i.e., a concerted effort to raise money for the support of work being done in Europe for the welfare of the soldiers of Allied Nations by seven American organizations. I stated that in spite of the fact that Japan is generously supporting its own organizations for this kind of work I ventured to inform you of this activity, in order that if any of your members should desire to contribute thereto, the opportunity should be afforded them to do so.

In response to this I was very agreeably surprised to receive from your Secretary the large sum of gold yen 330 and silver yen 60, towards this work. In view of the fact that you and your fellow nationals are already supporting much charitable work of this nature and have made many generous gifts to similar work undertaken by your Allies, this gift is indicative of an especially friendly regard for my fellow countrymen, and of a hearty sympathy with their efforts for the welfare of the Allied soldiers. It is therefore especially pleasing, and I have the honor to request that you will accept my hearty and sincere thanks on behalf of the American societies to which you have made this kind contribution.

Very respectfully yours

Willis R. Peck,

American Consul.

(Without official status)

資 料

英人の最近支那貿易事情

見たる 最近支那貿易事情

一、銀價昂騰と支那貿易

一九一七年度に於ても銀價昂騰の趨勢は依然停止する所なく前年度の平均相場三志三片十六分の十三に比し四志三片十六分の十三の高きを示せしが故に若其他の條件にして同一なりしならむには之が爲に輸入を促進し輸出を減退せしめしや疑なかりしならむも實際に於て輸入増進輸出減退の事實は顯著ならず上海税關の報告によるに爲替相場昂騰の外形上に顯はれたる結果は即ち金融逼迫の事實なりとす蓋一方に於ては銀價昂騰の爲に有利なる價格を以て金を買入得へきが故に金塊の買収を誘致し之が爲に市場流通の通貨を減少せしめ他方に於ては海外に在る支那移民は出來得る限り其本國に對する送金を手控へむとし其平時本國より注文する日用品等の買入額をも成るべく節約せむと力めしが故に此種の送金は例年に比して著しく減少せしによる

二、大戰と支那貿易

而して前記銀價昂騰に拘らず輸入増進の結果の顯著なるものなかりしは他方に於て貿易増進を阻礙する幾多の原因ありしに因るものにして即ち一九一七年度に於ける支那貿易の發展を阻礙せし諸原因は船腹不足、運賃暴騰、物價騰貴及各國に於ける戰事輸出入の制限等なりとす加之此等世界的一般的原因の外支那に於ては秩序紊亂、各地に於ける大洪水等の爲に貿易阻害の影響を蒙りしことも亦注意すべき事項なりとす

惟ふに銀價の昂騰は明に輸入を増進すべき傾向あるは確なりと雖も而も他方に於て外國品の價格の暴騰するときは勢支那人をして外國品に代ゆるに内國品の使用を餘儀なくせしむるに至るは自然の結果にして例へば石油の價格暴騰すれば植物製油類を代用し外國輸入の綿製品にしても著しく騰貴すれば内國に於ける布疋類、タオル、肌著類の製造使用を盛ならしむるが如き是れなり然らば即ち吾人は這回の大戰に依りて支那貿易の將來に關する一大教訓を得たり乃ち支那貿易は常に外國人の經營誘掖てふ溫室内に栽培せらるるに非ずんば直ちに萎靡枯死するが如き纖弱なる外來植物にあらずして實に自ら繁茂生長すべき充分なる活力を有し従つて何等の保護を受けずとも極めて不利の外圍に在りて猶自ら之に適應して生育發達すべき性質を有する堅固無比の野生樹なることを知るに至れることは是れなり

之れを支那輸入品中の大宗たる綿製品に就きて云ふに總べての條件は孰れも對支貿易の障害ならざるものなし即ち一方には各國に於ける勞力不足、同盟罷業、物價暴騰（特に荷造用の木材、紙、錫、染色用の染料藥品の缺乏）及び棉作不況に因る棉花の暴騰等により綿製品は空前の暴騰を示し（時に平年の三倍の高値を見たることありき）他方には運賃保險料の暴騰と我國に於けるが如く綿絲綿布類は一定の場合の外箱詰とするを禁ずと云ふが如き輸出に對する制限あり此等諸種の事情は支那人の如き保守的なる需要者の到底適應受忍すること能はざる所にして之が爲に我國の對支貿易は一大打撃を蒙りたるに反し日本の紡績業者は實に其對支輸出を増進せしめ得へき千載一遇の好機に際會せり即ち彼等は此有利なる地位を極度に利用して其輸出を伸展せしめしを以て彼等の支那市場に對する販路擴張と其

輸出額の激増とは即ち昨年度に於ける支那外國貿易に就き最も注目すべき事實なりとす是を以て英米二國の對支綿絲布輸出額は前々年度に比して減少せしに拘らず支那の輸入額は却つて二千二百萬兩の増加を示し此増加は主として日本の供給する所なりとす

三、製造業用機械類の需要

支那に於ける各種製造業の發達に伴つて諸種の機械類の需要を増加せしむべきは當然のことにして各開港場地方に於ては既に各國商工業者等は現に盛に使用せられつつある機械類の種類に就き詳細なる調査を行ひ以つて將來の供給に關して準備する所あるを見る例令ば政府の事業用としては砲兵工廠、造幣廠、鐵道、造船所、製革所等の使用する機械の需要あるべく民間事業用としては電燈、鑛山等の事業近年頻に發達しつつあるが故に此種事業に要する各種の機械裝置は將來年と共に其需要を激増すべく又現に經營しつつある製絲工場、紡績工場、莫大小工場及紡織工場等の數も亦尠なからざる所なるが此種の紡織工場、其他精米工場、製粉工場、製油、製材、製紙等各種の製造工場は將來各地共に其設立を見るに至るべく之に要する機械の需要額も莫大なるべし其外煉瓦、セメント、蠟燭、石鹼、硝子、陶磁器等を製造する各種工場は近來年と共に増加し又各地方に於て製造せらるる紙卷煙草は外國輸入の煙草と激烈なる競争を開始し能く其地歩を維持しつつあり其他内地の大都市に於ては漸次水道の敷設を開始し印刷業も亦次第に普及せむとする傾向あるを見る

四、關東州に於ける日本の製造業

關東州地方に於て日本人が經營を開始せる事業は支那人の事業

經營に對して好個の模範を示すものにして之が爲に各地方に於ける支那人の製造業を勃興せしむるに至るべきは事實なるべきを以て該地方に現に製出せらるる製品の種類を列舉するは我貿易業者にとりて無益のことにあらざるべし即ち其製品中前述せるものを除き重要なもの左の如し

化學工業品中重要なものは

油類、グリセリン、硫酸、乳酸、滑石粉末、澱粉、固形油ステアリン(脂肪素)、炭化カルシウム、硫化アムモニア苛性曹達、曹達灰、バリウム化合物(此中骨粉製造は主なるものなり)

其他醫療機械(特に外科用機械)暖房裝置加熱機械、電球埴塙及自轉車等の製造亦盛にして此等地方には既に電燈電話電氣鐵道等の裝置あるは勿論なりとす又紙製模造バナマ帽は其賣行頗る良好なるが如し

此支那地方よりの報告を綜合するに此等地方に於ては歐米諸國より輸入の杜絶と共に日本品の輸入盛んに行はれ従つて日本品は從來の歐米品の地位に代るに至れり而して此等日本品中其價格の低廉なると其品質の漸次著しく改良せられたるとの故を以つて戰後に至るも猶能く其現在の地位を維持し得べき望あると思惟せらるる貨物は即ち

紙類、綿布疋、綿絲、綿製眞田、綿レース、模造金糸銀糸、エナメル引鐵器等の雜品並に電機類等

にして毛織物、木綿糸、石油、アニリン染料、紙卷煙草、硝子器、針等の日本品は品質極めて劣等なるを以て當分歐米品と競争して著しく遜色あるを免れず従つて近き將來に於て是を排斥するが如きことなかるべし而して日本製綿布疋の發達近年特に

著しきは吾人の茲に看過すべからざる一事にして其他日本より輸入する家庭用石鹼及び護謄製品の大部分は夫々レバー、ブラザー、商會及びダンロップ會社の製品にして此等二商會は既に日本に支店工場を設立せるものなりとす

五、開戦後の新輸出入品

這回大戦の勃發以來交戦國との輸入杜絶を來せし結果として各國製造工業用の原料供給の途亦杜絶し爲に之が供給を支那に求むるもの尠からず是を以て戦前に在りては支那輸出品中に認むるを得ざりし所謂新なる輸出品の増加を見るに至りしことは特に注意すべき所なりとす

例は甘草の如き植物は米國に於て煙草製造、チューインガム製造用として其需要大なるものにして戦前に在りて之が供給は主として小亞細亞、ペルシア地方に仰ぎ來りしがメソポタミヤ地方に於ける軍事的行動の結果として其供給の途全然杜絶するに至れり之を以て今や青海甘肅地方に之を求むるに至り而も其品質從來のものに比して稍劣る所ありと雖も其輸出額年々増加するの傾向あり又胡麻桃油は戦争開始以來オリブ油の代用品として佛國に輸出し始められたる新輸出品の一種にして之は輸出を試みしは即ち運賃暴騰の爲に從來行はれし胡桃の輸出をして不利ならしむるに至り其結果之を製油して輸出するに至れるが故なり

日本より新に輸入せらるるに至れる輸入品中其實行良好なるは絹と植物纖維との交織なりとす此織物は絹糸を経とし紡績せる木樹の纖維を緯として織りたるものにして其外觀頗る鮮麗なれども其耐久性は保證するに難しラミーも亦日本に於て紡績せられ之を以て絹糸及び人造絹布を製造し支那に輸入せらる

六、煙草、藍、護謄

英米煙草公司は支那に於ける煙草栽培に成功せるものにして一方威海衛に於て自ら栽植すると共に他方各地方に於ける支那農民の煙草栽培を補助獎勵するに至れり而して之が競争者たる南洋兄弟煙草會社(The Nanyang Brothers Tobacco Co.)は既に日本の煙草會社と合同し英米公司と同一の方法を採用して之と競争するの計畫を定めたるが故に將來同公司に採りては一大勁敵たるべし

一九一七年度に於ける揚子江沿岸の收穫は一般に豐作にして藍の取引頗る多額に上れり而して藍色染料は從來戦前に於ては獨逸製人造藍の輸入盛に戦後は日英より輸入せるもの獨逸品に代るに至り且其價格獨逸品に比して低廉なりしが昨年以來上記の原因により天然藍の人造藍に代りて用ひらるる額少なからずとす

海南島に於ては近年護謄の栽培盛んにして之に従事する會社の數既に三十を算し北緯十九度以北二十度以南に於て栽植せる護謄樹の數今や一百万本の多きに上ると云ふ若之に關する報告にして信憑すべしとせば(實際該地方より新嘉坡に輸出せられたる護謄多少之れあるに徴すれば其の全然誤報ならざることを知る)現在未開の野蠻人の居住せる海南島も護謄輸出の増加に伴ひ將來商業上重要な地位を占むるに至るべし

パコイ(Pakuoi)よりのマンガン輸出は近來著しく増加し最近柳州沿岸地方に品質良好なるマンガン鑛の採掘行はれ其將來頗る有望なりと稱せらる而して該鑛山產出のマンガン鑛の大部分は既に之を香港商館に供給するの契約を締結せりと云ふ(完)

青島に於ける石鹼需給狀態

概説 支那に於ける石鹼の輸入額は年々増加の傾向を有し其額毎年三百萬圓を下らず重要輸入品の一として目されつゝあり而して其最も多額なるは英品にして日本之に亞ぎ以下澳太利、獨逸、露西亞の順位なるが近來支那内地に於ける石鹼製造業の勃興著しきものと雖も多くは洗濯石鹼に限られ居るものゝ如く間々安價なる化粧石鹼の製作を試むる者あれど其技術幼稚にして品質劣惡なれば一般の需要を喚起するに至らず然れど支那内地は原料豊富にして工賃低廉なるにより近來外人にして上海に工場を開設せるもの英國ブラナムド會社あり青島に邦人信昌洋行あり前者は其規模廣大なるも後者は個人經營のものに屬せり

青島に於ける輸入狀態を見るに戰前獨人萊壽樂房の經營せる製造工場によりて毎月百噸内外の產出を爲し戰後邦人信昌洋行によりて月四五十噸の產出を爲しつつあるも戰前戰後を通じて毎年五萬二千餘兩の輸入を見つつあるは未だ同社の製品が勢力微弱にして輸入品に對抗し之を驅逐する能はざる爲にして之を大勢の上より推考するに獨り製造と云はず輸入と云はず更に大に發展せざる可からざる幾多の餘地を存せるは疑ふ可からず最近當港輸入石鹼中の主なるものは日本品にして全輸入額の九割を占め而して其日本品中の九割迄は攝津尼ヶ崎に工場を有し純英人により經營せらるゝリバーブラザーズ商會の製品たるに至ては聊か斯業者の注意を喚起せざるべからず

當地に製造工場を有するものは輸入業者と比較し幾多の利便ありと雖も就中原料の供給潤澤にして廉價なると工賃の低廉な

ると高價なる運賃を要せざる點に於て輸入業者に對し遙かに有利の地位を占むるを以て他に著しき事情の存せざる限り優勝の地歩を獲得するに至るべきは蓋し當然の理とす然れども一度濟南及津浦沿線市場に於ける當地製品の聲價を窺ふに及で其見解は直ちに裏切られ多年南中北支那市場を其勢力圈内に收め縱横無盡に活躍せるリバーブラザーズ商會の根底は牢として抜くべからざるものあるを思はしむるものあり加ふるに獨り石鹼と云はず一般支那市場に於ける取引狀態は其新製品の賣込に對する困難名狀すべからざるものあれば一旦信用を博し取引を開始するに及んでは甚だしき等差あらざる限り自家の勢力圈内に於ては容易に他品の侵入を容さざる等保守的習慣に囚はるゝを以て競爭者は先相當の犠牲を拂ふ覺悟無かるべからず而も品質の良否は直ちに市場に反映し人氣を左右するの力を有すにより青島製品が青島市場に優秀の地歩を占むる半面のみを見て未だ容易に樂觀を容さざるものあり以下項を追ふて青島に於ける石鹼の需給關係を略述せん

需要の種類及用途 支那人の生活程度は未だ甚だ低級なるを以て高價なる石鹼の需要を喚起するに至らざるも其消費數に至ては敢て邦人に下らず一般に安價にして堅質なる香氣入化粧石鹼を喜び使用するにより輸入も亦此一方面に限られたる如き觀あり即ち數年來支那人の嗜好に適合し其信用を得て年々多額の輸入品を送りつゝあるリバーブラザーズ商會の製品利華日光は其需要の好標本たるものにして其他當地信昌洋行の製品たる信昌双方あり大連山口商會製品あるも皆同質同階級のものにして其他の高級石鹼の如きは寥々殆んど足らず其他日本人向てして内地製三ッ輪、花王、乳白石鹼級の需要あるも此等は其數

の上より見れば徹々たるものなり當地信昌洋行に於ても亦邦人の需要に應ずる爲め本年八月來「カエデ」を製作發賣せるに相當賣行を見つとありと云へり而して一般に使用せらるる洗濯石鹼の如き安物は運賃昂騰の今日之を輸入するも引合はざるにより目下輸入品は前記支那人向化粧石鹼に限られ間々大連より少數の洗濯石鹼の輸入を見る事ありと雖も之等は荷線の都合上積込れたるに過ぎず故に青島附近及山鐵沿線一帶に於て使用せらるる洗濯石鹼は悉皆當地製品と云ふも過言に非ざるべく信昌洋行の製品の如きも其製造額(最盛期月四十噸)の八割は洗濯石鹼にして其他小規模ながら當地に製造工場を有する支那人二名の分を合せ最盛期月四五十噸の需要割合と見て大差無かるべし

供給關係 戰前獨逸が茲に製造工場を許可し有らゆる便宜と保護を加へ自家製品の販路擴張を獎勵せるを以て其製品は一時最盛期毎月百噸内外の產出を爲せる由なるも多年南北支那を其の勢力圈内に收め根底深き地盤の上に立ちて活躍せるリリーブラザース商會の商品は全然之を驅逐する能はず毎年相當の輸入を見つとありたるが戰後秩序回復後邦人信昌洋行の替て獨人經營の跡を繼ぎ之が製作を試みたるに諸般の事情に防げられ經營意の如くならず再び商會の雄飛に委すに至り爾來苦心慘憺昨夏再び其製品を市場に提供し聲價を問ふに及び漸く一般支那商人の認むる所となり茲に發展の端緒を開き青島及沿線一體を其勢力圈内に收むるに至りたるも尙濟南方面に於ける同商會の根底動かすべからず依然リ社の製品は濟南を中心として津浦沿線一體に雄飛しつつあり今戰前より大正六年に至る輸入石鹼の年別統計を示せば左の如し

(大正元年 (一九一二年) 四七、五四八海關兩

戰前同 二年 (一九一三年) 六七、二七一海關兩
 同 三年 (一九一四年) 四〇、三七九〃
 (大正四年 (一九一五年) 一一、一六一〃
 戰後同 五年 (一九一六年) 五三、三六五〃
 同 六年 (一九一七年) 一六七、二四一銀圓
 更に大正五六年間に於ける輸入品の仕出地別を示せば左記の如くにして日本輸入品は其全輸入額の九割に相當し他は上海六分大連四分の順位にあり其他は云ふに足らず

仕出地別	大正五年	大正六年	大正七年 (九月迄)
日本内地	二九〇・三	八五二・二	五五三・二
上海	一〇〇・二	四一〇	五九二
大連	三六〇	三三四	四・三
香港	一六	二五〇	五五七
天津	一	一八	九〇〇
其他	四九九	七三・三	一〇九
計	四九九	九八四	六五四

毎年日本より支那に輸入せらるる石鹼は其數非常の多額に上り重要輸出品の一として矚目せられつつありしが大正二年度に於ては驚くべき激増を示し大正元年に於ける二十五萬八千餘圓より一躍百二十九萬一千餘圓に達せり如斯突飛の増加を爲したる原因は攝津尼ヶ崎に工場を新設せるリブラサース商會が其製品の輸出を開始せる結果にして同會社は英國倫敦に本店を有し上海に支店を有する純英人經營の會社にして其の規模の大なる蓋し東洋第一なるべし然れば其輸出の増加は日本品の増加に非ずして英國品の増加に在り從て從來支那輸入石鹼の首位を

占め居たる英國は之によりて益々其の地位を確定し萬斛の氣を吐けるものと云ふべし前述の如くなるを以てリ社の製品は殆んど支那全土に行亘り其品質卓絶群を抜き價格は他品に比し二割五分高を稱ふるも賣行旺盛にして深き根底を有し容易に他の覬覦を容さざるものあり而して青島に輸入せらるる石鹼は前表の如く其大部分は日本品にして全額の九割を占むると雖もリ社の製品多きに依り純日本品の如きは寥々數るに足らず唯日本人用として三ッ輪、花王、乳白石鹼等少許の輸入を見るのみなるが戰後獨力を以て當地に工場を開ける信昌洋行が健氣にもリ社に對抗し其製品「双方」を以て立ち辛くも青島及山鐵沿線を其勢力圏内に收め得たるに倣ひ大連山口商會に於ても昨夏來大連に工場を起し製品の輸出を企つるに至りたるが前表の如く甚だ不振なるのみならず其品質當地の製品にも及ばず且つ比較的低級品及洗濯石鹼等の如き安物を輸出するを以て收支遂に償はず毎年都督府より交付せらるる獎勵補助金を以て辛ふじて經營しつつある由なれば有利なる事情の出顯せざる限り此方面への輸出は減退を免れざるべしと云ふ

當地製產品 當地に製造工場を有するものは獨り邦人信昌洋行あるのみ他に元信昌洋行雇人たりし支那人にして獨立之が製造に従事せる者二名あり之等の製品は洗濯石鹼に限られ居るを以て當地生産品としては信昌洋行製品たる双方、楓、鼈甲石鹼、乳白石鹼及洗濯石鹼馬印、鶴印の數品に過ぎず就中双方は同洋行の代表的製作品にしてリ社の日光と對抗し専ら支那人の嗜好に投ずる様製作せられたる美麗なる「サック」入にして當地及沿線附近に於て最も好評を博せるものの如し又楓は内地製品三ッ輪に對抗し専ら日本人の嗜好に投ずる様製造せられたるものに

して本年八月賣出以來相當の賣行を見つつありと云ふ信昌洋行が戰後當地に製造工場を起し石鹼の試作を試みるに至りたるは當地に於ける製造原料の豊富にして廉價なるに著目せる爲にして偶然獨人經營の石鹼製造工場跡に索當し幾度か失敗を重ねたる結果獨人の製法が最も進歩せるものなるを知り之に倣て最初の製作を試みたるに稍完全なるものを得爾來幾度か改良を加へ漸く昨夏現在の「双方」を製出せるものにして未だリ社の「日光」に對し遜色あるを免れず然れども原料及工賃の廉なると高價なる運賃を要せざるを以てリ社の日光に比し二割五六分の廉價に發賣し得るの利あり遂に今日の如き盛況を呈するに至れり

原料 製造原料として最も必要なるものは牛酪にして全量の六割を占む故に牛酪の供給如何は直に斯業の前途に多大の影響を及ぼす次第なるが當地の如き食牛の需要旺盛なる土地に於ては之が供給潤澤なるのみならず其他補油としての落花生油及豆油の如き殆んど世界的供給の使命を有するを以て當地に製造工場を有する者は多大の利便と贅費を省き得るにより輸入品に對して遙かに有利の地位に在ることは勿論なり其他ポブラ油、ヒマシ油、リスリン、砂糖等皆日本内地に比較すれば潤澤にして廉價なるを以て信昌洋行に於ても近く増資を爲すと共に會社組織に改めリバー其他と決戰的賣出に従事する覺悟なりと而して其品質の改良等に於ても已に成案あるものの如し

販路 戰前に在りては専ら獨人製造の裸石鹼を愛用したるものの如きも年々四五萬兩の輸入を要せるより見れば其全需要數の三割はリ社の製品と見て誤り無かるべし戰後二三年間は當地信昌洋行の經營意の如くならず止むなくリ社の勢力に委するに至り一時は極少數の日本品を除くの外悉くリ社の製品を使用す

るに至れり然るに昨夏漸く信昌の製品「双方」が市場に認めらるに至りてより其品質はリ社の製品に比し稍劣れりと雖ども價格の低廉なる點に於て勝を制し爾來リ社の販路を浸蝕し今日に於ては寧ろ正反對の地位に立ち強固なる基礎を築くに至れるを以てリ社の製品は其賣行頓に減少し昨今青島市場に於ける需要程度を見るに信昌製品七リ社製品二其他一の割合を示すに至れり而して沿線方面に於ては殊に甚だしく社製品は其姿を見ず殆んど信昌の製品に壓倒せられたる觀あり其需要割合は信昌物七大連物二當地支那人製品一の割合なるが如し奥地に於ける需給の状態を見るに張店、博山の間に於て二分され其れより青島方面は信昌製品多きを占め濟南方面はリ社の製品其六割を占めつつあり濟南は山東省に於けるリ社の根據地にして多年築上げたる地盤は容易に崩壊すべくもあらず當地信昌洋行が奮闘努力の結果漸く其一角を崩せるに止まり依然リ社の勢力圏を脱するに至らず其賣行を見るにリ社六信昌洋行四位の割合なるべし津浦沿線に至りては全然リ社の勢力圏に屬し他の商勢力を容さず就中徐州、濟寧、兗州、泰安、禹城地方の如きは日本品の片影たにも見出す能はず全くリ社獨占の姿に在り

日本人向石鹼の種類 以上述べたる處は悉く支那人を本位として觀察せるものにして日本人向石鹼の種類を云へば矢張り内地製品たる三ツ輪は其主位を占め花王、乳白石鹼其他九重、唐子及び當地製品たる「かへで」等種々ありと雖も青島及沿線濟南に在住せる少數の日本人を相手とせるものなれば其賣行僅少なるが如し

支那人向石鹼の種類 支那人は一般生活程度低きを以て石鹼の如きも經濟的實用品を希望し高價なるものを喜ばず從て低級

化粧石鹼の賣行最も盛なり即ち支那人向としての要件は廉價にして使用の都度瘠せの目立たざる硬質石鹼なること最も肝要にして多少香氣を有し携帯に便なる爲之を優美なるサック入とせるもの最も其嗜好に適合せるものの如し此種の代表品としてリ社の日光、信昌の双方等賣行最も盛なり

將來の觀察 前述の如く當地に於ける石鹼製造業者は其需要地たる點に於て運賃を節約し得る利益あり而して原料たる牛酪豆油、落花生油の豊富なる點殆んど其比を見ざるを以て當地の石鹼製造業は大に勃興せざるべからざる運命を有せり然れど其製造は一種の技術にして如何に低廉なる品物を供給し得るとするも品質劣惡なるに於ては需要者の一顧をだも買ふ能はず多年當地信昌洋行が失敗の歴史を繰返したるは概ね之が爲にして又大に熟慮せざる可からざる問題なりとす而して一方リ社事業經營の跡を見れば既に一般に須知せられたる優良品を提げ根柢ある地盤の上に立て多年の經驗による手腕を振ひつつあり而して又大規模なる上海ブラナモンド會社の新に手腕を振はんと勢込みつつあるなり此間に立つて自家の製品を提げ善戰克く敵の一角を破らんとするに於ては須らく其品質を吟味せざる可らず生産の安價なる標榜と香氣と包装の美麗なることは大に留意の點なり斯で前記二社の製品と競争せざる可からざるを以て相當の犠牲を拂ふ覺悟を以て大規模の製造を開始するに於ては前途大に望を囑すべきものとありと信せらる

山東牛青島輸出狀況

山東省内に於ける畜牛散布狀況 省内に於ける畜牛飼養の目

的は耕耘の動力即ち勞役用にあり従て耕耘盛なる地方は多くの畜牛を有し山東省の如き礪硝の地に於ては其飼育數稀薄なるは爭ふ可からず即ち濟南附近より兗州、濟寧に至るに従ひ山東を南北に通ずる大運河地方の如きは他地方稀に見る豐饒の平野にして廣袤十數里山間僻地に至る迄開墾され寸尺の未開墾地をも有せざる有様なれば畜牛飼養の法亦克く利用せられ一般に農耕地二十畝を有する農家は一頭の畜牛を有し富裕の農家に在りては常に五六頭の畜牛を飼育す故に山東省に於る畜牛散布狀態は西南に濃く東北に至るに従て稀薄なり然れど山東は畜牛の生産地に非ずして飼育勞役用の地たるを以て農家の在る所畜牛を見ざる無く歐米の如く牧場と稱すべきものなし而して之等多數の畜牛は主に山東の背後に位し廣茫たる草野を有し畜牛の生産を以て名高き河南、山西、四川の諸省より牛商の手に依りて山東の市場に現はれ省内各地の農家に分布せらるるものなり而して支那官憲が五箇年に亘りて調査せる所によれば大正四年山東省

内生牛現存數は山東半島部(舊登州、萊州、膠州管内)に於て十一萬三千九百十頭、山東中部及西部地方に於て四十八萬六千九十頭、合計六十萬頭と稱すれども省内に於ける畜牛の頭數は其耕地積と直接の關係を有するを以て之が耕耘能力及各縣に於ける飼養家畜種の割合及各縣の耕地積を基礎として推算するに約百三十萬頭内外を以て省内畜牛總數と見做すを當れりとす而して其十中の八九迄は閹牛即ち去勢牛なることは青島屠獸場に來る屠牛の九九・五%が閹牛なるより推知し得べし、従て每年生産頭數極めて僅少にして僅かに全頭數の五分即ち八萬頭と算せらる然るに省内に於ける年屠牛數は十萬餘頭輸出生牛一萬三千頭に於て此數字の上のみにても年々少なからざる不足を訴ふる筈な

るも山東省の背後には河南、四川の世界的畜牛地帯ありて年々之か給源を爲しつづあるは疑ふの餘地なし先に「ワグネル」氏の調査によれば一九一三年青島屠獸場に於て屠殺せる畜牛中約七割は河南省産にして一割は山西一割は山東生産牛なりしと抑も山東牛の供給地たる河南、山西の地方は黃河の流域に沿へる地方にして年々洪水の爲耕作し難き荒廢地多く雜草繁茂し自然に一大牧場を爲し生牛の放牧極めて盛んにして自由交配法によりて犢牛を生産し山東省各地へ移出するものなれば其產出は殆んど無盡藏と云ふも過言に非ざるべし

飼育と勞役 山東地方に於ては畜牛を飼養するに特に牛舎の設備なく多くは他の建物に隣接せる背面を利用し或は戶外に僅かに雨露を凌ぎ得る屋蓋を設けて其内に繋留し甚だしきは無蓋の柵内に放置せるものあり厩舎は殆んど掃除すること無く雨季又は氣候不順の頃には泥塵堆積し臭氣鼻を衝く事多し而して夏季は野草の發生著しき河畔又は路傍に秋季は收穫後に於ける農耕地に冬季は麥圃中に放牧して之を監視せしむ飼糧としては夏季は野草冬季は野草及小麥の若芽を食せしむるも尙農家は濃厚飼料及其他の粗飼料を給與し居れり濃厚飼料は普通麸子及豆粕にして時々麥、粟等の穀類を給與することあるも極めて稀なり之等の濃厚飼料は農繁期殊に農耕、運搬に畜牛を使役する際最も多量に食せしむるを常とす而して其使役上に於ても馬及騾に比して其働作敏活を缺き火急使用に適せざるも一般農家の耕作は一時に急迫すること少なく恒久的にして極めて緩なるを以て馬及騾に比較し寧ろ畜牛の適せるを見る加ふるに畜牛は使用後之を賣却するに多大の利益あるを以て一般農家は好て之を飼養するの風習あり以て山東牛の今日あるを馴致せるものとす

繁殖に就て 普通の農家は多く閹牛を飼ふに過ぎざるを以て其繁殖に關係なし然れど富家は五六頭乃至十數頭の畜牛を飼養し其生産繁殖を行ふと雖ども由來支那人は家畜繁殖に關する思慮に乏しきを以て優良なる種牛によりて畜牛を改良せんとすることなく發情期に従ひ自由交配に委す故に種牡牛なるものなく唯勞役用として良好のものを得んことを望むが故に優良なる牡牛は速かに去勢せられて役用となり僅かに不良なるもののみを牝牛に配し然る後初めて去勢する有様なるが故北支那地方に於ては殆んど三歳以上の牡牛を見る事能はず又輓曳用閹牛の外觀は反つて種牡牛の外觀よりも優良なる體形を有するを常とす

去勢 前述の如く山東牛は其生産地方に於ては牡牛か二歳三歳に至れば一二回の交配せしめたる上去勢して閹牛となすものにして其去勢の方法の異なるに従ひて敲牛、割牛の二種に區別す前者は睪丸を打撲して急性睪丸炎を起さしめ其機能を奪ひ後者は輸精管を破壊し生殖機能を絶滅するものなり此方法は餘程古くより行はれ全く彼等の迷信的習慣より出でたりと雖ども此方法を施すときは閹牛は已に一定の牡牛型體を固定せる後なれば役牛として最も好適し型體大にして強力溫順にして勞役に耐え且能く肥益するを以て役用後肉用として一舉兩得の方法と云ふべきなり

肉質 青島屠獸場に於て屠殺せらるる牛は殆んど全部（其九・五%）閹牛なることは前述の如し其肉質は柔軟にして脂肪能く沈積し美しき大理石狀（霜降り）を呈し殊に内股の部に多く肉牛として優秀なるを見るべし然れども屠殺後に於ける目減りの多きは水分の過大なるによるものにして一缺點なりとす而して農家一般が不知不識の間になせる飼養管理法が肉牛として良好

なる肉質を作成するに效果あるは明かにして即ち春季より初夏に亘たる劇甚なる勞役後晩夏より秋期に亘りて一時に過度の勞役を中止し之に加ふるに豊富なる農産物の枝葉を以て飼料に與へ又比較的日光を遮斷せる陰暗なる牛舎が自然的に良好なる肥益法となり此間之等去勢牛の肥益實に甚だしきものあり此時之を市場に牽出し牛商人に賣却す而して其の價格の如きも重量によりて定めらるるを以て支那人は水分多き多量の濃厚飼料を給與し肥益を促進するが故過劇に使用せられし體筋肉纖維間に適度の脂肪分沈積するに至る此好例は山東牛の筋肉を見るに肢脚腿部に於ける筋肉が他部に於ける筋肉より著しく美麗なる脂肪の横紋を有するを以て知るべし尙山東牛の先天的肉牛として良好なることは神戸牛、山東牛及歐米肉牛種の三種筋肉を比較するに其筋肉纖維の分布及細美なる點に於て山東牛は從來著名なる神戸牛と同等又はより以上の成績を有し歐米各國肉牛種の及ぶ可からざる點あるは明なり

日本の畜牛狀態 内地に於ける畜牛現存數は大正四年末百三十八萬七千九百餘頭にして之を明治十一年末現存數百八萬餘頭に比較すれば三十八箇年間に於て三十萬七千餘頭（一箇年平均八千餘頭）を増加せる割合なるも實際は左表の如く毎年七萬七千餘頭の不足補充を受けざる可からざる實情に在り而して朝鮮は現在日本内地とはほ同様百三十五萬餘頭の畜牛を有するも其食肉率は内地人の約七倍に相當し毎年の屠殺數二十七萬五千餘頭に上り尙年々増加の傾向あるを以て朝鮮牛のみを以てしては到底之が補充の餘裕無く樺太及關東州の如きも徴々たるものなれば將來は是非共山東牛の輸入により日本内地の食肉率を増加すると共に之が不足補充の途を講ずるの外無かるべし

今日本内地に於ける畜牛經濟狀態を示せば

明治三十一年末	出產數	屠殺數	斃死數	現在數	差引不足數
自明治三十二年(平均)	一〇、六六一	三、六〇四	一、七五九	三、六二六	九、五九二
至同三十六年(平均)	一〇、六六一	三、六〇四	一、七五九	三、六二六	九、五九二
自同三十七年(平均)	一〇、六六一	三、六〇四	一、七五九	三、六二六	九、五九二
至同四十二年(平均)	一〇、六六一	三、六〇四	一、七五九	三、六二六	九、五九二
至同四十二年(平均)	一〇、六六一	三、六〇四	一、七五九	三、六二六	九、五九二
大正三年	一、四九四	二、五五五	一、五〇五	三、八七三	七、四三八
大正四年	一、四八三	二、七九六	一、五八〇	三、八七三	七、四三八
計	三、九七六	三、八八四	二、八五五	(一箇年平)	七、九六六
				(均不足數)	

山東牛の輸出狀態 現時山東牛は青島、芝罘、龍口、天津、秦皇島及南京の諸港を経由して海外に輸出せらるるも雖ども茲には重に青島港に於ける輸出狀態を説き日本内地との需供關係を知るに止む、青島よりの畜牛輸出は日露戰役以後に始り青島に於ける屠獸場、埠頭並鐵道の完成其他主要仕向地たる浦鹽港との交通機關の施設の完備するに従ひ獨逸商人の活躍と相俟て急に其輸出數を激増し遂に芝罘を凌駕壓倒するに至れり日獨戰前青島に於ける生肉、生牛の輸出合計五萬七千頭の多數を算するに至れるを以て知るべし日獨戰後青島の開港せらるるや間も無く浦鹽よりの需要ありたるも幾多の事情により輸出を遅延し漸く大正四年七月に入り初めて義生公司が露商滋美行と契約し濟南及沿線に於て生牛五千八百頭を買收し青島に於て滋美洋行に賣渡せるあり之等は悉皆浦鹽行にして内三千餘頭は屠肉とし他は生牛の儘輸送せられたるものなり尙此外滋美洋行は當地商人の手により生牛の買收を爲し數回に亘りて輸送せり而して大連輸出は日獨戰前より盛んに行はれ一年を通じて不變的に殆んど一定の數量だけ輸出せらるる狀況にして大正四年中の輸出は

約一千頭に及び青島肉商の手を経て多くは生牛の儘にて毎回五六頭宛積出さるるを常とす最近に於て最大なる畜牛取引をなせるは米人「ウキリアム、カツツ」氏と米領「マニラ」駐屯軍との契約に成れる氷凍肉の納入にあり其數量は一箇年間六百萬磅にして「マニラ」埠頭渡一斤二十五錢にして同氏は自營の氷凍場に於て攝氏〇・二一度に氷凍せしめ冷蔵船にて「マニラ」に輸送す、該冷蔵船は米國陸軍の用船にして主として米、麻間の陸軍糧食運搬用に使せらるるものとす而して

日本内地輸出の狀態は大正四年秋頃より當地邦人肉商間に其計畫あり翌五年秋より漸く枝肉の輸出を開始するに至りたるも未だ山東牛の聲價は恰く内地人に知れ亘らざりし爲め其數微々たるものにして十一月三頭十二月九頭の輸出を見たるに過ぎず越へて六年秋に至り山東牛の聲價が漸く内地一般に認められたる牛肉不足の爲め其需要は遽然として山東牛に集まり別表の如く六年十二月より翌年四月迄に三千四十七頭の輸出を見新記録を作るに至れり越へて十月當地肉商共同經濟の下に山東生牛九十五頭の内地輸送を試み海上約一週間を費して無事横濱に到着せるも同地檢疫所にて尙三週間を隔離するの必要あり斯くては此間に要する食糧等前後の損失莫大なるを以て遂に失敗に終りたりと雖も前述の如く内地牛肉不足補填の方法は山東牛に依るの外他に良策無きを以て爾來枝肉の輸出は益々盛況を呈し本年の如きは約一萬頭の内地輸出を計畫し夫々販路の開拓に最め著々効果を收むるに至れり而して其販路の如きも内地全般に行亘り居るを以て一時暴騰を重ね殆んど天井知らずの勢に在りたる内地の肉價を幾分緩和せしめ同時に隆盛を極めたる朝鮮牛の内地輸出を休止するの止むなきに至らしめたりと云ふ生肉の

輸出は毎年冬期十一月より翌年四月迄を其最盛期間として最も旺盛を極むるを例とせるが本年の内地輸出は十月に入りてより急に激増し十一月の如き二千餘頭を算し空前の盛況を示せり然れば各肉商は勿論新に輸出を開始せるもの二十餘名の多きに達し各競争的に之が輸出に従事するに至り青島の肉價を吊上げ枝肉(骨付)百匁八錢より一躍十錢と突飛の昂騰を演ずるに至れり而して昨今の船腹不足は輸出業者に採りては此上なき苦痛にして輸出者は先づ其輸出に先立ち船腹の爭奪戦に打勝たざる可からざる不便あり従て幾分輸出の途を閉塞せる嫌なきに非ず要するに潤澤なる船腹の供給は目下の急務にして將來輸送設備の如何は大に考究すべき問題なりとす

内地に於ける食牛不足と肉價の高價なるとは殆んど世界に其比を見ざる程なれば之が救済策として先づ豊富にして廉價なる山東牛の輸送を奨励するは最も機宜に適したるものにして之により内地の肉價を調節するに至らば自然其食用率を増進し益々需要を喚起するに至るべきを以て山東牛肉の内地輸出は年を追ふて増加すべきものと觀せらる

今千九百五年來山東牛の青島港輸出状態を示せば左の如し

△青島港輸出

一九〇五年	二二、四三九	生	牛(頭)	生	肉(擔)
一九〇六年	一八、〇三六				
一九〇七年	九八〇				
一九〇八年	三、二〇三				
一九〇九年	三、三九九				
一九一〇年	三、七二二				
一九一一年	五、八三五				
一九一二年	一六、六六五				
一九一三年	二八、四一三				
		九〇、三六九			

△屠殺枝肉及凍肉輸出仕向地別比較

[illegible]

博山の工業概況

要項

- 一、紅土廠
- 二、博山窯業工廠
- 三、石炭及コークス
- 四、硝子工場
- 五、淄博硫黃公司
- 六、工業原料と博山

▲紅土廠

紅土廠は孝婦河の左岸にあり支那人經營に係るものにて綠礬及紅土即ちベニカラの製出を爲す原料は同地に於て俗に銅石と稱すれども硫化鐵礦にして同地炭礦に於て採炭の際混出するも淄川炭坑よりも多額の産出あれば土人は淄川又は同地採掘の石炭中より選り分け購入す原料の價格は上述の如き事情なれば甚だしき低廉にして目下運賃を含みて三十仙乃至四十仙なり製法は原料銅石を窯中にて焼き幾度か水を注ぎ土を以て上部を覆ひ焼く事數日にして幾回となく注入せば水は設けられたる小溝を傳はりて溜所に溜積するを以て藍青色の同水を素焼の甕に入れ天日に放置し置けば綠礬は甕の内側に結晶附著するを以て水を除きて結晶せるものを掻集す製出高は一日平均約四百斤にして目下同地方に於ける同製品の相場は百斤に付各等品左の如し

上等品	百斤	一、三〇元
中等品	同	〇、八〇元
下等品	同	〇、五〇元

尙前記綠礬製出の際結晶物を除きし藍青色の水液は紅土の製造に使用するものにして即ち同水液を同地産の黃土に注ぎ鐵の

小鍋に入れて煮沸一日にして水液を蒸發せしむれば紅土は鍋底に結晶す然れども同地産餘りに良好ならず價格は綠礬よりも高く上等品は百斤二元にも達すれども百斤二十仙乃至三十仙の下等品もあり一日の製出高平均約二百斤なりと輸出地は主に濟南にして戦後外國染料の輸入杜絶と共に省内産染料の需要を喚起したる爲め近來益々好況にて唯だ小資本の民間共同經營たるは改良を促さざる可からざる目今の現状なり

▲博山窯業工廠

邦人の經營に係り同地東華公司及上海有信洋行に於て其の販賣を取扱ひつつあり目下尙開業早創の事とて土管及耐火煉瓦の製出のみなし居れるも近く擴張の上他の支那人陶磁器業者と對抗して百年一日の觀あるも近來は一箇月約二百噸の積出しを見るに至れり其大部分は濟南に發送せらる目下博山より上海迄の運賃は一箇銀一錢なれども同廠製品の耐火能度數は青島に於て使用せらるる製品よりも二百餘度高く即ち二十五號品なれば一箇一錢の運賃を要するも上海附近の製品より良質のものを供給し得べきも現今土管の製造に従事中にて餘力なければ九月以後同注文品の製造終了後一般陶磁器の製造及耐火煉瓦の製造能力をも増加すべく又土管も上海輸出を計畫し居るものの如く既に一箇月五十萬斤の能力ある陶土粉碎機を据付けたれば發動機到著の上は同工廠の製造能力は激増すべく目下又銀三千三百餘圓を要する大窯製造中にて既設の窯は目下三箇あり前記大窯竣了後は一箇月五千箇の土管製造を爲し得べしと

▲石炭と骸炭

博山の石炭は縣城を去ること遠きに從ひ一體に品質良好にして三畝揚及黃大家窪の石炭等は良質なり即ち支那人は縣城より十

支里の地點には最も良好の石炭多く産すと稱し土民間には次の如き多種の炭種別を爲し居れり炭苗子、石炭子、獨性子、堅石頂、積子炭、大小煨石、焦石、夾剛炭、小黃石炭、灰石、大黃石、油性子、羅柱炭等あり而して塊炭無きに非ざれども淄川炭に比し粉炭多し之れ即ち淄川より博山がコークス製造の盛んなる一因とも稱すべく塊炭にてはコークス製造は炭價不引合なればなり博山の石炭は第三革命以後倒業者續出し又炭坑所有者何れも資力無き爲め活氣無かりしが近來我東京大阪等に於ける製鐵熱勃興と共にコークスの需要激増したる爲め我資力家より資金を借り受け採炭を開始するもの増加し二三月以來益活況を呈し最近又々復活の色あり、即ち今年初頭來博山驛の發送額を見るに

一月	八、八四〇・七	二月	一五、〇六四・四
三月	二五、七八二・四	四月	三四、五三八・三

にして内青島に發送せられし數量は一月三千二百八十一噸六、二月五百五十三噸九、三月六百九十噸、四月一千四百八十八噸八あり炭價從て昂騰し目下山元にて最上炭六元通常炭四元以下三元五角とす山元より縣城迄の運搬賃は炭坑の位置により大に差等あり即ち最遠距離の三畝揚の如きは百斤に付一吊文黃大家附近四十五文後地附近十五文最近箇所十文見當とす

コークスは既述の如く我東京、大阪向輸出激増の爲め著しく増加し目下博山驛より毎日平均十車(每車十五噸)の積出しありて青島に於ける船腹あれば優に二十車の積出しを爲し得べく目下一千噸以上の採炭額の中約四分の一はコークス製造を爲しつある狀況にして今月上旬以來千車の堆貨を見るに至りしも偶然に非ず相場も從て大奔騰を告げ同地にて一車積込料を含みて

銀百四十圓の高價を唱へ百十圓は低廉品の部なり現今より二箇月未滿前の銀九十圓の相場より見れば甚だしき昂騰と稱すべし目下コークス製造に従事しつつある支那人の窯は約二百にも達すべく邦商東和公司又大いに同業に力を傾注し目下四百餘の窯を有し居れりされば近來之等各コークス製造窯の夜間作業の狀況を遠觀すれば宛然火海の如しと今年一月以降博山驛のコークス發送額を示せば次の如し

總發送數		青島向		總發送數		青島向	
一月	四、二〇一・五	九三・三	三月	四、八二一・六	一、七〇七・〇		
二月	四、五〇〇・三	八八五・〇	四月	六、四五四・六	四、六二三・〇		

▲硝子工場

博山の硝子製造業は目下漸次衰退の狀態にして僅かに小資本の支那人經營に一任し去り殊に品質に改良を加へざるにより板硝子製造の如きは目下僅かに二軒にして而も尙衰微の兆あり工場は現今百戸足らずと云ふ板硝子工場の如きは六戸の内現今景泰成(資本千八百元)仁和爐(二千元)の二戸なりと云ふ工場の所在地は城内顔志鎮一帯に多く製造と販賣と兼業するものと然らざるものとあり販賣のみを營むは重に資本に乏しき小賣商にして製造業者より製品を購入し店舗に陳列し顧客を待つに過ぎず製造業者及兼業者は一千元より二千乃至二千三百元の資力を有すれども保守消極的の支那人の事なれば殆んど陶磁器業者と同じく百年一日の觀あるを免れず

博山驛より同地製品の發送せらるる數量は一箇月百數十噸にして一年一月以降漸次増加し先月百六十一噸餘に達せり博山硝子の青島に入荷せるものは一月來稍増加の傾向にありしも先月以來減少せり本年一月以降の同地硝子製品發送額及青島への著貨數量を示せば左の如し

總發送數 青島著貨

總發送數 青島著貨

一月 一五・六 二八・〇 三月 一四五・四 四一・五
二月 一四三・三 五八・八 四月 一六一・五

同地工廠一日の製造力は大ならず大なるものは十數元に止まり普通十元或は同以下にて賣捌かるる低廉物の製造を爲すに過ぎず同地一年間の總賣上高は十數萬元なりと雖も確たる調査機關も無く又行政官廳の監督も行届き居らざる爲め確實なるを得ず原料は芝硝、石面、紫石と稱し芝硝は新城縣、高源縣等の產をも用ゆれども同縣管内照山地方より硅石等と共に產出す原料の價額は芝硝百斤一元六角、硅石百斤六十仙、紫石約十八仙にて調合の分量は芝硝三分の二硅石約三分の一にして外に紫石を約百分の六を混入すと稱せらる職工の賃金は比較的高價にして普通一日一吊五百文を要すべしと

製品は瓶、洋燈のホヤ、玩具、燈籠、鏡等にして品質何れも劣惡にして輸入品に及ばざる事遠く僅かに支那人向きの需要を充たすのみ系硝子の製造品は近來邦人の土産物として買求むるもの及其他各都市に發送せらるるものの増加せし爲め價格は割合に昂騰しつつあり

今參考の爲め最近支那人の調査に依る同地重なる硝子業者及資本額を示せば左の如し

名 稱	經 營 者	資 本 額
六 鶴 祥	趙 方 田	五、〇〇〇
公 合 成	高 立 德	一、五〇〇
鴻 興 永	王 守 紀	二、〇〇〇
人 和 號	石 玉 瑤	一、〇〇〇
同 泰 號	劉 恒 謙	一、五〇〇

萬 盛 義 高 立 鑑 一、〇〇〇
景 泰 成 孫 維 恒 一、〇〇〇

尙當地硝子製造業の現況と共に今は既に殘骸のみに止まる博山玻璃有限公司の現狀をも略述せん

博山玻璃有限公司成立の當時資金十五萬圓の株式組織なりしも失敗の結果百萬元の大會社となりしが再び悲運に陥りし經過は既に世人の知る所にして今茲に述ぶる要なし然れ共同公司の章程及收支決算報告書を見るに支出徒らに大に失し獨逸人の強制的技師傭聘に餘儀なくせられて七名の多數を雇入れ而かも高價の費用を投じ製品の品質又良好ならざりし爲め收支相償はずして遂に失敗に終りしと云へ此間株主が私腹を肥せしは又蔽ふべからざる事實にして要するに製品の賣行良好ならざると不當の失費を招きし原因たるべし

過般東京深川硝子工場との間に同公司買收説持上りしも彼我的賣買價格に甚だしき逕庭を生じたる爲め其儘行惱みの狀態に在るが如し最近更に米國より新規に發動機二臺を注文し復活を試むるの計畫あれど之には尠くとも五十萬元以上を要すべく或は復活計畫も失敗に終るならむか

●●●●● ▲溜博硫黃公司●●●●●

溜博硫黃公司は大正三年三月の創立に係り當初の資本金一萬二千吊文の株式組織の會社たりしが其の後硫黃は民間私造を許さざる事となりし結果官辦事業となりしが目下全く休業の狀態に在り然れど今尙工場は殘有し十六箇の爐を有する窯四箇及十箇の爐を有する窯一箇あり原料は既述紅土廠に於て綠礬の製造に用ふる硫化鐵鑛を使用せりと尙大正三年支那人調査により同公司の製造高を見れば大略左の如し

一年製出高約五萬斤同見積價格約一萬五千元一回製出額約三千斤

▲工業原料と博山

上述の如く博山は山東第一の工業地として世人の認むる所となりしが同地支那人資力薄弱なりし爲め依然として舊態を脱せず陶磁器初め硝子其の他の諸製造業は寧ろ衰退の現狀にして僅かに最近コークス製造に伴ひ炭坑の出炭額も増加せる狀態なれば今後の博山經營は邦人の資力によりて發展せしめざれば到底支那人の努力のみにては局面の發展困難なるべし前述の如く硝子の原料たる芝硝、硅石、紫石を初め陶土、石灰等の工業原料は同縣管内より産するを以て廉價にて提供し得べく最近又同縣より南十五支里許の萊蕪縣管内より天然曹達を發見せりとて邦人中各専門の技術家は同地に至り分析を爲し居る狀態にて其の後の経過によれば不純物にて品質良好ならずとの事なれども必ずしも看過すべき無價値のものに非ざるは勿論にして又最近コークス製造盛大となりし結果邦人の資力にて一時倒閉せんとせし同地採炭業を復活せしめ而かも同地炭坑中より石灰を混入せる硫化鐵の出現増加せし爲め大連硫酸製造會社の原料として賣買契約成りしと傳へらるるに至れり石灰は又同縣管内殊に泰莊地方より多く産出し到る處に灰白色を呈せる石灰石の露出せるを認むる狀態にして既に一月以降青島に輸送せられし石灰は八百噸の多數に達し殊に建築業の日々盛大となりし結果今後益々博山石灰の需要を増加すべし今年一月以降博山驛より山鐵にて發送せし石灰は次の如し

一月	一	三月	四二〇〇〇 (單位噸)
二月	二七〇〇	四月	四三四・九

要するに工業地としての博山は今後邦人の永久的山東經營上重要なる投資地にして實著なる發展地たるは無論なれ共近來久原東和等の有力なる資力家を初め地質學者實業家技術家製造業者等の來往増加し諸種の實地調査視察等を試むるに至りしは大いに欣ぶべき事にして山東問題の將來如何に杞憂を抱くの必要なく我が資力家の投資を俟つこと目下恰かも旱天に雲霓を望むに異ならず

貿易

青島貿易近況 (十月)

本月中埠頭輸出入貨物の數量を見るに其陸揚(輸入)に在りては二萬三千八百九十一噸七を示し船積(輸出)に在りては四萬六千七百九十八噸四を算し輸出の輸入に超過すること實に二萬二千九百六噸七に達し殆んど倍加の盛況を呈するに至れり蓋し久敷船腹の供給難に苦しみ居たる鹽積取船の往復頻繁となりたる小麥の輸出解禁により内地へ輸出せらるゝもの一時旺盛を極めたるは其主因にして其他英米トラストの新たに葉煙草輸送を開始せるあり棉花、豆油、コークス、麥稈真田等の輸出激増せるは皆之が原因たるべし而して之を前月に對比すれば輸出入共著しく増加し漸く夏枯期を過ぎて商況活潑に入れるものとなすべし

	十月	中	九月	中	比	較
陸揚貨物	二二、八九一・七		一八、八三七・七		〇〇五、〇五四・〇	
船積貨物	四六、七九八・四		三二、三七二・七		〇一四、四二五・七	
計	七〇、六九〇・一		五一、二一〇・四		〇一九、四七九・七	

更に之を昨年同月と比較對照するに輸入貨に在りては一萬二百

十一噸四を減じ輸出貨に於て一萬五千六百三十五噸三の増加を示せり而して其主因を爲せるものは石油、燐寸、綿糸、白米等の輸入著しく減退せると鹽、小麥、葉煙草、棉花等の輸出激増せる結果に外ならず

	本年十月	昨年十月	比
陸揚貨物	二二、八九七・七	三四、一〇三・一	△一〇、二一一・四
船積貨物	四六、七九八・四	三九、一六三・一	〇一五、六三五・三
計	七〇、六九〇・一	六五、二六六・二	〇五、四二三・九

主要貨物情勢 (十月)

輸入貨物中昨年同期と比較し最も著しき現象を示せるは石油、麥粉、燐寸、白米及綿糸、綿布の輸入減退にして石油の如きは昨年の五分の一にも達せず激減の度殊に目立ちて見ゆるも大戦の影響を受け米油の輸入著しく減退せるは其主因にして日油の如きも在日本米油品不足の爲油價暴騰當地輸入不能となり本月の如きは僅かに十二噸五の輸入を見るに過ぎざりしは又其原因たり麥粉及燐寸の輸入減に就ては當地製品が市場に行亘り輸入品の一部を阻止せる結果なる事明かにして内地價格の暴騰亦其因を爲せるが如し白米は内地相場暴騰の爲當地需要の大部分が江蘇米に走りたる結果にて綿糸布に在りては銀價昂騰の爲め與地一般買控に出でたるものと見るを得べし尙増加せるものに在りては白砂糖、石炭、鐵を數へざる可からず白砂糖は月始め頃瓜哇糖の産地値上げ賣止策に出でたる爲め其反動として急に内地産白糖の需要を喚起するに至り赤、白兩糖が其地位を轉換せるに止まり總數の上に影響を來さず而して石炭に在りては前月來博山の出炭激減し加ふるに淄川の採炭も一時思はしからざりし一方採炭期に向ひ市中の需要増加したる爲撫順炭の輸入を呼

ぶに至りたるものにして鐵は内地鐵價の暴騰と供給不足の爲め之が補給として多く古鐵の輸出を見たるに過ぎず

輸出貨物に就て見るに増加の度著しきは鹽、葉煙草、小麥、棉花の四種にして激減せるは眞鍮塊を最とし博山炭之に次ぎ其他牛骨、牛肉、落花生油等僅かの減退を示せるに止まれり本年に於ける原鹽輸出は内地鹽不足補給の爲政府が灣鹽能率の殆んど全部を買占めたる結果如斯輸出の旺盛を來せるものにして葉煙草は本年より英米トラスト、南洋煙草兩社が大規模買付輸送を開始せる結果に外ならず小麥に在りては愈々海外輸出解禁の快報に接し輸出商の活動せるもの棉花は山東産の良質なる事が内地紡績業者の知る所となり急に需要の激増を招きたるものとす而して眞鍮塊の減退は銀價昂騰以來輸出不引合となり商況沈衰昔日の面影無く只少許の實需買付を見るのみなれば其減退は當然とすべく博山炭の激減せるは過般同炭坑水害後坑水排泄作業完成せず各鑛の出炭量著しく減少せる結果にして遠からず復舊するに至るべし

而して本月中(十月)主要貿易品の輸出入狀態を示せば左の如し

輸 入	品 目	九 月	十 月	昨年十月との比較
品 目	白 米	二〇八	三九二	△ 一八四
高 粱	一	三〇三	五五二	△ 二四九
茶	二〇八	三八九	三七二	△ 一七
白砂糖	二九六	一〇〇七	七六二	〇 二四五
赤砂糖	一	八〇七	一三四七	△ 五四〇
煙 草	七〇・三	八五・三	二六・〇	〇 五九三
石 油	二五九・一	一〇〇・一	五〇・七五	△ 四九・三五
燐 寸	五四五	八九二	一七五七	△ 九一五

綿糸	二、一〇三、四	二、七六、七	五、二八、二	二、五三、五
綿布	八、九八、三	九、七五、〇	一、四七、〇、四	四、九五、四
麻袋	二、五二、〇	四、六五、〇	三、一	四、二九
支那紙	七、六、一	一、三、四、〇	五、七五、二	七、五八
石灰	一、四、一四、〇	一、七五、九、五	三、〇九、五	一、四、〇、〇
セメント	二、八、二、五	八、九、二、二	六、二、五	七、三、七
鐵(古ナ含ム)	二、〇、六	一、三、三、一	三、二、九	一、〇、一、二
金物製品	五、〇、七、七	五、〇、二、一	二、三、七、四	二、六、四、七
木材	二、五、三、六	二、七、九、六	二、五、六、二	一、七、四、五
燐寸材料	六、九、〇、二	三、六、二、六	—	三、六、二、六
麥粉	一、〇、八	一、八、五、七	二、〇、四、五	一、八、六、八
木炭	三、五、四	二、三、九	五、〇、二、九	八、一、〇
豆粕	四、四、四	—	九、四、七	九、四、七
豆	—	—	—	—
輸出品	—	—	—	—
小麥(其他)	一、六、九、一、五	五、九、九、八	—	五、九、九、八
麥粉	二、三、四、三	三、五、〇	—	三、五、〇
蔬菜	九、五、四	三、七、八	三、六、三	六、八、五
果實	九、六、七	八、三、〇	九、四、二	二、九、二
牛肉	三、〇、八	二、七、八	三、七、八	二、〇、〇
鹽	六、四、五、〇	二、五、六、三	六、八、六、七	八、八、九、六
葉煙草	—	—	一、〇、五	一、八、七、一
牛皮	四、一、五	三、五、二、五	二、五、四	九、四、一
牛骨	一、八	四、七	三、三、四	三、〇、八、七
落花生實	二、〇、〇	一、五、七、三	九、二	六、七、一
花生油	一、八、五、六	二、三、八、六	五、九、五、六	三、七、〇
豆油	三、〇、九、六	一、〇、三、五、九	六、七、六、八	三、四、九、一
絹屑糸	九、〇、三、五	四、五、七、四	一、五、八、二	二、九、九、二
棉花	九、四、九、一	三、一、八、四、二	九、九、三	三、四、四、〇
蘭(屑共)	二、〇、三	三、九、五、七	—	三、九、五、七
淄川炭	八、〇、九、七、〇	五、〇、三、一、〇	一、五、四、八、三	二、〇、四、九、二
博山炭	五、九、三、三、三	三、〇、〇、〇	—	—

海運及鐵道 (十月)

青島最近出入船舶

當月中入港船舶(汽船)は八十六隻此登簿噸數六萬一千二百二十一噸出港八十六隻五萬九千九百八十二噸にして積載貨物は入港卸荷二萬三千八百九十一噸七出港積荷四萬六千七百九十八噸四を算せり而して之を一月以降の累計に徴すれば入港七百六十五隻六十二萬九千八百五十七噸、出港七百六十八隻六十三萬三千三百三十九噸にして卸荷二十九萬一千七百七十七噸九積荷四十三萬三千三百六十九噸七合計七十二萬四千五百四十七噸六に達し之を昨年九月分と比較すれば左の如し

	入	出	卸荷噸數	積荷噸數
本年九月	六、三、二	六、六	五、九、八、二	三、八、九、七
昨年九月	五、三、三	六、五、九、四	三、二、六、二	四、六、八、四
〇ハ増	〇、九、九	〇、〇、六	二、七、二、〇	〇、三、六、三
△ハ減	〇、三、〇	〇、二、八、八	〇、二、六、三	〇、二、六、三

而して入港船舶の仕出地別隻數を示せば日本内地二三、大連一六、上海一七、芝罘一、其他の支那港二三、仁川三、香港二、其他の外國一にして船籍別を示せば日本七十八、英國七、米國一の狀態にあり又出港船舶の仕向地は日本二四、大連一八、上海

撫順炭	—	二、〇、〇	—	二、〇、〇
コークス	一、八、八、六	二、〇、〇、三	—	二、八、八、八
鐵(古ナ含ム)	五、三、五	四、五、〇	—	一、六、三
桐材	五、八、七	六、七、一	—	一、〇、〇
麥稈眞田	三、〇、六	八、九、九	—	四、九、七
眞餘塊	一、六、二、四	七、六、六	—	一、三、三、〇

一四、天津三、其他の支那港二二、釜山二、仁川三にして船籍は日本七十八、英國七、米國一なりとす

臨時船出入狀況

年末の切迫に伴ひ臨時船の出入愈々輻輳し埠頭事務所にては繋船場の割當に困難しつつあるが年内押詰るに従ひ益々増加の傾向あり其大部分は鹽積取船にして最近の分を擧ぐれば左の如し
△開幸丸は門司より入港揚荷二百噸積荷小麥外五百五十噸にて神戸へ△第三大得丸は門司より入港揚荷九百噸積荷千三百噸にて大阪へ△生玉丸は神戸より入港揚荷五百八十噸積荷鹽五百噸石油七千函にて神戸へ△紫尾山丸は秦皇島より入港揚荷石炭千六百噸積荷石油千七百函にて神戸へ△第二十五永田丸は八日大連より入港揚荷百噸積荷二百噸にて大連へ△關野丸は門司より入港揚荷千八百噸積荷鹽千百噸にて門司へ△天成丸は六連島より入港揚荷五百噸積荷鹽千二百噸にて門司へ第三祝丸は門司より入港積荷鹽六百噸にて門司へ△第一長崎丸は長崎より入港積荷鹽八百五十噸にて釜山へ△志賀浦丸は神戸より入港揚荷四百噸積荷千六百噸にて神戸へ△大明丸は門司より入港積荷鹽千三百五十噸にて門司へ△北洋丸は芝罘より入港積荷四百噸にて大連へ△三河丸は徳山より入港揚荷枕木五百六十八噸積荷石炭二千八百五十噸にて徳山へ△溫州丸は上海より入港積荷葉燈草九百噸にて上海へ△第二深川丸は大連より入港揚荷八百噸積荷鹽九百五十噸にて神戸へ向へり

海州航路補助

大連汽船の海州航路は其當初多大の望を囑せしめたるも開始後の狀況思はしからず曩に同汽船會社より民政部に向け同航路に向て補助金下附の請願を爲せるが既に遞信部に於て詳細の狀況を調査したる上民政部に廻附し大體補助の理由ありと認められたるも請願者の要望せる額と當局の考査せる額との間には若干の差あるも遠からず實施の運びに至るべしと

内地備船運賃氣配

内地備船界は形勢一轉の影響を受け大手筋は全部見送り狀態にて推移し大型船は十二、一月中にフリーとなるべき織殿丸外數隻目下引合居れるも船主對備船者側に距離ありて未だ成約を告ぐるに至らず運賃は南洋香港其他各地方共刻一刻低下の入電あり米國政府の禁輸緩和あるも未だ船腹需要を喚起する迄に至らず大勢軟調を免れず暫く下押するものと觀測せらるるが如し

内地近海運輸近況

海運界隆盛の反影として一時高潮を呈したる近海運賃は相當船腹の餘裕を得たる今日稍軟弱を示し來りたるも尙若門濱十圓二十錢を維持し辛ふじて退勢を喰止め居るの觀あり然れど大連豆粕は急に二三十錢安を唱へ左記商談を見たるも大勢極めて軟調を辿り目下大連神戸間六十錢見當を唱へ居れり

第五乾坤丸	豆粕	四、〇〇〇噸	大連—伊勢	一、〇三
第十萬盛丸	同	二、〇〇〇噸	大連—神戸	八〇
チヨイサン丸	石炭	二、〇〇〇噸	若—濱	一〇、二〇
燧洋丸	同	一、三〇〇噸	唐—濱	一〇、八五
二弘丸	同	二五〇噸	若—神戸	三三、〇
高昌丸	鹽	八五〇噸	彦島—伊勢	七、七〇

本斗丸 同 八〇〇噸 關東州—伏木 一七、〇〇
大安丸 豆粕 一、二〇〇〇擔 大連—境 一、〇五
而して神戸青島航路に於ても近頃臨時船の出入頻繁となり往荷

は殆んど是等社外船に吸集せられつゝあるを憂ひ日本郵船大阪
商船原田汽船三社協議により十二月一日より三割乃至四割方往
航運賃の値下を斷行するに至れりと

青島港出入汽船細別表 (十一月中)

(空船ヲ除ク)

△入 港 部		入 港 月 日	船 名	國 籍	登 簿 噸 數	揚 荷 噸 數	揚 荷 主 要 貨 物 名	本 船 仕 出 地
同	十一月二日	同	神戶丸	日本	一、三九五	二九〇・一	木材	大連
同	同	同	志賀浦丸	同	一、五九九	四三四・六	木炭、陶磁器、硝子品、雜貨	神戶
同	同	同	三池丸	同	一、九三三	一、一六二・〇	木材	德山
同	三 日	同	神戶丸	同	一、五三六	四三・〇	卷煙草、豆類	上 海
同	同	同	臺北丸	同	一、五二二	四二〇・五	綿布、洋紙、食料品、諸雜貨其ノ他	大連
同	四 日	同	江平丸	同	四二六	一二八・九	米、醬油、硝子品	大連
同	同	同	龍平丸	同	四三一	一八三・五	砂糖、石炭、燐寸材料	同 海
同	同	同	三天丸	同	七一〇	三一・四	綿絲	上 海
同	同	同	第二大運丸	同	六一三	八〇・一	麻袋、機械	神戶
同	同	同	川内丸	同	四六四	四七一・九	燐寸、昆布、綿絲、麻袋、木材	同 海
同	同	同	忠雄丸	同	四五〇	八三一・八	綿布、洋紙、食料品、塗染料	大連
同	五 日	同	第十六共同丸	同	九一七	六五〇・一	砂糖、セメント、木材	大連
同	六 日	同	三國丸	同	五七三	一六五・五	燐寸、洋紙、石炭、雜貨	大連
同	七 日	同	益進丸	同	五五八	九五八・七	茶、卷煙草、油類、綿絲布、藥品	上 海
同	八 日	同	第二海王丸	同	二四八	一九五・四	木炭、木材、苳類、硝子品	門司
同	同	同	蔚山丸	同	一、七二九	一、二九二・七	砂糖、麻袋、鐵、食料品	大連
同	同	同	薩摩丸	同	一、一二五	五一七・一	木材、卷煙草、木炭、機械、諸雜貨	大連
同	同	同	伏見丸	同	七六六	八五一・六	木材	小 樽
同	同	同	平國丸	同	二七八	四三・五	綿絲	上 海
同	同	同	山光丸	同	五〇九	一二六・九	砂糖	神戶
同	九 日	同	龍平丸	同	四三一	二八五・二	砂糖、石炭、其ノ他	大連

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三驛發著主要貨物 (十一月)

當月中青島驛、大港驛、埠頭荷扱所の三驛に於ける主なる發著貨物を昨年同期と比較對照するに左表の如く發送貨物中著しき増加を示せるは油粕、肥料、砂糖及麻袋布袋等にして減退を示せるは麥粉、燐寸、高粱、大豆、石油等なりとす而して到著貨物に在りて増加せるは小麥、棉花、葉煙草、落花生實、同油、乾柿等にして減退せるは豆油、獸骨、牛皮、桐材、コークス等

同 二十四日	正木丸	日 本	七一三	一、六〇〇・〇	鹽
同 同	盛京丸	英 本	一、〇三三	八一四・七	葉煙草
同 同	第十六共同丸	日 本	九一七	六四〇・三	葉煙草、牛脂其他
同 同	神戶丸	同 同	一、五三六	一二三・六	牛脂
同 同	千年丸	同 同	五六七	一、〇〇〇	鹽
同 同	波津丸	同 同	三九〇	八〇七・五	鹽
同 同	ワールン號	米 國	二、五一〇	二四四・一	牛肉
同 同	忠雄丸	日 本	四五〇	六三六・〇	牛肉、獸皮、桐材
同 同	第廿五永田丸	同 同	二六四	三七・四	牛脂、海產物
同 同	薩摩丸	同 同	一、一二五	九七九・七	豆粕、麥稈眞田、棉花、牛肉、牛皮、餛、桐材
同 同	基隆丸	同 同	九六二	一三七・六	麥酒
同 同	東晃丸	同 同	七三一	一、五七八・三	葉煙草、石炭
同 同	益進丸	同 同	五五八	一、一六・三	葉煙草、綿布、石炭
同 同	多摩丸	同 同	四〇四	六一五・一	牛肉、牛脂、獸骨、餛、豆粕
同 同	第二新聞丸	同 同	四六〇	四四・六	麥粉
同 同	神州丸	同 同	五四九	一、一四〇・〇	鹽
同 同	龍平丸	同 同	四三一	三〇七・一	花生、棉花、牛肉
同 同	神島丸	同 同	八〇七	一、六〇三・〇	鹽、牛肉
同 同	海州丸	同 同	七五	四六・二	砂糖、綿糸布、棉花
同 同	楠丸	同 同	一、三四五	五三五・五	花生、果實、羊毛、棉花、麥稈眞田
同 同	竹島丸	同 同	九七三	一、五五〇・八	鹽、牛肉

を其主なるものとす本年は奥地一體豐作なりし爲め高粱、大豆の如き食料品の發送が減少せるは當然にして之に反し豆粕、肥料の如きものの増加せるは其購買力に餘裕を生じたる結果と見るを得べし其他到著貨物中小麥は輸出解禁により急激の増加を示し棉花及葉煙草は共に其品質漸く内外に認めらるるに至り本年初めて如斯輸出の旺盛を見たる次第にして山東土產品中將來最も望を囑せらるゝものの一たり

△發送品

	本年十一月中	昨年十一月中	比
綿糸	一、三一一・八	一、六六〇・三	三四八・五
綿布	六六六・一	六〇八・六	五七・五
石油	二、二一二・七	四、九〇六・五	二、六九三・八
肥料	四二七・八	二九・二	三九八・六
木材	五〇四・四	五〇四・四	五〇四・四
砂糖	四二八・〇	三二九・八	九八・二
煙草	二、二七八・九	九七三・七	一、三〇五・二
昆布其他	二一九・九	一八一・四	三八・五
雜貨	三二六・四	一四六・九	一七九・五
麻袋布製	一、一七二・三	九六八・〇	二〇四・三
高粱	二二二・六	六四・九	一六七・七
麥粉	七五・七	三二八・八	二五三・一
燐寸	一・六	五九九・七	五九八・一
大豆	一八〇・八	二八〇・八	一〇〇・〇
豆油	一五・〇	三一六・九	三〇一・九
石炭	五、二四七・三	四、〇六四・〇	一、一八三・三
コークス	三、四九五・一	四、三九五・二	九〇〇・一
石灰	九三〇・〇	六一五・一	三二四・九
桐材	三〇〇・〇	五二二・三	二二二・三
木材	二六六・四	一八一・二	八五・二
古鐵	三七九・七	四、一	三七五・六
小麥	四、五〇九・九	七二一・一	三、七九七・八
落花生實	三、六六六・九	七五七・一	二、九〇九・八
花生油	五九一・一	二七五・九	三一五・二
棉花	六二三・八	五九・五	五六四・三
乾柿	六五三・五	六五三・五	六五三・五
豆油	八七四・二	二、八六〇・〇	一、九八五・八

葉煙草	一、六七五・五	六六・三	〇	一、六〇九・二
獸骨	二四九・一	五二一・三	△	二七二・二
牛皮	一六五・四	二一五・九	△	五〇・五
生牛	三、五七二頭	三、五九三	△	二一

山東鐵道輸送貨物比較表

昨大正六年四月より九月に至る前半期間に於ける輸送貨物を本年同期間に對照し見るに別表の如く増減あり結局前年に對する本年同期間の輸送數量は有貨貨物に於て七萬四千八百八十噸、無貨貨物に於て七千六百八十一噸の増加を示せり即ち左の如し

△有貨貨物 (單位噸以下一位)

品名	大正七年度	大正六年度	大正六年度ニ對スル増減
石炭	一八二、四三一・五	九一、三九二・〇	〇九一、〇三九・五
コークス	三二、八三八・七	二八、四一八・五	〇四、四二〇・二
石灰	五、三八七・六	二、七九五・五	〇二、五九二・一
煉瓦(瓦ナ含ム)	六二、三三四	二、〇六三・四	△一、四四〇・〇
セメント	三八一・〇	二二六・七	〇一五四・三
硝子板	四三・四	四八・九	△五・五
硝子製品	五五四・七	七五九・四	△二〇四・七
桐材	三、七三九・四	一、四一五・四	〇二、三二四・〇
木材(板ナ含ム)	四、二二四・五	二、七〇五・二	〇一、五一九・三
竹及割竹	六三八・五	五〇三・四	〇一三五・一
石白	八〇三・六	四九二・八	〇三一〇・八
石材及同製品	二、七三〇・三	一、一六五・〇	〇一、五六五・三
鐵板鐵鍋品	三、一二〇・九	一、二四四・八	〇一、八七六・一
鐵過	四四〇・六	五五八・二	△一一七・六
古鐵	二、一二〇・〇	一、三〇八・六	〇八一・四
大豆	五、三〇六・〇	二、〇五二・〇	〇三、二五四・〇
豆類(大豆ナ除ク)	七四九・九	三二八・八	〇四二一・一

高粱	一九、八〇一・七	五〇、三三五・六	△	三〇、五三三・九
小麥	一四、一四六・一	五、〇一九・八	〇	九、一二六・三
米	二、七四六・一	四、二三五・四	△	一、六一三・八
穀類(表中記載ノモノヲ除ク)	二、六二一・七	一、二九七・四	△	一〇、三〇七・七
落花生	三、二九四・五	一、六二九・二	〇	一、六六五・三
麥粉	一、九五五・五	一、〇六五・八	〇	八八九・七
陶磁器及土器	四、五四六・四	四、〇一三・三	〇	五三三・一
支那紙	二、八一九・四	二、三二六・四	〇	四九三・〇
紙(支那紙ヲ除ク)	八一・二	七三四・一	△	六五二・九
麻	九九三・一	四七九・八	〇	五一三・三
綿布	一、八二八・一	六九六・〇	〇	一、一三二・一
綿糸	二、八三二・九	二、七二一・九	〇	一一一・〇
綿製	七、二一二・二	五、四一二・五	〇	一、七九九・七
絹糸(屑ヲ含ム)	二七八・〇	二九五・六	△	一七・六
絹布	二二二・二	一六三・八	〇	五八・四
絹類	一五六・四	一六〇・三	△	三・九
繭(屑ヲ含ム)	一、二〇〇・〇	三一〇・七	〇	八八九・三
繭(屑ヲ含ム)	二七三・四	二一九・一	〇	五四三
梨	〇・一	〇・一	△	〇・一
乾柿	二七・四	三八三	△	一〇・九
蜜柑	〇・四	一三五	△	一三一
瓜及西瓜	二五四・四	一九八・一	〇	五六三
瓜	八六・八	三一・二	〇	五五六
果實(表中記載ノモノヲ除ク)	六三・六	一〇三・〇	△	三九・四
石	五、二九一・三	五、七四九・七	△	四五四・四
落花生油	二、三七二・二	三、二六二・四	△	八九〇・二
豆油	二、九六九・〇	二、六六九・八	〇	二九九・二
牛油	三八五・二	五七六・七	△	一九一・五
油類(表中記載ノモノヲ除ク)	六〇二・〇	二一四・三	〇	三八七・七
油粉	八、〇三四・一	三一〇・七	〇	七、七二三・四

肥料各種	九七六・三	五九五・七	〇	三八〇・六
麥稈	三二六・六	三四七・三	△	二〇・七
安稈	三七一・一	四三〇・八	△	五九・七
藥及栗稈	一〇八・二	一六〇・五	△	五二・三
鹽	三一・六	五・八	〇	三〇六・八
砂	一〇、一九六・七	八、三二四・七	〇	一、八七二・〇
日本酒	八七・六	一一三・七	△	二六・一
日	三一九・五	三八八・五	△	六九・〇
支那酒	七四六	七七・六	△	三・〇
食料品(表中記載ノモノヲ除ク)	三六三・六	七一三・九	△	三五〇・三
乾菜	八・九	四九・〇	△	四〇・一
野菜	一二九・五	二九四・〇	△	一六四・五
雞卵	二六四・二	三八・〇	〇	二二六・二
藍	二・六	一・一	〇	一・五
染塗料	九三九・三	六〇四・三	〇	三三五・〇
藥品及藥材	五八〇・七	四七〇・三	〇	一一〇・四
曹達	三二四・三	一〇〇・一	〇	二二四・二
石鹼	一六一・八	二二一・一	△	五九・三
煙草	一、一八四・二	一、九三二・六	△	七四八・四
葉草	二、〇二九・九	三八八・五	〇	一、六四一・四
茶	八二三・二	七七五・三	〇	四七・九
豚毛	三五八・〇	一八〇・二	〇	一七七・八
羊毛	八一〇・三	九九九・六	△	一八九・三
獸骨	一、二八九・一	四〇一・五	〇	八八七・六
牛皮	五二五・〇	七五一・七	△	二二六・七
豚皮	一〇六・五	一一四・八	△	八・三
魚類	四、二〇八・〇	三、九一八・二	〇	二八九・二
昆布其他海藻	一七・六	九八・九	△	八一・三
雜貨(表中記載ノモノヲ除ク)	一、五三二・八	一八九・七	〇	一、三四三・一
木粉	三四〇・六	二七五・八	〇	六四・八
雜貨(表中記載ノモノヲ除ク)	八、〇二六・八	七、二〇五・〇	〇	八二一・八

△無賃貨物 (單位噸以下一位)

燐寸材料	二、一四六・七	二、一六五・四	△	一八・七
燐寸藥類	一、四二九・五	八〇七・〇	〇	六二二・五
銅貨	八・九	六・九	〇	二・〇
銅錢	一、二三三・九	一、二六九・七	△	三五・八
青銅	八九六・二	一、八六八・三	△	九七二・一
銅具	八四八・三	二五、〇六四・三	△	二四、二一六・〇
家袋及布袋	一五三・八	三〇六・七	△	一五二・九
其 他	七三七・九	九〇四・四	△	一六六・五
麻袋及布袋	四、一三八・一	三、一七五・八	〇	九六二・三
馬 及 驢 馬	八三	三三一	△	二四八
馬	四、一九五	一、一二二	〇	三、〇七三
牛	三三	五三	△	二〇
合 計	三八六、六〇四・六	三二一、七六〇・五	〇	七四、八八〇・一

石 炭	一八、七六四・〇	二二、五六三・八	△	四九、七九九・八
石 灰	一三五・〇	四五・〇	〇	九〇・〇
煉瓦(瓦ヲ含ム)	三、六〇三・〇	一、七〇四・〇	〇	一、八九九・〇
セメント	二七、七八四・〇	二〇、一二一・六	〇	七六六・二四
硝子板	一、二六七・二	一、七七三・〇	△	五〇五・八
硝子製品	三六・三	二二・九	△	二一・九
木材(板ヲ含ム)	一〇、二九五・四	八、一七一・〇	〇	一八・三
竹及割竹	一・八	八、一七一・〇	〇	二、一二四・四
石材及同製品	二二、二四二・〇	九、八〇六・一	〇	一、一四三・五・九
鐵板鐵製品	三、〇〇二・四	一、七七七・四	〇	一、一二五・〇
鐵鍋	五・〇	一	〇	五・〇
古 鐵	一、二九〇・〇	四一・六	〇	八七四・〇
大豆	一	二・五	△	二・五
高粱	一	一五・〇	△	一五・〇

小 麥	二〇・二	一三・〇	〇	七・二
米	二五三・八	一二一・〇	〇	一三二・八
穀類(表中記載ノモノヲ除ク)	八八・〇	三二・七	〇	五五・三
麥粉	〇・四	一	〇	〇・四
陶磁器及土器	八七八・二	五七八・六	〇	二九九・六
綿製 品	四五・〇	一五・〇	〇	三〇・〇
繭(屑繭ヲ含ム)	二・三	一	〇	二・三
石 油	一二四・三	六五・一	〇	五九・二
豆 油	三八	一一・三	△	七・五
油類(表中記載ノモノヲ除ク)	七〇〇・八	三二七・五	〇	三七三・三
安 平	六・〇	一・〇	〇	五・〇
藥 及 粟 稈	二六四・四	三一五・一	△	五〇・七
鹽	一・二一	一	〇	一二・一
砂 糖	二・二	一・二	〇	〇・九
日 本 酒	二・八	〇・一	〇	二・七
食料品(表中記載ノモノヲ除ク)	一〇〇・〇	一・二	〇	八・八
染料	三六・一	九七・七	△	六一・六
雜貨(表中記載ノモノヲ除ク)	一四・二	〇・四	〇	一三八
火 藥 類	一四五	一五五・〇	△	一四〇・五
銅	五九・六	七二・一	△	一二五
家 具	九・五	四・〇	〇	五・五
麻袋及布袋	二二〇・三	二五一・八	△	三一・五
砂 利	一	五・〇	△	五・〇
其 他	三三、三六五・〇	一三、六〇二・〇	〇	一九、七六三・〇
合 計	一四、五八一・五	二、三四一・一	〇	一二、二四〇・四
合 計	三〇一、一六七・二	二九三、四八六・四	〇	七、六八一・二

金 融

○銀塊並に爲替相場(十一月中)

△銀塊、米國に於ける相場は何等の變化なかりしも休戦の爲め運賃保険料下落に因り倫敦に於ては相場四十九片半より四十八片四分の三に下落したり然れども未だ米國より東洋に輸入をなし得ざれば爲替相場には何等の影響を與へざりし

△爲替、月初め日本向電信爲替相場は百五十五圓五十錢に初りたりしが市場休戦の噂日に高まりしたため講和の日近からんことを想ひ昔日の銀相場を聯想し相場の暴落せんことを豫想し銀行者は輸出時季に向へると未だ銀塊の輸入し得ざるに反し上海市場兩銀有るの少きを考へ相場比較的鞏固にして當地は百五十圓五十錢を最低とせしも市場は百四十五圓迄引下げたり然れども銀行は依然として相場を維持したりしかば上海に於て借款の切換多少あり投機者流の賣戻し出て相場は再び昇騰し月末百五十九圓を唱へ本月の最高相場を示したり此際大連市場は相場暴落し爲めに同市場は非常に騒然たるものあり而して當市場も亦其影響を受くること少からざりし

△金、融、輸出時季に際せると將來爲替相場の下落を思ひ支那人の金思惑をなすもの多きとに因り銀資金の缺乏甚しく上海の金利は非常に暴騰したるがため當市場五日目拂手形は綿糸の賣行あるにも拘はらず常に九百四十五六兩の高値に在りたり濟南も依然金融逼迫せり

主要貿易品概況 (十一月中)

◎綿糸布

△綿糸、月初めより米綿、印綿共引續き暴落騰を演じ混亂狀態となり前途の見定め付かず三品も之に伴れ亂調子に陥り一時高値より一氣に五十圓程の暴落を爲し三百三十八圓九十錢迄(十一日)落込みしが其の後賣過の咎めと休戦條件の聯合軍の爲め有利にして講和成立略は確定せる爲め反騰三百九十一圓二十錢(十二日前場)に至り現物も之に伴れ動搖其後再び米綿の激動と共に大中の騰落を見るに至り引續き三品の綿安及前途悲觀にて亂高下を演じ殆んど歸決する處なき狀態に在りしにも拘はらず青島に於ては月初め頃手持を有せるもの賣急ぎたる結果各商店共在荷薄となり比較的手堅く保合へり殊に十六手物は現品拂底の爲め穩健の足取を辿り居たりしが二十五日には扇面、銀月、紅月共何れも百七十五圓迄浮動高を示し又二十手物は十六手に比較し相場割安なりしたため奥地需要増加せるも供給之に伴はず福島二十手百七十五兩迄(二十五日)上押せり然れど暴騰の度餘り激しき爲實需買控となり却つて大阪上海よりの荷物を呼び各店共爭ふて期近物を賣浴せたる爲め氣配一變月末在荷の漸増と俟つて相場は頗る軟弱に陥れり而して本月は日本向爲替手堅く大阪相場延惱み居り青島高値の際は十六手二十圓、二十手十圓位宛茲上鞘なりしは此の四五年來珍らしき成行なり

三品相場

	十日	二十日	廿九日
十一月	三三八・九〇	三五七・九〇	
十二月	三二八・九〇	三四四・四〇	三四二・二〇

青島相場

一月	三二七・八〇	三三三・五〇	三二七・九〇
二月	三〇八・〇〇	三二三・〇〇	三一六・一〇
三月	三〇八・二〇	三二一・四〇	三一八・八〇
四月	三〇五・五〇	三二〇・一〇	三一八・一〇
福島(二十手)	一六三兩半	一六五・〇	一六四・〇
水月(同)	一六二・〇		
扇面(十六手)	一六五・〇	一七〇・〇	一七二・〇
紅月(同)	一六三・半	一七〇・〇	一七一・〇

△綿布 引續き薄物天竺は比較的荷捌き好く粗布九龍は一時各商店共品切にして五日五兩八匁より十五日六兩迄上押せしも賣手なく細布、細綾、更紗等はポツ／＼實需買ありたるも講和確定せると手持賣急の爲め相場は軟弱を示し支那商人も買見送りに出でたる爲め抄々しき取引出来ざりしが薄物天竺等は、大阪相場と出合姿に在り相當常用小口買を見たり月末九龍五兩九匁五分を保合へり

◎砂。糖。

白糖は月始め頃當地支那商人の先高見越買付あり香港、大連よりの入荷夥しく大手筋は玆滿腹の姿となり本品は大概支那舊正月引當の荷物なれば其後商況餘り活潑ならず相場は荷澤山の爲軟調に傾き遂に四五匁方の下落を見るに至りたるも間もなく之等の持荷は殆んど奥地へ向け發送せられ市中在荷薄となりたれば玆一二週間後に至らば相當高値を伴ふに至るべしと觀測せらる月末相場は四溫糖六兩六七匁より六兩八匁見當を保合原料糖は講和行惱みの爲一時弱氣を示したるも休戰條約成立の爲再び持直し十六圓五十錢見當を稱ふるに至れり

◎材。木。

冬季に入り諸般の工事も一先中止の姿に在りて材木の需要は急に閑散を告ぐるに至りたる矢先月始め三井、鈴木の注文に係る大手鴨綠江材の到著せると市内各材木商の入荷も一度に落合ひ玆許滿腹始めて在荷の潤澤を見るに至りたるも已に閑散期に入りたる事とて大口取引行はれず來春三月工事再開迄見送りの姿なるも北海材の小口需要は割合に盛んにして月末已に正四分板一寸五分角、四寸角、木摺等は各商店共品切れの有様にして差當り安東、新義州邊より代用品輸入の必要に迫り居れり而して北海材は產地暴騰四割高を唱へ之れに伴れ當市も月始めより二割の値上げを斷行せるが市場は北海、鴨綠兩材共強氣配なり尙北海に在りては來春五月頃迄積取不可能の事情あり鴨綠江材も同じく來春解氷期迄新材流出の途閉塞されたるにより之が補給の途無く市場は兩材共充分の強氣配を保ち居れり此氣配は當分新材補充の途開くる迄持續せらるべく例令講和の成立を見るも毫も變動なかるべしと觀測せらる北海材の產地暴騰事情としては今春來木材の需要急激に増加せる爲め各製材工場の繁忙目も廻らん計りにして各工場共五六箇月分宛の注文を背負込み居る盛況なりし爲め自然工費の昂騰を招き生産難に誘はれ相場の奔騰を見るに至りたるものの如し月始め到著せる木材の如きは今年四月の注文品にして約八箇月の遲著を見たるもありと

◎石。油。

△日本油 内地品拂底の上爲替は逆鞘を示すに至り内地相場と出合はず爲に十月中旬二千五百箱の入荷ありたる以來輸入不能の姿にして各商店共手持殆んど盡き支那商人の手に五六千箱の

手持を有するのみとなり然るに内地相場は九月末金七圓四十錢より狂騰現在十三圓五十錢と飛上り此暴騰は朝鮮市場にも波及し釜山の市價十一圓八十錢に奔騰尙強硬なりし爲め同地商人より當地實業洋行に注文入電あり同洋行は直に日本油の市中在荷全部約八千箱の買占を行ひたるも船腹容易に手に入らず千箱位宛に分割發送しつつありと而して當地相場は外油との關係上突飛の値上げを爲す能はず目下青全勝五圓六十錢赤全勝五圓五十錢といふ大逆鞘を示し當分輸入の途絶ゆるに至れり、平和克復の曉外油の輸入により内地相場を緩和するに非ざれば青島市場に於ける日本油は其姿を絶つに至るべし

△外國油 日油の品拂底極度に達したるを以て外油の活歩時代となれる觀あるも外油も本國よりの輸送思はしからず品拂底の故を以てス、ラ兩社共依然賣進まず前記朝鮮行日油買占當時手を外油に延しス社も其交渉を受けたるも在日本會社の營業方針を顧慮して應せず冷かに形勢を觀望しつつあり目下各油の相場は左記の如く兩社も大勢に鑑み二十日頃各種を通じて十六錢の値上げを斷行したるが日油輸入不能の爲め其需要は全部外油に傾き市況益強氣配を呈せり

ス社製品	美	孚	銀六・二二	虎	銀六・二二
	鷹 (新罐)		五・九二	鷹 (裸)	四・九二
ラ社製品	僧帽 (新罐)		五・九二	僧帽 (裸)	四・九二

◎紙卷煙草

△日本製品 金賣の日本製品は銀價昂騰の今日銀賣の外國製品に對し常に優勝の地歩を占め遂に販路を擴張し鞏固なる地盤を築くに至りたるが今回東亞煙草に於ては原料騰貴の爲め「スピア」一盒に付金十一錢「百圓」票一盒に付金十七錢其他二三種の

値上げを爲せるも銀價昂騰の今日尙外國製品に比し遙かに低廉の傾あり殊に「スピア」の如きは已に相當の聲價を博し居り且市中一箇賣は依然前通り六錢にて賣捌きつつあれば當分銀價の下落せざる限り毫も賣行に對する懸念を要せざるが如し

△外國製品 青島に於ける外煙は東亞煙草に壓倒せられ其賣行餘り思はしからざるも奥地に於けるクロスカット、バイレット、ビンヘット等の賣行中々盛んにして殊に本年は豐作の爲一般購買力裕なれば毎月相當の輸入を見つつあり

◎米

十日頃内地米作減收豫想の發表せられしと講和成立有望の報を得て定期は一躍七八十錢高を示し鮮米相場も一變強氣に傾き漸騰月末四十四圓五十錢と跳上り(青島著)たるを以て當地相場も先高を見越し強氣を含むに至れり江蘇米の需要は依然として衰へず其收穫當時短期間に亘りて一時崩落を告げたるが其後漸騰古米一袋金十九圓二十錢新米同十六圓九十錢(各一圓七十錢高)と持直し尙上向氣配を示し居れり而して鮮米、江蘇米の需要高は殆んど正確なる數字を得難きも現在青島の鮮米需要月額千五百俵を算しつつあるの状態より推せば總需要額五千百俵に對し其需要割合は鮮米三、江蘇米七の見當なり目下米價の變動時期なるため一般に買手控の姿にして必要に應じ實需買を爲すに留まり居るを以て鮮米の市中在荷殆んど無く各商店共手持薄の状態なるが江蘇米も割合品薄にして支那人持約千袋位に過ぎざるべし鮮米月末相場小賣赤十三圓六十六錢青十三圓二十一錢見當とす

◎木炭

内地及朝鮮に於ける木炭相場は調節策の勵行に伴れ其昂騰を喰止め得たる事は明にして地方によりては非常に安價なる木炭の供給を受け居れる處もありて總體弱氣に傾きつつある矢先講和成立略ぼ確定し西比利亞派遣軍の一部歸還となりたる爲め同方面に向ひたる滿洲炭の一部に餘裕を生ずること爲り滿洲炭產地相場上物八貫俵二圓二十錢並物一圓八十五錢と暴落の入電あり爲に當地相場も氣配一變稍軟調を示すに至れり月末市中在荷約一萬八千俵見當にして小賣相場は前月末を動かす

◎燐寸。

内地の燐寸相場は漸騰殆んど停止する處を知らざる有様なるにも拘らず注文續出頗る盛況を極めつつあるを以て近來日本品の青島輸入額著しく減少し市中在荷殆んど無く青島明石兩燐寸製品の如きも常に需要に追はるるの狀態に在りて自然市價の強硬を伴ひ月末保牌三十一兩五匁雜牌三十一兩を唱へ前月に比し五匁方の昂騰を示せり如此品拂底の場合に於ける内地相場は自然當地相場を左右するの強力を現はし昨今の市況を見るに殆んど日本相場に従ふの現象を示し來れり而して之が原料たる白楊樹は刻下の問題にして已に今日其搬出に困難を感じ動もすれば一日一車乃至二車の供給不足を訴へつつありと聞けり今にして何等かの方法を講ずるに非ざれば青島軸木製造は無意味に終るべく燐寸製造業者も打撃を受くること大なるべしと目さる

◎落花生實。

本年は各地共一體に出來榮良好なりしも昨年に比し二三週間出遅れの氣味あり近頃に至り漸く出盛り始めたれば月を越えて益旺盛を見るに至るべき情勢に在り而して米國禁輸依然解けず加

ふるに片爲替となり内地相場と出合はざる爲め纏りたる商談行はれず唯内地小口需要に對する小取引を見たるに過ぎず至極閑散の裡に本月を終れり相場も月始め六圓五十錢より漸騰七圓と上押せるも不氣味の爲め再び六圓五十錢と逆戻し保合へり

◎落花生油。

本月に入りてより漸く市場に出廻り相場もデリデリと上押し先月末十六圓六七十錢より漸騰一圓高を呼ぶに至りたるも未だ大手筋の注文入らずして唯二三の小口思惑買を見るに止まりしが十三日に至り一は爲替先安見越と一は講和の成立稍確實となりたる爲め一般氣迷ひの結果強弱二派に分れ茲に始めて大手合を見るに至れり出來高原油三萬五千擔箱油十萬箱高値十八圓十錢も爲替安見込外れ豫想外に跳返したる爲商況一頓挫を來し渉々迄買進みたるしき商談行はれず氣配一變月末十七圓と下押し尙軟調を呈せり神戸沖著相場は賣卅三圓買卅二圓五十錢見當なり

◎豆油。

落花生油の出盛期となり本品の出廻り大分減少するに至りたるも尙相當荷動きあり然れど既に大部分出盡し奥地品薄なれば月を越ゆると共に全く市場を落花生油に讓るに至るべし相場は月始め十四圓十錢より漸落月末十三圓七十錢を示せり

◎牛肉。

山東牛の内地輸出は本月に入りてより頓に激増し其數約二千頭に達して未曾有の盛況を呈し新記録を作るに至れり其原因は昨年來輸出を開始せる當地產牛の勢價が漸く内地一般に知れ亘りたるによるものにして一時畜牛不足の爲甚だしく昂騰し天井知らすの勢に在りたる内地の肉價を調節し得たりと云ふ其の爲め

當地肉商は勿論新に之が輸出に従事するもの二十數名の多きに上り互に競争的態度を以て肉價を買煽り爲に枝肉(骨付)百匁八錢より一躍十錢といふ突飛の昂騰を演ずるに至れり斯の如き實際相場を無視せる高値は將來輸出狀態を危険ならしむるものとし肉商間に於ては其引下に付善後策を講じつつありと聞けり尙年末各種輸出貨の輻輳せる昨今船腹の逼迫甚だしく輸出業者は先此船腹爭奪戰に打勝たざる可からざる困難を控へ幾分輸出の途を遮塞せる嫌無きに非ず尙輸出業者は引續き十二月期に於て約三千頭の輸出計畫を有するも船腹の如何によりては或は豫定の數量に變動を來すやも計り難しといふ斯る盛況に在るを以て屠獸場に於ても極力便宜の方法を採り或は料金の割引を行ひ或は場内設備を改善し輸出の奨励保護を念とせるを以て輸出業者の意氣込中々盛んにして同所裏門外にある私設肉掛場の如き從來開治洋行の二棟のみなりしも内地輸出旺盛となるに連れ急に必要に迫り新設されたるものを合せ八棟に上り其他目下工事中のものゝ新設計可申請の分四棟を示すの有様に在り本月に於ける開治洋行の「マニラ」行屠殺數は著しく増加し二千二百八十九頭に上り之を前月の千三百七十八頭に比較すれば實に九百十一頭の増加を示せり

◎鹽。

灣鹽の政府買上値段は門司渡百斤原鹽金一圓二十四錢八厘再製鹽一圓八十錢の契約なりしも銀高に加ふるに運賃昂騰の今日到底引合ざるにより價格の引上方に就き夫々納入側より陳情する處あり結局原鹽一圓四十六錢再製鹽二圓二錢粉碎鹽一圓八十一錢粉碎洗滌鹽二圓十六錢に改正十一月五日官報を以て告示せら

るに至り市況稍活氣を呈し來りたる所青島鹽業は大規模買付を開始し始め噸銀四圓より買立順次四圓六十錢迄買進み十一月末漸く三萬八千餘噸の買付を終り一先手を收むるに至れり之が賣手の重なるものは東洋鹽業及支那人萬玉金外四五名にして其が爲め市況頓に強氣を示し明年春物の如き買手三圓五十錢賣手四圓を唱へて下らず然れど今回の買付の如きは青島鹽業が荷物の必要上聊か無理買に出でたる事情ある由なれば明年春物は三圓五六十錢見當にて折合を見るならんと觀測せらる、鹽積取船は昨今益頻繁を極め殆んど全入港臨時船の七分を占むるの有様なるも月末埠頭滯貨尙四萬噸を下らず然れど引續き極力廻漕に勵めつつあれば年内には滯貨一掃を見るに至らんか

◎石。炭。

先月末淄川の出炭思はしからず最低一日四五百噸に減じたることありしと博山の各炭鑛も排水作業豫想外困難にして某炭坑の如きは全く廢坑同様のものさへあり出炭噸に減少せる一方採暖期に入りたる爲め各官廳宿舍の配給炭竝に地賣炭量激増し近來稀なる品拂底を示すに至り市中小賣相場は益硬調を呈するに至り聊か前途の不安を思はしめたるも月末頃開平炭の輸入ありて幾分需給狀態を緩和せるの觀あり採暖期に於ける炭價の昂騰は毎年の例なるにより當局に於ても之が調節策に就き種々苦心する處ありと雖も本月の如きは官廳官舎の配炭尠なからざる量に達し塊炭及一、二號洗炭の如きは尙暫く市中配給出來得ざる狀態にあり然れど既に大方の配炭を終り市中賣出準備中にあれば遠からず廉價なる淄川炭により市價の調節を見るに至るべしと豫想せらる而して輸出の狀況を見るに近來上海方面の需要益々

増加せるにも拘らず前述の如く品拂底の状態に在るを以て勢ひ供給力充分ならず輸出の減退を示せり而して既に淄川の出炭舊に復し博山も亦冬期に入り坑水漸次に減退し著しく排水作業の進捗を見るに至りたる由なれば自然輸出炭量も潤澤となり其旺盛を見るに至るべし地賣炭の市況を見るに内地輸入炭に在りては内地炭價暴騰の爲め割安運賃あるも引合はず輸入不能の姿に在り各商店共少量の手持を有するに過ぎず撫順炭の如きは輸出制限の爲荷廻り思はしからず加ふるに博山の出炭減と淄川炭の一部市中配炭休止とは益々市中の品拂底を告げ相場は強硬一方にして月始め各種炭を通じ噸五十錢見當の値上げを見るに至り爾來益々硬調に傾き漸騰の氣配を示しつつあり今各種炭の月末相場を示せば

内地炭	上品	一七・〇〇	淄川炭	塊	一一・六〇
	並品	一六・〇〇		洗三號	一〇・五〇
撫順炭	上品	一七・五〇	坊子炭	塊	一〇・五〇
	並品	一五・〇〇		粉	七・二〇
博山炭	上品	一五・〇〇	並品	塊	一二・六六
	並品	八・〇〇		粉	七・六六

◎棉花。

山東棉花は南部支那産に比較し含有水分の尠なき點に於て遙かに優秀なるを以て印棉と殆んど同格の品位を認められ漸く内地紡績業者の知る處となり昨年中輸出總額三千九百餘噸より一躍本年は十一月既に八千四百餘噸に上り新記録を示すに至りたるが月始め印棉、米棉共暴落の爲め内地商況頓に惡化し加ふるに内地紡績業者は印棉によりて來年三四月頃迄の手當濟となり茲期近物買付の必要なく内地紡績業に對する支那棉の需要止りた

る一方印棉暴落の結果支那棉益々割高となり兩棉同格品を比較するに每擔十圓高を示すに至りたれば氣配頗る軟弱を呈し一般先安見込と銀高の爲め買控の姿となり一時旺盛なりし山東棉輸出も閑散を告ぐるに至れり目下濟南に於て一萬八千餘擔の滯貨を有するも商談先づ一服の姿にして年末に近づくに従ひ手持筋の投資續出すべく相場は下向氣配を示しつつあり來春船腹の餘裕付くを待て輸出大手筋の買付あるべしと豫想せらる月末山東棉青島波相場は上物一擔二十四兩五匁より二十五兩五匁並物二十四兩より二十五兩見當を唱へつつあり

◎コークス。

内地に於ける優良コークスの需要は増加の傾向を有し博山コークス中の優良品は益々望を囑するに至れり然るに大戰休止され講和成立確實となりたる爲め小資本精煉業者の工場を閉鎖せるもの續出し小口需要の減退を見るに至りたるも大口需要は依然旺盛にして毫も衰退の徴候なく殊に東和の製品たる優良コークスの如きは既に内地との契約を有し常に相當の手持を有するにより博山出炭量激減せる今日も尙輸出の減退を招くに至らず相場も先月末より大阪金七十八圓青島銀三十四五圓を動かす頗る好況を持續せり然れど銅山用普通品に在りては内地品澤山の爲め荷捌け遲鈍にして相場は軟弱を示し纏りたる商談行れず目下青島船乗渡普通品銀十七圓上等品同二十七圓を唱へ居れり

◎小麦。

月始め内地製粉受渡紛騒の結果先月來の弱氣配は益々市場を惡化せしめ八圓四十錢より一氣に七圓と暴落其れに伴れ當地相場も四圓十錢より四圓と下向更に下旬三圓八十錢迄落込みたるも

思惑買を試むるものありて同業者相互間の手合相當行はれたるが月末に至り内地製粉紛騷解決せると米國方面食料品好況を傳へられたる結果急に反騰〇三七圓八十錢に跳返し尙漸騰の氣配を示すに至り當地も内地景況回復の影響と爲替安の爲め相場を持直し月末四圓見當を唱へ尙充分の強氣を含めり

◎牛。皮。

先月末突飛の暴騰を爲し聊か前途を氣支はしめたる牛皮界は其後講和來と諸物價下落に伴れ内地一般買控の姿となり相場は漸落の步調を辿るに至り當地邦商一般の買控となり加ふるに日本向爲替不利なりし爲め市價稍弱氣を呈し實際相場に近づくの狀態を示したる矢先支那商中年末金融逼迫に苦しみ手持を賣急ぐ者あり急に暴落大皮二十七兩中皮二十三兩小皮三十一兩を唱へ尙漸落の形勢に在り之を前十月末相場に比較すれば實に大皮七兩中皮九兩小皮八兩といふ大暴落を示すに至れり而して本年に於ける生牛價は相當高値を示せるも之に反し牛皮界前記の如く不況に陥れる爲め品出廻り捗々しからず濟南も同様在荷薄を傳へらる

◎紙。類。

狂騰殆んど底止する處なかりし内地製紙界も急に講和來の聲に駭かされ一部稍弱氣に傾き景氣絶頂時代に先高を見越し買込みたる二流三流方面は休戰狀態に入ると同時に怖氣付先安見越投資を試むるものあり爲に五分乃至一割方の下落を示せるが製紙會社及大手問屋筋の態度依然強硬なりしと需要旺盛時期にして相當賣行を見つつありし爲再び持返したる觀あり然れど大勢既に軟弱に傾けるは争ふ可くもあらず中間取引見越買皆無の姿に

して只實需買付あるのみ商況頗る不振の狀態に在り當地は銀高の爲幾分の値下を見るに至りたるも商況益々活潑殊に支那人向有光紙及寸達ザラ紙の如きは需要最盛期に入り相當取引を見つつあり一般印刷用紙は賣行閑散となりたるも年末に際し名刺繪葉書用紙の賣行盛んにして一般に好況を持続せり然ど暴騰に次ぐに狂騰を以てして殆ど四倍強の高値を現出せる紙界は大勢既に軟調を示せる今日遠からず漸落の運命は免がれざるも少くも來春の需要時期迄は現今の狀態を持続するものと觀測せらる

模造紙	封	金四十六錢
印刷紙	封	金三十五錢一四十一錢
有光紙	捆	銀百七圓
寸達ザラ紙	捆	銀百十圓
ザラ紙	連	金十二圓

内外經濟時報

鹽供給に付當局の辯明

日本内地に於ける鹽の供給は近來供給意の如くならず需要期に向ひ益々憂ふべき狀態に在りとなし先に東海商業會議所聯合會は其の決議により大藏大臣へ建議する處ありたるが之に對する當局の辯明として名古屋專賣支局長富澤充氏より一般需用家に對する注意を兼ね左記書面を寄せられたりと

鹽供給方に關する件

本年度は時局の影響を受け一般に鹽の需要高著敷増加の傾向あるに反し内地の天候は稀有の不良を呈し製鹽最盛期たる七

月乃至九月の間數回に亘る暴風雨の爲生産地鹽田に尠からざる損害を蒙りたるのみならず天候常に不良にして製鹽に適せざりし爲め内地鹽の生産力に甚大なる打撃を被り全國各地共多大なる鹽供給不足を免れざる現狀に有之其の増製に關しては素より極力督勵を加へ來れるも時既に寒冷の季に向ひ天候恢復するも多くの増製を期待し能はざる實情に有之候政府は豫め本年の鹽の供給不足の傾向を認めたる以來極力臺灣關東州及青島鹽の移輸入高の増加を計り一方アルカリ工業、味噌醬油釀造、石鹼製造、家畜飼用、獸皮保存、窯業、遠洋漁業等苟も原料として鹽の使用さるべき用途に對しては右移輸入原鹽を供給して極力内地鹽缺乏の程度を緩和するに努め一方此等原鹽を紛碎又は再製して供給する特殊の施設を爲し居り候得共向後愈鹽の需要季節に入り内地鹽の供給之に伴ふ能はざる事明かなるに至れるを以て今後は一層周ねく前記植民地よりの移輸入鹽の使用奨勵を計り内地鹽缺乏に對する代用補給に努め以て國民必要品需給の調和を期するの外なき次第に立至り候由來臺、關鹽、青島鹽は鹽の實質に於ては内地鹽に比し遜色なくして却て價格低廉なるも外形不良にして未だ一般内地人の嗜好に適せざるものあり使用の普及上遺憾の點少からざる次第に有之鹽賣捌人に對しては當局よりも夫々指示致すべく候得共一般消費者に於て使用に習熟せざる爲め調節の目的を達せざるに至る様の事ありては甚だ遺憾の次第に付前記の事情御諒承の上別紙要項周知方特に御配意相煩度此段及御依頼候也

臺灣鹽、關東州鹽及青島鹽要項

一、臺灣、關東州、青島の原鹽は天日製鹽なれば結晶粗大に

して色澤不良なるも鹽化曹達の含有量は内地鹽の中等品以上に相當し鹽としての效力に於ては内地鹽と何等の差あるものにあらす

二、右原鹽は結晶粗大なるも味噌漬物等に使用し何等差支なし若し内地鹽の如く微細なるを欲せば臼等にて粉碎使用すれば可なり

三、醬油釀造等水に溶解使用する用途には直に桶の底部に投入せず筵様のものに入れ水の上部に吊し置くときは溶解極めて容易なり尙滓引を爲して使用せば最も清澄の鹽液を得べく使用效果は内地鹽と何等の差なし

四、右原鹽の政府賣渡價格は内地鹽に比すれば著しく低廉に定められ居り品質により多少の相違あるも約二割内外廉價なれば使用者に取り利益多し

五、臺灣鹽、關東州鹽には上等並等の區分あるも主として色相の良好なるを上等とせるのにして鹽の實際の成分に於ては並等鹽と雖も劣るものにあらず

六、天日製原鹽は結晶の狀態内地鹽と大に異なるを以て使用に當りては秤を用ひ重量に依り使用するを（專賣後は鹽は總て重量にて販賣す）安全とす若從來の習慣に依り秤によりて使用量を定めむとするときは凡そ内地鹽一升に對し原鹽八合位の割合にて使用すれば適當ならん但内地鹽及原鹽の品質に依り多少の相違は免れ難し

七、臺灣鹽、關東州鹽及青島鹽は從來各種工業用、味噌醬油釀造用、遠洋漁業用等に使用せられ年々其數を増加し來り漬物用にも前年來使用せられ内地鹽と效力に於て差を認めず尙詳細の事項は最寄專賣官署又は鹽賣捌人に就き承合せられたし

支那關稅改正委員會

上海に於ける支那關稅改正委員會は漸次進捗し帝國に關する分は殆ど全部結了を告げ他の國々に關する分も殆ど終了に近付き本月十五日頃までには全部終了の運びとなるべき筈なり但し明治三十五年の清國輸入稅目改訂に關する協定の際には外務省告示として發表せられしが今回は相當重大なる案件なれば閣議及び樞密院に附議したる後發表するなるべし尙上海の關稅改正委員會は引續き開會し支那關稅制度の根本的改正につき協議すべしといふ

米國棉花分配委員會の議決

米國棉花分配委員會は海陸軍、戰時工業局及棉花業者代表者列席の上品質中等以下の棉花使用を計る目的を以て左記趣旨の議決を爲したる趣十月三十日戰時公報にて發表せり

第一、政府用綿製品製造業者は必要以上に品質上等の棉花を使用し居るの事實あること

第二、海陸軍及紡績業者は棉花分配委員の方針遂行を援助するの精神なること

第三、海陸軍は政府用綿製品製造に使用せらるべき棉花の品質が必要以上に上等なるを要せず且つ右綿製品の檢定を爲すに當りては原料棉花の品質を其檢定標準とせざることに同意したる旨製造業者に通告すること

第四、一般向綿製品製造業者は海陸軍向同種物品の製造に用ひらるべき棉花と同様又はより下等なる物を使用すべき事

山西省の石炭

亞細亞は石炭紀(Carboniferous period)以前南北二大陸及び其間

一海より成り北は Angaraland 大陸と曰ひ南は Gondwanaland 大陸と曰ふ、此の二大陸の間を石炭紀の大海と爲す今の本部支那及び新疆西藏蒙古等の大部分を占む其後海底漸く海面に露出し中世代末(Mesozoic Era)に至りて漸く乾涸す而して我國(支那)の地質組織は略ぼ具備したり新生代(Cenozoic Era)の第三第四紀(Tertiary and Quaternary period)に至りて支那全部は既に諸海面に現はれ其間幾多の變化を経て山岳谿谷を構成せり第三紀の時に當り火山作用頗る激甚、遂に巨大の山系を爲し内地の洪積(Deluvial)沖積(Alluvial)二地層は之に因て生出す故に石炭紀系の支那に在るや其理まさに廣布たるべきなり蓋し支那は原アンガラ、ゴンドワナ兩大陸間の海底にして地質的構成は初め石炭巖層を爲し次で砂土沈積す石炭紀時代には植物繁茂し隱花植物は到る處鬱蒼たる森林を爲せり其後幾多の變遷を経て乃ち炭層を成すに至る此れ炭田の原なり本文言ふ所の炭田(Coal field)は多く兩大陸の沿岸に存在す今の直隸、山西、陝西、河南(アンガラ大陸に屬す)雲南、貴州、四川(ゴンドワナ大陸に屬す)の諸省是なり唯支那の炭田は古生代(Paleozoic Era)に構成されたる者を除けば多くは中生代の巖層に係る者なり山西大同府の石炭は其例なり

第一、地勢 山西の面積五萬五千平方哩、地勢甚だ一致せず東南は山脈聳起して燕豫平原の上に突出し其西は黃河の峽谷之が境界を爲し北は漸く蒙古の草原を現して遊牧の地を爲せり全省は山脈横亘し概ね東北より西南に走れり其間稀に灌木あり森林鮮少荒蕪不毛の地と爲す然れ共山脈の間には肥沃の原野ありて耕作に適せり其の大なるものは大原府の高原と爲す省會此處に在り(緯度北三十七度五十二分、經度東百十二度二十四分)南

北約長八十哩、東西二大山脈夾峙し相距ること約二十五哩省垣を距ること東北約三十哩の地は山谷畫の如く兩壁石灰岩垂立し汾水此れより發源して全原其灌溉の利を受けり

第二、黃土 山西地面は概ね此種の土壤に係る其色棕黃にして其質疎鬆なり溪流の經る所多く陟壁を爲し高きは數百呎に達するものあり洪水兩岸に浸蝕して土壤中流に游積し遂に河道を遷移せしむるに至れりリストホ氏曰く此種の黃土は中部亞細亞地方より吹來る細砂微塵の堆積して成る者而して粘土砂礫炭化鈣を含有し及其他に鹽分の物質を帶べり其色の黃なるは鐵分の含有するが故なりと其組成より之を觀れば肥沃にして耕作に適するを知るべし黃土の上に間々古火山流出の石塊あり即ち雪花岩是なり(井陘の西南に雪花山あり故に之を名く)山西省の道路は平時皆な軌轍あり洪水の時或は池沼あり或は溪澗となる冬季に至れば朔風黃砂を飛揚して天際に瀾漫す其凄凉たる景象は人の夙知する所となす

第三、地質 山西地質の特性を略記せば左の如し

系 名 年 代 主要岩石

五臺系 Precambrian 紀

片麻岩
片岩
大理岩

兗州系 Cambrian 紀

頁岩
石灰岩

冀州系 Ordovician 紀

石灰岩

炭層系 石炭紀

砂岩
礫石質石灰岩
砂岩及頁岩
黃棕色砂岩

黃土 第四紀

(一)五臺系 佛人 Rickhofen 米人 Willis 兩氏は山西の Pri-

Cambrian 層系を五臺系と名けたり此系に屬する岩石には片麻岩綠色片岩、硅岩、大理石等あり花崗岩は其中に噴入す此系の岩層は多く省の東北に見ゆ獲鹿縣の南、井陘縣の北には皆な之れ有り高度一萬呎の五臺山は實に此系の模標を具へり此れ蓋し五臺系名稱の由來する所なり山は太原府の北に在り相距ること百哩山勢東北より西南に向て走れり釋迦尊の聖地と爲す其の他に霍山風雪山等あり其山勢は五臺山と同じ其層も亦同じからざるはなし唯五臺山の上に於て間々 Cambrian, Ordovician 兩紀岩層覆はるるを見る是れ其の異なる點なり太原平陽の西にも五臺系の岩層を見ることあり

(二)兗州系 此系の岩層は Cambrian 紀に屬す佛人リー氏始て之を山東に於て發見す故に支那南北に共有すと斷定されたり其主要岩石は灰岩と爲す砂粒多くして粒狀を呈せり燒灰に適せず中間に紅色頁岩あり此岩層は山西各地に廣布され獲鹿縣の南井陘縣の北にも皆之れ有り

(三)冀州系 兗州系の上を冀州系と爲すウキ氏の命名する所なり今之を活用せり其岩石は Ordovician 紀の青色灰岩にして粒狀を呈せず質頗る純なりリー氏は此岩を石灰紀に屬すと稱せるがウキ氏は之を Ordovician 紀に歸すべしと爲せり且皆な支那北方に存在せず此の灰岩の Ordovician 紀に屬するは疑ひなきなり其上層を砂岩及頁岩と爲す其中には炭層を含めり此れ又支那北部の石灰岩に屬せり故に支那北部には兗州、冀州兩系巖層の存在するは最も普通と爲す山西の山脈は多く是に由て構成せられ石灰系の酸壁は各地に散見して高數百呎に達する者あり

(四)炭層系 ウキ氏の言によれば山西の炭層系は石灰系に屬し米州產炭の最富區と相同じと此れ冀州系の上に在るなり然れ

其岩層は之と整合せず此層系を構成する岩石に就ては別に之を述ぶべし即ち

甲、頁岩は瀝青の石灰岩中の燧石に夾れ耐火粘土にして彩色

砂岩あり此等巖層中には多く炭鐵を含有せり

乙、紅砂岩及び頁岩は粘土と相互に錯迭す

以上擧ぐる所の各系は皆なり、ウ兩氏の説に基き確定誤りなきなり若し某所の岩石が冀州系以上の岩層に屬せずと爲さば必ず其下に炭層なきを知るべきなり此れ地質學と礦物學とは密接の關係あるを以て其贅言を顧みず前に詳述したる所以なり

第四、炭田 山西の山は多く燕豫平原の上に突起す故に南部炭田は高く豫原を出づること二千呎乃至三千呎に達す全省には規則的且つ相互聯絡する山脈ありて概ね東北より延て西南に向ふ炭層系は是に由て捲疊し而して巨大の山槽、山鞍、山脊を爲せり唯冀州系の青色灰岩を餘すのみ其上の石炭系は風雨の爲めに削淨せられて餘す所なきなり郡山の間には地層斷裂して平谷を構成するあり而して石炭系は反て存留するものあり蓋し此地は風蝕水浸の作用甚だ微弱なりしが故にて井陘炭田の如きは即ち是なり炭田には大斷層三あり其二は西に向て下向し高五千呎に至る即ち風雪山霍山の二大山脈を爲せり其一是洛山々脈を構成し東に向つて下行し高三千呎に達す霍山の東には無煙炭田あり其西には有煙炭田あり然れども此れ簡別して之を言ふに過ぎず實際上兩炭田に於ては炭質變遷する處殊に甚だ多きなり

●●● 無煙炭田

(一)層系 リ氏曰く山西の無煙炭田は太原府より起て孟縣に至る其間或は斷絶する所あり即ち太原府南の晋城縣或は北部平定縣に在て各一區劃を爲すが如き是なり其層序を分別すれば左

の如し

甲、砂岩 炭層系中の最古なるものは砂岩と爲す厚さ五十呎乃至一百呎あり間々炭層及び赤鐵礦床と青石灰岩と相接觸する處あり或は小塊の赤鐵礦ありて其質良好なりと雖も燐分甚だ多くしてバスボル溶煉法に適せず唯近來之を開採溶煉する者多きを見るに至れり

乙、燧石質石灰岩 此岩層は厚さ十呎乃至五十呎あり砂岩巖層の上に居り酸漿貝類の花形を具ひ建築材料に適す人多く化燒石灰に用ふ

丙、砂岩及頁岩 石灰岩の上は砂岩と頁岩と爲す厚さ二百呎乃至三百呎あり上層には耐火性の粘土を具ひ熔鐵鉗鍋及び磁皿の製造に適す

丁、無煙炭岩 主要の無煙炭岩は其占むる所の面積甚だ廣く間々斷絶する所あり其下は百五十呎乃至三百呎に達す燧石質石灰岩を含有し炭層の厚さ十二呎より三十呎に至る其内に薄層頁岩あり炭質頗る良好なり灰燼約百分の十を占む近頃晋城縣及平定縣一帶に開採する者甚だ多しと云ふ

戊、頁岩及砂岩 岩層の上には厚さ百呎乃至三百呎の頁岩及砂岩あり

己、黃棕色砂岩 無煙炭田の層系中最新なる者は黃棕色の砂岩粘土及頁岩等とす晋城一帶其大部分は多く風蝕水浸の爲めに削去せらる此作用の甚だ微弱なる處は其厚度一千呎に至る者あり

(二)炭質の變遷 晋城一帶の炭質は専ら無煙炭質に係るが臨城炭礦より道口に向ふ一綫は漸く無煙より有煙に變ずるあり此綫以北も亦漸く無煙に變せり平定縣の炭は専ら無煙質に係る平

定以西も亦漸く變遷を生ぜり壽陽縣の炭は有煙質なり太原府の炭は無煙炭質なり平定東北の井陘縣の炭は復變して有煙質を爲せり此れ山西の炭質變遷の狀況なり

●●● 有煙炭田

田層の順序に就て之を觀れば有煙炭田と無煙炭田とは相似る所あり唯有煙炭田の炭層にして開採の價値を具有するものは燧石質を含有する石灰岩の下に在るのみ山西にて純粹の有煙炭を産出する鑛區は北は寧武にして南は河津なり此二縣の炭質は有煙無煙の間に介在す太原の西域は亞無煙炭質を爲し河津、平遙、太原、寧武等是有煙炭鐵鑛及び耐火粘土を開採する要區なり

炭量 リ氏の預計に據れば山西省にて採掘し得らるべき無煙炭量は約六億三千萬噸有餘あり有煙炭の量に至ては尙無煙炭の上を超過すべしと多數地質家の考證に待つも此說の確實なるを知るを得べし苟も世界の消耗率にして加増せざる以上僅かに山西一省の產出炭を以て全球二百餘年の用に供せらるるならん其炭量の大なること實に驚くに堪へたり

第五、採炭土法 山西の採炭場は各處に存在するが其產量を窺ふに一日僅か百噸を超過する者甚だ稀なり炭坑には豎坑あり斜坑あり亦僅かに坑道なる者あれども蓋し之を利用するに頗る幼稚なり即ち其採掘したる炭は多く筐内に盛り之を木車の上に置きて後に曳出すなり斜坑の斜度は三十度乃至四十度の間に在り坑に階段を作りて出入に便にす炭は多く麻袋に盛りて之を擔ひ出す間々二人の肩に荷へて運出することあり坑道は正方形にて毎邊の長五呎乃至六呎を普通とす坑壁は不堅固の場所を除き多くは木板或は磚石を用ひて壁と爲せり坑口には横軸轆を置く直徑十五吋乃至五十吋ありて相等しからず毎回之を以て炭筐を

捲揚く其炭量約三百磅内外なり晋城に豎坑あり深三百呎に至る機械を應用して採炭する鑛區は保晋公司を措て他に未だ見る處あらざるなり

山西の採炭法は頗る粗笨なるのみならず其需要も亦甚だ輕微なり故に採炭場附近は一噸に付賣價五角乃至一元五角、太原城に至ては毎噸二元五角の安値を示せり工資頗る低廉なり概ね左表の如し

職 別 工 賃

監 督	工	二十元—三十元(月給)
機 械	匠	十元—四十元(月給)
坑 夫		一角六分—二角五分(日給)
苦 力		一角二分—三角(日給)

第六、運輸 運炭には或は轎車を用ふる者あれども多くは牡犢及び騾を用ひて之を曳かしむ然其此れ僅に道路平坦なる處に就て言ふに過ぎず蓋し起伏不定の地に至ては駱駝及び騾を用ひて之を運載するも間々手車を用ふる者あり每車三百五十磅内外を運載すべし鑛區附近は人畜群集し其光景頗る奇觀なりと云ふ附記

大同府には Quaternary 紀の炭田あり面積約一百平方哩を占む而して前述の兩大炭田とは相聯續せず炭層の上に厚さ約百呎の岩層あり傾斜甚だ輕微なり炭質良好且つ變遷少し京綏鐵道の用炭は多く此處より供給さる歸化城及其西北一帯にも炭田あり然其存在の狀況、年代の遠近に關する調査は未だ完備せざるが如し
臨山、王平、開灤の炭田は昔時山西の炭田と相聯續せしが風化水蝕によりて分て數段と爲れり臨山、王平の岩層捲疊甚だ

しく炭層斷裂して開採し難し開平炭層の傾斜は四十四度乃至八十度の不同あり然れ共炭質良好にして有煙炭中の白眉と稱すべし

山西省は石炭に富み又鐵鑛にも饒なり其蘊藏頗る厚く苟も經營にして其法に適へなば世界炭鐵界の牛耳を執るに難からざるべし唯困難の點甚だ多きを遺憾と爲す茲に其點を擧げんに

(一)山西の地は水に乏しく能く汽罐の需要を滿すに足らず鑿井せば或は給水さるべきも然れ共其量不足なると且つ汚濁甚だしく到底化學作用を與ふるにあらざれば適用する能はざるなり雨量は毎年十二吋乃至十六吋ありて地を掘て之を蓄へば或は供給し得べきに似たれども唯雨時の水勢甚だ急にして之を蓄ふるに容易ならず幸に地下泉の富めるあり採鑛の時之を利用すべし

(二)山西は木材に乏しく坑内支柱の大部分は木材を使用せらる故に採鑛場附近に樹木を植へ或は煉瓦を製して之に代ふるも可なり其他交通の滯礙は運輸に影響する所輕からず故に正太鐵道と京漢鐵道の接續を完成せざる可からず即ち正太鐵道の軌條は京漢鐵道の夫れの如く改築するを要す又山西幹線は南は永濟に達し北は庫倫に通して亞比利亞と相接續せしむるに於ては此石炭の販路は優に歐洲に擴張するを得べし又更に晋城より一線敷設して南は京漢線に連ね北は京綏線に接せしめ即ち山西の石炭は其運賃を輕減するを得て東南各省に向ひ廉價を以て供給する便あり云々

日本の陝西石油協定

陝西省に於ける邦人の鑛山開發は外人側よりも頗る注自され居る所なるが同省に於ける石油探掘に關し最近チャイナプレスは

大略左の如き記事を掲げ居れり

數週前の一日日本新聞の報ずる所に據れば日本石油會社及び寶田石油會社は今回陝西省に於ける石油鑛區調査の爲め技師を該地に派遣することに決したるが兩社は日本内地に於ける石油鑛區の漸次減少しゆくに鑑みてこの鑛區を租借せんと試みつつあるものなり兩社はともに日本に於ける有力なる石油會社にして今回協同して北京に中日實業公司 (Chinese Japanese Industrial Corporation) なるものを設立したるがその技師は陝西省の騷亂未だ靜穩に歸し居らざるも支那政府より旅行免狀の交付を受け次第同地に向け出發の準備なりて昨今頻りに旅行免狀の交付を督促し居れりと云ふ而してその技師中に測量技師を含むや否やは詳ならざるも以前スタンダード石油會社の爲したる測量遺憾なきものありて實地測量を要すべきもの殆んどなかる可ければ此際優秀なる測量技師を有せざるもさして困難を感ぜざるべし同社の資本は全部日本人によりて出資され居るものにしてその額不詳なるが可成り多額のものならんと信せらる尙ほ支那人間には同社終局の目的とする所はただに陝西省の石油探掘にとどまらずして同省鑛業の全部を獲取せんとするものならんとの疑念を抱き居るものありと云ふ

保險業法改正諮問

農商務省は現行保險業法の一部改正を企圖し來議會へ提案する由にて去月二十七日岡本商工局長より東京商業會議所、生命保險協會其他に對して左の如き諮問案を送附したりと

一、發起人の法定數を現行制度にては七人以上とあるを一定員數に増加するの可否

二、發起人の引受くる株式の數を株式總數に對する一定の割合以上に限るの可否（相互會社に於ては發起人は基金釀出者たるものとし其引受くる基金の額を基金總額に對する一定の割合以上に限るの可否）

三、發起人の引受けたる株式に付き會社設立後數年間に於て爲す株金の拂込に關し（相互會社にありては發起人の引受けたる基金の支拂に關し）各發起人に連帶責任を負はしむるの可否

四、生命保險に於て保險金額を受取るべき權利の差押へを禁止すべき金額の限度を如何に定むべきか

世界金融中心の移動

世界金融の中心市場として優越せる倫敦の地位が大戰の影響を蒙りて多少低下したるは争はれざる事實にして他方今日の紐育金融市場の發達より推すときは戦争が長引けば長引く程紐育は世界金融の一大中心市場たる資格を完成し來るべきは疑ひ無き事實なり尤も斯の如きは一に戦争繼續といふ不確定なる事實を基礎とする推定なれば大戰繼續期間の長短如何に依りて變動は免れず而して紐育が全然倫敦を凌駕するに至るや否やは想像し難しとするも或は倫敦七分紐育三分尙進んで六分四分といふ關係的地位に立ち遂に紐育が世界の一大クリーアリングハウスたる可きは決して必無と謂ふべからず固より世界の金融中心市場たるには之に必要な境遇機關並當務者の素養訓練無かる可からず一言之を掩へば大戰の爲めに米國は對外經濟關係に於て其の境遇を改善し其の面目を一變したり即ち其の對外貸借に於て米國は一舉にして一大債務國より一大債權國となれり戰前英國

が米國に投資したる金額のみにても十億磅を超へたりと稱せらる米國は開戦以來是等諸外國の負債を軍需糧食其他の供給に依りて償還したるのみならず進んでは聯合與國に對し巨額の貸付をなすに至り本年六月末現在に於ては其額約六十億弗に上れり隨つて米國が債權の利息並に元金の受入償還の爲めに貿易上將來多大の便宜を享有すべきは論を俟たず又貿易の擴張海運上の勢力の充實は茲に一々數字を舉示して例證する迄も無く世間周知の顯著なる事實なり即ち北米合衆國は既に一大債權國たり海外貿易の中心たり更に船舶交通の中心たるに至る可く又之を保護し取引の安全を確保すべき海軍の大擴張あり斯くて紐育が國際金融の一大中心たるに必要な金融市場以外諸條件は漸次充足されつつあり次に金融機關の問題に就て倫敦紐育兩市場を比較すれば倫敦は金融市場として極めて自由なる歴史的發達を遂げ其中央銀行と市場銀行との關係市場銀行と割引會社引受會社との關係に於て相互に微妙なる作用を發揮して完全なる割引市場を有したるは倫敦が榮譽ある世界金融の中心たる大原因を成したるなり然らば此割引市場が紐育に存在するや否や其の將來に於て此の組織を完成し得べきや否や千九百十三年十二月に合衆國の銀行制度に一大改革ありて聯邦準備銀行の設立となり中央金融機關の作用行はるるに至り市場銀行たる國立州立各銀行並に信託會社が準備銀行の組合銀行となり準備銀行は各組合銀行の字形の再割引を爲し又各銀行に對して貸出を爲し準備銀行券を商業字形擔保に發行するの制度布かれ爾來漸次に發達し現在に於ては前記銀行制度上の改革と商業の繁榮と相俟ちて字形割引或は引受業務（「トレード・アクセプタンス」「バンカース、アクセプタンス」）をして長足の進歩を遂げしめたり紐育に於ける

各國立銀行の引受業務は數字上に於ても開戰以來空前の増加率を示し居れり又他方に於ては手形賣買業の如きも今日紐育市場に現出するに至れり尤も歴史的發達物たる倫敦金融市場の妙作は假令大戰といふ好機會に際すと雖も紐育が一朝の努力にて之を完成し得べくも非ずさり乍ら今日に於ては紐育は少くとも其の組織の基礎機關の要素を具備し得たるを以て今後は公私の努力を之が改善發達に傾注せらる可きは疑ひを容れず從つて紐育が世界金融の中心たるべき推定は戰亂繼續といふ不確實なる事實に基くとは謂へ周圍の事情は大體に於て紐育に有利に推移遷轉しつつあるなり

流行感冒と被保人死亡

毎年秋季にあつては生命保險被保險者の死亡最も多數に上る實狀にあり本年も亦其例に漏れざる所なるが過般來の流行惡性感冒の猖獗は獨り申込後被保險者の罹病其他に因る契約減少の影響あるに止まらずして被保險者の死亡率を増加し各社既に何れも數人以上の被保險者該病死亡を見ざるものなく此外該病が間接の原因となりて死期を早めたるものを調査すれば僅少の數にあらざるべく殊に各社中二三會社の如きは該感冒に因る死亡者頗る多數に上り大恐慌を來しつつありされば當業者間に於ても各自之れが救助方法に付き腐心する所あるが如きも何れも何等緊急に備ふべき具體的名案なく且最早終熄期に近づける事とて拱手するの外方途なきが如し元來斯る種類の流行病は常に或る不定の時期に於て襲來するものなれば當業者竝に當局者は豫め平時に於て單に豫防策に止めず既に發生せし場合の善後策に付き考究以て備ふる所なかるべからずと某當業者は語れり

休戰條約と米國産業に対する制限撤廢

米國戰時工業局は休戰條約の調印に顧み國內産業を成るべく速に平時狀態に復せしむる目的を以て今日まで各種建築、土木工事並工業に加へ來たれる制限を全廢若くは輕減する旨十一月十二日附を以て發表せり右に依り農場、牧場、鐵道、電信、電話等の交通機關に要する工事道路、橋梁、公園の工事、水道、下水道並動力供給、市内交通機關の如き公衆に利便を供する工事灌漑、排水工事、鑛油並天然瓦斯の生産に必要な工事、食料品生産に必要な工事、費用二萬五千弗を超えざる學校、寺院、病院、公官廳の工事、一萬弗を超えざる其他の工事は制限を全廢せられたり又建築材料の生産に關する制限は全廢せられ且つ比較的重要ならずと目せらるる四十二種の工業は從來の制限を半減せらる此等制限撤廢は今後の結果に依り漸次其歩を進むに至るべし又右に關聯し燃料監督官は同時に建築材料の生産に要する石炭使用の制限を撤廢する旨發表せり尙ほ制限の輕減を受けたる其他の工業に對しても燃料使用制限を受けたるものは前記の規定變更と調和する程度に於て之を輕減せらるに至るべしと、尙ほ絹織物工業制限豫想に關し紐育市亞米利加絹物協會(Silk Association of America)會長チェニー氏の意見を質したるところ最近まで政府は本件制限發表の意嚮を有し居たるが如きも形勢一變の今日最早何等制限等の憂なかるべしと思はるることなり

英國軍事從事員に対する戰後の措置

英國政府は軍隊及軍事工場に従事するものをして漸次平時の職

業に復歸せしむる策を立て一時の失業者に對しては一定の期間内國費より一定の率に依り補助金を與ふべく其他種々勞働界過渡時期に處する方法を講じつつあり政府の政策は國民の協力と相俟て克く其效を收むべきものと認めらる

青島に於ける麥粉輸入情況

日獨戰後當地に於ける麥粉の汽船輸入情況を見るに大正四年に在ては殆んど記するに足るものなく翌五年も亦僅々一千噸餘を算するのみなりしが大正六年に至りて急に一萬噸を突破し本年に入りても既に九月迄の積算九千八百噸を示し裕に一萬噸に達すべく觀せらる當地に入りたる麥粉は鐵道便を以て更に奧地需要筋に仕向けらるるものなるが之は殆んど云ふに足らず昨大正六年中市内三驛(青島、大港、埠頭荷扱所)より發送したる總數量

麥粉汽船輸入數量

(單位噸以下一位)

△輸入月別

月別	年次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
大正四年		六五三	五七	六五〇	三七	二三	〇三	〇一	一	五〇	一	四三	七三六	九一五〇
大正五年		二〇	四七	八七七	三八五	一四三三	六三八	七四三	二	七〇	四九	一	二五〇	一四六三
大正六年		六八四	二八三	五〇六四	八七三	一七六八	二〇四五	四九二	六二八	一四七一	二〇四七五	一四六九	二六八三七	三三三〇九
大正七年		四二七一	一〇〇九〇	一九三七	七〇〇一	四四一一	六六八	四四三	二八三三	一〇一八	一	一	九八三二	一五二〇三
計		四二七一	一〇〇九七	三二〇六八	一九八六	二二五五五	一七七一	九四七九	一〇六二	一六八九	二二〇四四	一四七一	二九八三	二五二〇三

△輸入仕出地別

は約三千噸にして汽船輸入數量より控除せば約一萬噸は専ら青島方面に於て消化せらるるものと見ざるべからず更に之に奧地より原料小麥の鐵道便搬入あるを以て(大正六年は約二千噸を算す)實際の青島方面消化力は一萬噸以上に在るものの如し本年省内小麥の產額は平年の約三倍豐作と稱せらるるを以て是等汽船輸入品に多少の減少を來たすものあらんも兎に角麥粉の當方面需要は漸次増加の傾向あるものの如し而して輸入麥粉の仕出地としては上海を以て最も多しとなし日本内地之に次がり上海より輸入せられたる分にして大正四年以降本年九月迄の分を集計するときは約二萬噸にして日本内地よりの分は僅々三千五百噸其他は記するに足らず特に昨年上海よりは九千五百噸の仕出ありて殆んど總輸入額の八割弱を占む左に輸入各年別比較仕出地別比較表を示すべし

仕出 地別	年別	大正四年	大正五年	大正六年	大正七年	合 計
日本内地		〇・三	四六・九	三、五二三・三	〇・一	三、五七〇・六
上海		八九八・一	一、〇五九・五	九、五三〇・五	九、七〇〇・四	二一、一八八・五
大連		一四・二	三九・九	一五二・二	〇・一	二〇六・四
芝罘				二・九	二六・七	二・九
香港						二六・七
仁川		二・四				二・四
其他支那諸港		九一五・〇	一、一四六・三	一、三、三二〇・九	九、八二一・一	二五、二〇三・三
計						

青島雜錄 (十一月)

◎護岸工事開始 大港の埋立工事が直營に決したることは既報の如くなるが土木部にては去る二十五日より該工事出張所を亞細亞石油タンク附近の一空地に就き建築すると共に土石運搬に先づ護岸の床填工事は昨二十九日より同部吏員監督の下に既に開始することなれりと

◎第三埠頭計畫 大港の埋立工事は愈々直營として別項の如く著手されたる次第なるが之れが竣工に伴ふて直ちに起るべき必要の問題は第三埠頭の新設なるべしとは何人も均しく認むる所にして之れが測量設計を了するまでには少くも二箇年餘の長時日を要すべく前記埋立工事の完成を俟つて更に此計畫に移るとせば聊か遲著なきを保し難ければ大體の要項に就ては今より略調査し置くの要あるべしと

◎港内浮標撤去 十二月十日より明年三月末日に至る結氷期間中港内十六箇の浮標を撤去する筈にて這は冬季干潮時に際し往

々鐵鎖切斷して押流さるる虞れあるを以てなるが併し大港出入船舶にとり重要航路標識たる馬蹄礁附近の打鐘浮標のみは其儘存置さるれば航海上の不安は毫も之れ無しと

◎青島港則改正 現行の青島港則は占領の翌年七月軍令を以て公布し大正五年二月之が一部の改正を爲したるも其後種々の關係上更に改正の必要に迫られ軍政時代既に屢々之を企圖したるも諸種の事情に妨げられて在茲今日に及べるものなるが當局は今回愈々之が改正案を得たるを以て近日中司令官の決裁を経て公布の豫定なり而して改正規則は現行のものより一層詳密に涉りて規定すると共に從來實際に處して感じたる幾多の不便を除き去し戎克の出入港手續の如きも出來得る限り簡易のものたらしめ以て民船貿易の發達に資する趣きなりと

◎貨物引換證券 山鐵に寄託する貨物に對しては從來鐵道部より貨物運送通知書を發給するのみにて該通知書が何等物權的性質を有せざる結果之を債權の擔保として金融の道を求むるは困難にして自然荷主間に於て不便を訴ふるより鐵道部にては是等の事情を考察し新たに貨物引換證券を發給することとなり目下之

が規程制定中なれば近く軍令を以て公布實施の運びとなるべしと

◎制錢被害問題 青州在住邦人の制錢被害賠償に關して同地後藤日本人會長より民政長官に嘆願し來り本月十三日民政部より吉田濟南領事宛支那官憲に對して交渉を開始すべき旨訓令したり然るに同事件は一昨年三月以來林前濟南領事に嘆願し居たるも同領事館にては何等の解決を見るを得ずして在舊今日に至りたるを以て更に十月民政長官に嘆願したるものなるに拘らず今回再び領事館の手に移るとせば急に圓滿なる解決を得難かるべしとて數日前後藤會長は來青の上更に當局者に訴ふる所ありたるが當局者に於ても先月中既に坊子民政署を通じて被害の實際を調査せしめたる結果其實實を認め居るを以て本件を曖昧裡に葬り去るが如き事なしと言明せりと云ふ

◎臺西鎮の發展 臺西鎮市街計畫に就ては過般來土木部に於て實地測量の上製圖設計中なりしが既に全部の完成を告げ同時に同圖面を青寫真に取り代へたる上長官の認承を得て道路工事等請負入札に付するの運びに至るべしとの由なるが此地域内には第三小學校敷地をも含まれ總面積二十萬坪に及び居ると云へば將來新に宏大なる一大市街の現出を見るに至らん而して支那人側に在ては商務總會代表として傅炳昭、索蓮溪の兩氏民政署に出頭臺西鎮の土地貸下に付中野署長に陳情せんとしたるも署長不在の爲湯原通譯官まで事情を述べて引取りたるが右は臺西鎮の市街地に支那人商家を建築し同方面に支那人の發展を期したき希望にて商務總會が萬事幹旋の役に當ることとなりたる爲當局に之が希望を陳述せるなりと

◎小包關稅收入 小包郵便に依る輸出入品の關稅收入は獨逸時

代に於ては僅かに一箇月銀二百圓内外に過ぎりしも現在にては一便船にて二百圓に上り一箇月を通算する時は二千圓に達する由なるが小包利用者は主として吳服太物洋品商なるも沿線支那商の輸入額亦相當の數量に上り居れり

◎通信聯絡狀況 青島支那電信局にては開設以來一日平均百通内外の電信を取扱ひ之が通信關係は上海を主として天津北京の順位なりと云ふ而して我郵便局に於ける支那文及び歐文電信の取扱は僅かに數件に過ぎずして聯絡に依て享受する便益の比較的輕少なるを思はしむるが之に反し通常郵便物に至つては之れが效益極はめて顯著なるものあり彼の津浦線に依る鐵道便の開始の結果の如き其一例にして内地便は定期船の出入二日前迄の郵便物に限り毎日濟南驛に於て受渡を爲し其内到着便は行囊十箇内外に達する狀況なれば之が三分を合する時は從來定期船にて到着し居たる郵便物の總數量に匹敵する程なりと云ふ之に對し當地よりの發送便は到着便の約三分の一に過ぎずと

◎畜產博出品數 明年三月東京上野に於て開催さるべき畜產工藝博覽會には軍管内の畜產業者中出品せんとする者多數にして既に出品點數の確定せるは約五十點に達せる由にて目下夫々出陳準備中なるが民政部にては是等を一括して出陳せしむべく會場に於ける所要坪數の割當其他につき交渉したりと

◎民事訴訟減少 守備軍法院の取扱に係る本年一月以降最近迄の民事訴訟事件數は二百八十六件にして之を大正四年度の四百四十三件同五年度の四百四十四件並に昨年度の四百二十二件に對比すれば其割合に於て著るしき減差を示し居れるが訴訟事件の種別より觀れば依然として家屋に關するもの最多位を占め賣掛代金及び貸金の請求等之に次ぎ又訴訟價格に於ても多く大差

なしと云ふ而して訴訟事件の減少せる一面の理由は從來假差押の執行が本訴の提起を條件として認められ居りしに其後本訴の提起如何に拘らず之と全く離れて假差押執行を認むることとなりし結果係争事件の多くは大抵差押と共に示談解決を告げ本訴までに至らざるが爲にして此の事實は又反面に於て訴訟取下法廷和解の數を減じ事件の半ば以上は判決を言渡され従前判決が總體の約三分一に過ぎざりしに對し特異の傾向を呈せりと

◎開設許可鹽田 管内の鹽田にして今日迄に許可されたる者は支那人の二千二百町步邦人の六千百餘町步にして邦人側の内會社に對する大規模の開設許可は之を以て一先づ打切りとし目下支那人の小規模出願のみ受付け居るが重なる許可人名は左の如し

▲東洋鹽業會社二千九百五十四町六反四畝▲大日本鹽業株式會社六百八十三町步▲青島鹽業會社五百五十六町四反五畝五步▲山東鹽化工業組合三百十三町八畝七步▲佐藤保孝外一名二百九十五町九反五畝▲松江久次郎外一名七百一町四反八畝二十五步▲金谷彖吉外一名五百六町二反七畝二步▲合計六千十町九反九步

◎石臼所白楊樹 山東に於ける白楊樹は相當の數量に上り現在青島に於ける軸木製造工場的能力を以てしては到底數年間に消費し悉されざるは言を俟ざる所なれども這是土地の遠近便不便を別問題としての事にして既に今日に於てすら漸次搬出に困難を感じ従て動もすれば一日一車半乃至二車の供給に不足を訴へつつあり早晚何等かの方法に依て此供給を有利且つ豊富ならしめざれば當地の軸木製造も無意義に歸する譯なるが一部玄人筋にては止を得ざれば北海材を輸入するも採算不利ならずと稱し

居れるも曩に海州航路船の寄港地となれる石臼所には白楊樹稍豊富なる由にして然かも海運の便も奥地よりの搬出に比して有利なれば當業者は之に就て一應の調査を遂ぐるの要ある可しと

◎本年家屋建築 當地の發展は新市場を中心とする商業地臺東鎮方面に亘る一帯の工業地等最も顯著にして該方面は大に面目を新にしたるが今本年一月より十月に至る民間に於ける建築家屋數を聞くに

▲住宅五九▲店舗六五▲倉庫八▲事務所八▲料理店一九▲店舗及び住宅一九▲工場一九▲事務所及び倉庫九▲其他一六計二二二(新築改築共)

にして毎月四乃至二十四戸の間を上下し九月に至り一躍九十一戸を算するに至れるが十月に至つては又十二戸を激減せり而して市内に於て本年新設されし銀行會社の數は二十二なり

◎煙草栽培適地 濰縣方面の煙草は陝西の棉花が阿片吸飲禁止以來罌粟の代作として其地味に適し好く今日同省の主産物として著目せらるるに至りたる如く亦罌粟の栽培に代へられたるものにして同地方は古來罌粟の產地として知られたるものなりと云へるが今や山東省唯一の煙草產地となり英米煙を始め東亞煙南洋兄弟煙共に此處に垂涎し殊に英米煙の如きは全く此處を根據とし此處を除きては同社の支那に於ける事業なき迄に力を注ぎ山東に於ける同社製品の賣上げ高は十月以降翌春迄の全部を同地方の葉煙草買入に注込み居れりとの事にて以て同地方が今や如何に支那煙草界に重要地位を占むるに至りたるかを知らるに足る次第なるが山東省には尙同地方以外津浦線の南部東方の嶧縣地方に未だ何れの煙草業者も手を付けざる栽培適地あり此處に栽培を奨勵せば將來頗る有望なるべく早晚此地も第二の二十

里堡となるべき素質を有せり

◎麥酒工場擴張 大日本麥酒の青島工場醸造高は年額約五萬箱にして同社全生産高の三十分の一に過ぎず現在のままにては到底收支償はざるを以て本春來擴張の計畫あるやに噂され曩に永井熙八氏東上の際是に就て本社と大體の打合を了したる由にて先づ其第一著手として製釀工場新設の筈なりしも原料及び技術者職工不足の爲め早急著手を許さるるに依り擴張準備として用地の貸下を受け乍ら未だ實現の運びに至らざる次第なるが近來空饅の不足は益々甚しく當工場需要分の大半は上海朝鮮内地より補充を仰ぎ居れりと云へば多分來年は釀造工場の擴張を爲すと共に製釀工場の完成を見るならんかと思はる而して同工場は所要の材料全部内地より供給を受け居れるも行々は自給を見るべく現に昨年來麥竝にホップの試作を行ひつつあり就中ホップは當地と北海道札幌附近(同社のホップ栽培地)と氣候酷似し居れる關係上有望の如きも唯雨量は年に依り幾分不足の傾あれば果して其栽培が成效するや否や未知數なるも本年の收穫は稍好成绩を擧たれば尙一二年試培其結果を見たる上大規模の栽培に著手すべしと云ふ

◎人事 (十一月中)

△中野民政署長 は濟南醫院落成式參列旁沿線視察の爲め二日發程、九日歸任

△井上少將發程 米國大使館附武官に榮轉の井上少將は六日發臺北九にて東上せり

△荒井賢太郎氏 貴族院議員荒井賢太郎氏一行は六日夜鐵路濟南より來青九日再び鐵路北行の途に就けり

△萩野博士來青 東京文科大學教授萩野文學博士一行は八日鐵路濟南より來青、十一日鐵路北行せり

△團琢磨氏來青 三井理事長團琢磨氏一行は九日大連より來青、十一日鐵路濟南に向へり

△夏秋總務部長 東上中なりし夏秋總務部長は十一日朝鐵路濟南を経て歸任せり

△田中博士來青 田中文學博士は十三日夕來青、十六日再び鐵路發程

△山口警務部長 警務部長山口憲兵大佐は十八日臺北九にて著任せり

△匪差司令發程 當防備隊司令より肥前艦長に榮轉の匪差海軍大佐は二十一日臺北九にて出發せり

△峯中佐の赴任 前警務部長峯憲兵中佐は二十一日臺北九にて出發赴任の途に就けり

△三宅氏の歸青 三宅駿二氏は十八日臺北九にて歸青

△福原中將來青 福原鐵太郎中將は北支那視察の途二十二日來青、二十四日大連に向へり

△引田少將著任 新任守備隊司令官引田少將は廿三日薩摩丸にて著任せり

△石塚總裁來青 東洋拓植株式會社總裁石塚英藏氏は二十三日楠丸にて大連より來青、二十六日鐵路濟南に向へり

△吉田領事著發 吉田濟南領事は二十九日來青、一日西京丸にて東上せり

△ベック氏北上 當地米國領事(非公式)ベック氏は二十七日夜行列車にて北京に向へり

法 規

軍告示第四十二號

電報料金後納規則左ノ通定ム

大正七年十一月二十三日

青島守備軍司令官 大島 健一

電報料金後納規則

第一條 電報賴信ノ際納付スヘキ電報料金(特種取扱料ヲ含ム以下同シ)ハ左記各

號ノモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ後納ト爲スコトヲ得

一 電報受取證ノ料金

二 電報正寫ノ料金

第二條 電報料金後納ノ取扱ヲ爲ス電信官署ハ別ニ之ヲ告示ス

第三條 官廳ニ於テ電報料金後納ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ其ノ必要トスル事由ヲ記載シタル書面ヲ其ノ電報ノ賴信ヲ爲サムトスル電信官署ニ差出スヘシ

第四條 官廳以外ノモノニ於テ電報料金後納ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ其ノ電報ノ賴信ヲ爲サムトスル電信官署ヲ經由シテ青島守備軍民政部遞信部長以下遞信部長ト稱スニ差出シ其ノ認可ヲ受クヘシ

一 後納ノ必要トスル理由

二 後納ノ取扱ニ依ルヘキ一箇月ノ電報見込通數、及其ノ料金額

第五條 前條ノ認可ヲ受ケタル者ハ保證金ヲ納付スヘシ其ノ金額及納付方法ハ遞信部長之ヲ定ム

前項ノ保證金ハ國債證券ヲ以テ之ヲ代納スルコトヲ得

第一項ノ保證金額ハ遞信部長ニ於テ必要ト認ムルトキハ隨時之ヲ改定ス

第六條 第三條ノ書面ヲ差出シタル官廳及前條ノ保證金ヲ納付シタル者ニハ電報料金後納帳以下後納帳ト稱スヲ交付ス

第七條 料金後納ノ電報ヲ差出サムトスルトキハ其ノ都度當該電信官署ニ後納帳ヲ差出シ相當事項ノ記入ヲ受クヘシ

後納帳ニハ日支聯絡電信線ヲ經由スル電報ト其ノ他ノ電報ト口座ヲ區別シテ記入ス

第八條 後納電報料金ハ一箇月分毎ニ計算シ納付期日ヲ指定シテ之ヲ發信人ニ通知ス

第九條 後納料金又ハ追納スヘキ保證金ヲ納付期日迄ニ納付セサルトキハ其ノ期間電報料金後納ノ取扱ヲ停止シ又ハ其ノ認可ヲ取消スコトアルヘシ

第十條 電報料金ノ後納ヲ廢止セムトスルトキハ後納帳ヲ添ヘ書面ヲ以テ其ノ旨當該電信官署ニ届出ツヘシ

第十一條 電報料金ノ後納ヲ廢止シ又ハ其ノ認可ヲ取消サレタル場合ニ於テハ後納電報料金ノ未納額ハ指定ノ期日迄ニ之ヲ納付スヘシ

前項ノ期日迄ニ後納電報料金ヲ納付セサルトキハ保證金ヲ以テ該料金ニ充當シ不足アルトキハ之ヲ追徴ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

軍軍令第四十三號

日支聯絡電信線ヲ經由スル電報及料金後納ノ電報ノ料金ハ現金ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

日支聯絡電信線ヲ經由スル電報ノ料金ハ銀建トス但シ後納電報ヲ除クノ外其ノ料金ハ軍司令官ノ定ムル當日ノ換算相場ニ依リ日本内地ニ於ケル通貨ヲ以テ納付スルコトヲ得

大正七年十一月二十三日 青島守備軍司令官 大島 健一

軍告示第百八十六號

大正七年十一月二十三日ヨリ電報料金後納ノ取扱ヲ爲ス電信官署左ノ如シ

大正七年十一月二十三日 青島守備軍司令官 大島 健一

記

青島郵便局
青島大鮑島郵便局
青島大港郵便局
臺東鎮郵便局
四方郵便局
李村郵便局
青島郵便局埠頭出張所
坊子電信取扱所
濰縣電信取扱所
張店電信取扱所
濟南電信取扱所

倫敦銀塊相場

(十二月中)

一日	四十九片二分一	十一日	四十九片二分一	廿一日	同
二日	同	十二日	四十九片二分一	廿二日	同
三日	日曜	十三日	四十八片四分三	廿三日	同
四日	四十九片二分一	十四日	同	廿四日	日曜
五日	同	十五日	同	廿五日	四十八片四分三
六日	同	十六日	同	廿六日	同
七日	同	十七日	日曜	廿七日	同
八日	同	十八日	四十八片四分三	廿八日	同
九日	同	十九日	同	廿九日	同
十日	日曜	二十日	同	三十日	同

寄贈書類

(大正七年十一月到)
(著ノ分及前號殘)

滿鮮評論

第三卷第一〇號

滿鮮評論社

○內外商工時報	第五卷 第一〇號	農商務省商品陳列館
○紐育マンハンタン及市俄古食料品市場	第一一號	大阪市役所商工課
○大阪商工時報	一六號	右 同
○山東經濟時報	第一卷第五號	山東經濟時報社
○滿蒙實業彙報	四〇號 四一號	大連商業會議所
○滿蒙經濟事情	二〇號	關東都督府民政部
○報告書	第三五回	靜岡商業會議所
○青島商報	第一卷第一〇號	青島卸商組合事務所
○青島港貿易統計	大正七年九月分	青島守備軍司令部
○週報	第三四四號 第三四五號 第三四六號 第三四七號 第三四八號	上海日本人實業協會
○月報	第四三號	安東商業會議所
○經濟資料	第四卷第一一號	東亞經濟調查局
○青島ニ於ケル物價	九月三十日調	青島守備軍民政部
○山東公論	三三號 三四號	山東公論社
○鐵工時報	第四年第二二號 同 第二三號	東京鐵工時報社
○門司商工會月報	第六五號	門司商工會
○月報	第二六四號	橫濱商業會議所
○岡山商工彙報	第一二七號	岡山商工彙報社
○時報	第四卷第九號	神戸商業會議所
○所報	第一五一號	函館商業會議所
○東方時論	第三年十一月號	東方時論社
○保險銀行時報	第八九八號 第九〇〇號 第九〇一號 第九〇二號	保險銀行時報社
○月報	第九〇號	福井商業會議所
○月報	第一七五號 第一七六號	宇都宮商業會議所

青島物價表

(民政部調查)

(十月) □印騰貴△印下落×印保合

品名	建	物	單位	本月	前月	比較
白米	米	回印特撰赤	一石	47,500	46,500	□ 1,000
		同	同	46,300	45,300	□ 1,000
		同	同	45,500	44,500	□ 1,000
		同特撰一	同	50,000	48,000	□ 2,000
糯米	米	同特撰二	同	49,000	46,000	□ 3,000
		白	四斗五升入樽	47,000	44,000	□ 3,000
		真	同	43,000	40,000	□ 3,000
		東	同	39,000	36,000	□ 3,000
清酒	酒	キ	四打一箱	15,000	15,000	×
		ア	同	14,500	14,500	×
		サ	同	12,500	12,500	×
		サ	同	7,800	7,800	×
飲料	水	シ	同	8,500	8,500	×
		三	同	1,100	1,100	×
		正	一斤	600	600	×
		青	同	500	500	×
茶	糖	川	同	180	180	×
		白	同	170	170	×
		白	同	6,000	6,000	×
		龜	一斗入一樽	5,500	5,500	×
醬	油	龜	同	170	150	□ 20
		澤	百目	400	400	×
		奈	同	200	190	□ 10
		梅	同	130	130	×
漬物	類	樂	同	350	350	×
		干	同	2,500	2,000	□ 500
		椎	同	250	250	×
		昆	同	250	200	□ 50
乾物	類	凍	十箇	200	170	□ 30
		凍	同	2,000	1,200	□ 800
		劍	百目	650	650	×
		二	同	1,300	1,300	×
錫		上	同			

品名	建物	單位	本月	前月	比較
鹽	中節	百目	1,200	1,200	×
	下	同	1,100	1,100	×
	龜印	同	1,000	1,000	×
鹽	鮭	同	300	250	□ 50
	鱒	同	180	150	□ 30
罐	松茸	一罐	550	450	□ 100
	筍	同	550	500	□ 50
	鱈	同	380	380	×
	赤貝	同	380	380	×
大小鹽	サザエ	同	450	400	□ 50
	豆	一升	380	380	×
	豆	同	380	350	□ 30
割挽	豆	同	700	650	□ 50
	麥	同	380	380	×
櫻	角花	割割	360	360	×
	麥	同	350	350	×
譽片	麥	同	370	370	×
	栗	一袋	170	170	×
へラ	三磅入	一罐	1,400	1,400	×
	同	同	1,500	1,500	×
丸	鐵	百斤	15,200	21,000	△ 5,800
	鐵板	一	2,450	2,350	□ 10
鐵	五入二厘	同	4,750	6,400	△ 1,650
	平板	同	2,920	3,160	△ 240
亞鉛	同	同	3,980	3,900	□ 80
	浪板	同	2,460	2,250	□ 210
洋釘	同	同	4,200	3,850	□ 350
	1'ヨリ 5'マテ	百斤	19,000	18,800	□ 200
阿部	鑄色A	二十八磅入	3,200	3,500	△ 300
	白鉛	同	7,100	7,000	□ 100
セメント	小野田	一樽	6,150	6,000	□ 150
	普四分板	一坪	1,200	1,200	×
木	二間正四分板	同	1,550	1,550	×
	同正六分板	同	2,400	2,250	□ 150
	同正八分板	同	3,300	3,300	×

品名	建物	單位	本月	前月	比較
木	材	二間一寸板	一坪	3,500	3,500×
		同一寸二分角	一本	160	160×
		同二寸五分角	同	250	250×
		同二寸角	同	460	460×
		同一寸八分角	同	350	350×
		同二寸ノ三寸	同	680	650□ 30
		同二寸ノ四寸	同	900	850□ 50
		同三寸角	同	1,000	950□ 50
		同四寸角	同	1,760	1,650□ 110
		中橫三寸四分ノ五分	一枚	230	230×
		大橫三寸七分ノ七分	同	330	310□ 20
		木摺	一坪	850	850×
		鹽地柚角	一才	130	130×
		栓柚角	同	130	130×
		檜柚角	同	130	130×
		桂角	同	120	120×
		櫻角	同	120	120×
		角{樺內地	同	160	160×
		四十二手擦糸	一倭	銀兩 240,000	銀兩 227,000□ 13,000
綿	糸	日鳥同	同	166,000	166,000×
		扇面十六手	同	166,500	160,700□ 6,200
		金三馬同	同	165,000	157,000□ 8,000
		藍魚同	同	167,000	160,000□ 7,000
綿	布	九龍龍	一疋	5,7751	5,700□ 75
		龍C	同	5,600	5,600×
		太鼓天竺	同	3,300	3,300×
		得寶牌	一大箱	27,300	27,300×
燐	寸	雜寶牌	同	26,000	26,000×
		白一羽	一箱	銀 5,400	銀 5,000□ 400
		青一蝠	同	5,200	4,850□ 350
		青旗	同	5,250	4,950□ 350
石	油	青全勝	同	5,200	4,800□ 400
		赤全勝	同	5,100	4,750□ 350
		美美虎	同	6,050	6,050×
		美美季	同	6,100	6,100×

品名	建	物	單位	本月	前月	比較
石油	亞細亞	僧帽	一箱	5,750	5,750	×
	幸福	印	同	6,050	6,050	×
	星	印	同	6,150	6,150	×
石炭	姪ノ濱	塊炭	一噸	17,500	16,000	□ 1,500
	若松	塊炭	同	17,500	16,000	□ 1,500
	松浦	塊炭	同	品切レ		
麥粉	綠兵	線	一俵	2,500	2,500	×
	人吉	小丸	一貫	3,400	3,400	×
	同	角	同	3,200	3,200	×
木炭	同	角	同	3,100	3,100	×
	同	丸	同	3,000	3,000	×
支那品	上海	一等等品	百五十斤入	8,800	8,500	□ 300
	同	二等等品	同	6,600	6,500	□ 100
	同	三等等品	同	6,000	5,000	□ 1,000
高粱	滿洲	一等等品	百斤	2,500	2,300	□ 200
	同	二等等品	同	2,400	2,200	□ 200
	同	三等等品	同	2,250	2,000	□ 250
大小黃落	同	同	同	1,600	1,650	△ 50
	同	同	同	4,300	4,300	×
	同	同	同	3,000	3,400	△ 400
花生	無壽	殼品	同	7,000	6,500	□ 500
	兵船	一等等品	一袋	2,350	2,400	△ 50
	同	二等等品	同	2,450	2,500	△ 50
麥粉	同	三等等品	同	2,350	2,350	×
	綠魚	一等等品	同	1,400	1,400	×
	同	二等等品	同	2,600	2,600	×
棉落豆	同	三等等品	同	2,400	2,400	×
	同	同	同	1,350	1,350	×
	大連	毛ノ	百斤	26,800	27,000	△ 200
花生油	同	同	同	16,550	15,000	□ 1,500
	同	同	同	14,100	13,000	□ 1,100
	同	同	同	2,500	2,700	△ 200
豆餅	同	同	同	250	250	×
	同	同	同	200	200	×
羊肉	同	同	同	250	250	×
	同	同	同	200	200	×

品名	建物	單位	本月	前月	比較
牛 豚 鷄 鷄	肉	中	百 目	180	—
		下	同	160	—
		肉	同	鋼元 280 元鋼	—
		肉	同	銀 300 銀	300 ×
牛	皮	鷄 卵	千 箇	15,000	15,000 ×
		大	百 斤	銀兩 34,000 銀兩	33,000 □ 1,000
		大	同	32,000	31,000 □ 1,000
		大	同	31,000	30,000 □ 1,000
		中	同	32,000	28,000 □ 4,000
		中	同	31,000	27,000 □ 4,000
		中	同	30,000	26,000 □ 4,000
		小	同	39,000	36,000 □ 3,000
		小	同	38,000	34,000 □ 4,000
		小	同	38,000	33,000 □ 5,000
牛 牛 石 胡 七	骨 油 灰 分 ト	中	同	2,150	2,150 ×
		中	同	17,700	16,800 □ 900
		百 斤	同	650	—
		十 貫	同	1,900	2,000 △ 100
		一 樽	同	6,200	6,200 ×
		普 通 花 崗 石	一 才	—	—
		三 才 以 下 ノ モ ノ	同	400	400 ×
		三 才 ヨ リ 六 歲 迄 ノ モ ノ	同	450	450 ×
		白 花 崗 石	同	600	600 ×
		三 才 以 下 ノ モ ノ	同	700	700 ×
石	材	三 歲 ヨ リ 六 才 迄 ノ モ ノ	同	10,000	11,000 △ 1,000
		獨 逸 型 機 械	千 箇	9,500	9,500 ×
		日 本 型 機 械 赤	同	30,000	30,000 ×
		鱗 瓦 屋 根 瓦	同	55,000	55,000 ×
		中 茸 屋 根 瓦	同	8,500	8,500 ×
		黑 煉 瓦	同	8,500	8,000 □ 500
		手 押 煉 瓦 (支 那 型)	同	23,000	22,000 □ 1,000
		鴨 綠 江 白 松 一 連 (上)	一 立 方 米	21,000	19,000 □ 2,000
		同 (下)	同	25,000	24,000 □ 1,000
		同 二 連 (上)	同	20,000	20,000 ×
煉 瓦	類	同 (下)	同		
木	材				

品名	建	物	單位	本	月	前	月	比	較			
木	材	鴨綠江白松三連 (上)	一 立 方 米		28,000		28,000	×				
		同 (下)	同		25,000		24,000	□	1,000			
		同 四 連 (上)	同		30,000		30,000	×				
		同 (下)	同		28,000		28,000	×				
		鴨綠江紅松一連 (上)	同		26,000		26,000	×				
		同 (下)	同		23,000		23,000	×				
		同 二 連 (上)	同		32,000		32,000	×				
		同 (下)	同		28,000		28,000	×				
		同 三 連 (上)	同		35,000		35,000	×				
		同 (下)	同		30,000		30,000	×				
大馬鈴薯 午摩芋 薩摩芋 蔓荊 林茹梨	根	薯	百 斤		2,000		2,400	△	400			
			同		4,000		4,500	△	500			
			同		10,000		9,000	□	1,000			
			同		3,200		3,800	△	600			
			同		25,000		16,000	□	9,000			
		芋	日 本 芋	百 目		250		250	×			
				十 箇		200		100	□	100		
				一 斤		950		800	□	150		
				一 俵	銀兩	160,000	銀兩	151,000	□	9,000		
				同		156,000		150,000	□	6,000		
綿	糸	同		168,000		150,000	□	18,000				
		同		165,500		157,000	□	8,500				
		同		164,750		157,000	□	7,750				
		同										
		同										
麻	袋	新	大	一 枚	銀	420	銀	420	×			
		新	同	同		300		300	×			
		舊	同	同		250		300	△	50		
		撫	願	塊	炭	一 噸		16,000		16,000	×	
		博	山	塊	炭	同		13,500		13,500	×	
石	炭	溜	川	塊	炭	同		11,500		11,200	□	300
		再	製	鹽	同	金	20,500		20,500	×		
		原		鹽	同		4,400		4,400	×		
		雙		喜	一 大 箱		42,000		—			
		大		吉	同		41,000		—			

統 計

青 島 輸 出 入 貿 易 (十月中)

—海關貿易統計—

輸入外國品仕出地別

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
精 製 阿 片 (綿 製 品 類)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生 金 巾	疋	2,500	—	—	—	—	1,120	—	—	3,620
シーチング(米品)	"	—	—	—	—	—	80	—	—	80
同 (英 品)	"	—	—	—	—	—	40	—	—	40
同 (日本品)	"	1,860	—	—	—	—	750	—	—	2,610
晒 金 巾	"	3,150	—	—	—	—	425	500	—	4,075
綾 金 巾	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
雲 齊 布(米 品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英 品)	"	—	—	—	—	—	100	—	—	100
同 (日本品)	"	160	—	—	—	—	60	—	—	220
ジエーン(米 品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (和蘭品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英 品)	"	—	—	—	—	—	760	—	—	760
同 (日本品)	"	8,640	—	—	—	—	1,640	—	—	10,280
天竺布三十二吋	"	—	—	—	—	—	8,010	—	—	8,010
同 (日本品)	"	27,400	—	—	—	—	2,740	—	—	30,140
寒 冷 紗 及 綿 紗	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平織捺線染色各種	"	3,920	—	—	—	—	1,700	30	—	5,650
チンズ及平織更紗	"	—	—	—	—	—	180	—	—	180
フリンテッド	"	—	—	—	—	—	914	—	—	914
フアーネチュアー	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
捺 線 綿 織 子	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
捺 線 天 竺 布	"	—	—	—	—	—	2,060	—	—	2,060
コットンイタリアン 及ラッスイング	"	—	—	—	—	—	4,397	10	—	4,407
イーフトブラック	"	—	—	—	—	—	2,324	—	—	2,324
同 平 織 染 色	"	—	—	—	—	—	166	—	—	166
同 綾	"	118	—	—	—	—	1,573	4	—	1,695
緋金巾及綿天竺布	"	6,538	—	—	—	—	1,560	—	40	8,138
綿スパニストラ イプ 六十四吋	担	—	—	—	—	—	24	—	—	24
綿 フ ラ ン ネ ル	"	4,640	—	—	—	—	556	30	—	5,226
同 フ ラ ン ケ ッ ト	"	500	—	—	—	—	—	4	—	504

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
手 巾	打	200	—	—	—	—	—	—	—	200
タ オ ル	〃	—	—	—	—	—	120	—	—	120
同 (日本產)	〃	554	—	—	—	—	—	—	—	554
綿織絲 (印 度)	担	—	—	—	—	—	264	—	—	264
同 (日 本)	〃	4,770	—	—	—	—	233	31	16	5,050
綿 縫 絲(絲卷)	哥	880	—	—	—	—	—	—	—	880
(毛綿交織類)										
ユニオン及ボンチ	碼	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヨークローズ										
(毛製 品 類)										
綾 吳 呂	疋	—	—	—	—	—	—	—	—	—
羅 世 伊 多	〃	—	—	—	—	—	19	—	—	19
伯林ウール及毛絲	担	13	—	—	—	—	6	—	—	19
(雜質織物類)										
絹 製 品 交 織	斤	2,238	—	—	—	—	—	32	—	2,270
(金 屬 品)										
片	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
線	〃	10	—	—	—	—	12	—	—	22
銅 板	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(鐵 及 軟 鐵 新)										
條	担	30	—	—	—	—	156	17	30	233
屑 鐵 及 屑 鐵 線	〃	—	—	—	—	—	58	—	35	93
箆	〃	—	—	—	—	—	420	—	—	420
橡	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釘 用 竿 鐵	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ネール(ワイヤー)	〃	18	—	—	—	—	107	—	—	125
片 及 板	〃	37	—	—	—	—	70	—	26	133
線	〃	1	—	—	100	—	334	—	25	460
鐵 及 軟 鐵(古)	〃	2,744	—	—	754	—	70	521	534	4,623
鍍 金 鐵 片	〃	32	—	—	—	—	30	—	—	62
鉛 塊	〃	6	—	—	—	—	—	—	—	6
鋼 鐵	〃	86	—	—	—	—	—	—	—	86
葉 鐵	〃	225	—	—	—	—	—	—	—	225
白 銅 片 及 線	〃	1	—	—	—	—	—	—	—	1
(雜 貨)										
麻 袋	〃	201,200	—	—	8,400	—	104,800	75,600	—	390,000
麥 酒	〃	4	—	—	—	—	7	—	—	11
綿 帶	〃	1,852	—	—	—	—	450	—	—	2,302
バ タ 一	〃	2	—	—	—	—	11	—	—	13

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
銅鈕釦花鈕釦	哥	585	—	—	—	—	—	—	—	585
蠟 燭	担	5	—	—	—	—	560	—	—	565
セ メ ソ ト	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	〃	1,950	—	—	—	—	—	534	—	2,484
磁 石 瓦 器	海關兩	3,907	—	—	—	—	18	—	—	3,925
紙 卷 煙 草	千 本	—	—	1,250	—	—	8,956	—	—	10,206
同 (日本品)	〃	2,900	—	—	—	—	—	—	—	2,900
掛 置 時 計	個	818	—	—	—	—	12	—	—	830
石 炭	噸	180	—	—	—	—	—	—	—	180
染料顏料塗料										
ア ニ リ ソ	海關兩	—	—	—	—	—	—	20	—	20
人 造 藍	担	—	—	—	—	—	19	—	—	19
天 然 藍 液 狀	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
白 鉛 粉	〃	7	—	—	106	—	—	—	—	113
ロ ソ グ ラ ー	〃	—	—	—	—	—	16	—	—	16
越 幾 斯	海關兩	1,486	—	—	—	—	95	220	—	1,801
電 氣 材 料	打	1,888	—	—	—	—	2	—	—	1,890
瑛 郡 洗 面 器	打	2	—	—	—	—	—	—	—	2
麥 粉	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
窓 硝 子	箱	1,489	—	—	—	—	—	26	—	1,515
洋 燈 及 洋 燈 器	海關兩	1,549	—	—	—	—	276	—	—	1,825
燐 寸 (黃 燐)	哥	159,182	—	—	—	—	—	—	—	159,182
同 (安 全)	〃	1,700	—	—	—	—	—	—	—	1,700
疊 及 莫 座	枚	12,340	—	11,245	—	—	—	—	—	23,585
コンデンスミルク	打	400	—	—	—	—	20	60	—	480
針	千 本	23,300	—	—	—	—	—	—	—	23,300
石 油(米品箱入)	ガロン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (露國箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ス マ ト ラ(裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	6,000	6,000
同 (日本箱入)	〃	22,500	—	—	—	—	—	—	—	22,500
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
紙 胡 椒	担	640	—	—	309	—	737	—	—	1,686
米 昆 布	〃	1,663	—	—	15	—	153	7	—	1,755
日 本 酒	〃	1,150	—	—	169	—	—	—	—	1,319
日 本 酒	〃	974	—	—	—	—	—	27	—	1,001

品目	單位	日本	英國	米國	香港	其ノ他	上海	大連	其ノ他	合計
石鹼條	〃	359	—	—	—	—	4	—	—	363
同化粧用	海關兩	3,301	—	—	—	—	606	—	—	3,907
曹達	担	40	—	—	—	—	367	99	—	506
醬油	〃	266	—	—	—	—	—	21	—	287
砂糖 (赤)	〃	—	—	—	12,820	—	—	—	—	12,820
同 (白)	〃	2,480	—	—	404	—	—	3,293	—	6,177
同精製	〃	6,610	—	—	6,494	—	—	—	—	13,104
同冰	〃	290	—	—	669	—	—	656	94	1,709
木材 (堅)	立方呎	3,541	—	—	—	—	—	—	—	3,541
同 (軟)	〃	263,333	—	—	—	—	—	908	—	264,241

輸出支那品仕向地別 (同上)

品目	單位	日本	露國	英國	香港	其ノ他	大連	上海	其ノ他	合計
生豆	頭担	99	—	—	—	—	83	—	—	182
黃牛	〃	1,852	—	—	—	—	—	—	—	1,852
獸肉	クオタ	1,353	—	—	—	3,903	183	38	—	5,477
獸骨	担	999	—	—	—	—	—	—	—	999
銅豚	〃	50	—	—	—	—	1,113	—	—	1,163
麝毛	〃	174	—	—	—	—	—	404	—	578
麝帽	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山炭	噸	51	—	—	—	—	—	4,045	—	4,096
棉花	担	3,023	—	—	—	—	1,168	1,362	2,190	7,743
錫	〃	—	—	—	—	—	—	54	—	54
黑蛋	〃	—	—	—	66	—	—	95	45	206
蛋乾	〃	15	—	—	—	—	—	198	—	213
黃蛋	〃	—	—	—	—	—	—	614	—	614
雞卵	個	320,400	—	—	—	—	—	—	—	320,400
麻鹽	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
果物	〃	—	—	—	—	—	—	1,559	—	1,559
硝子	〃	—	—	—	—	—	—	63	112	175
落花	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同頭	〃	431	—	—	—	—	—	1,606	650	2,687
麥子	〃	6	—	—	—	—	—	—	—	6
蕞帽	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
藥	担	—	—	—	—	—	43	46	141	230

品目	單位	日本	露國	英國	香港	其ノ他	大連	上海	其ノ他	合計
豆油	〃	—	—	—	—	—	11,352	957	—	12,309
花生油	〃	2,756	—	—	90	—	1	77	92	3,016
梨鹽	〃	—	—	—	—	—	—	1,229	—	1,229
豚鹽	個担	—	—	—	—	—	—	1,573	—	1,573
鹽	個担	277,647	—	—	—	—	—	—	—	277,647
杏仁	〃	—	—	—	45	—	—	11	—	56
瓜子	担	—	—	—	—	—	—	398	—	398
胡麻	〃	859	—	—	—	—	—	—	—	859
生絲	〃	—	—	—	—	—	—	46	—	46
白座	〃	—	—	—	—	—	—	3	—	3
白再	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
機械	〃	—	—	—	—	—	—	5	—	5
白機	〃	—	—	—	—	—	—	330	—	330
黃機	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
黃再	〃	—	—	—	—	—	—	160	—	160
黃機	〃	—	—	—	—	—	—	2,066	—	2,070
屑絲	〃	4	—	—	—	—	—	—	—	—
蘭品	〃	—	—	—	—	—	—	2	—	2
生絲製	〃	1	—	—	—	—	—	12	1	14
山東絹	〃	12	—	—	—	—	—	123	1	136
犬皮	枚担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生牛皮	枚担	6,242	—	—	—	—	5	—	54	6,301
生羊皮	枚担	20	—	—	—	—	—	—	15,372	15,392
麥稈真田色染	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同班色	〃	274	—	—	—	—	—	—	—	274
同白色	〃	1,530	—	—	—	—	—	154	—	1,684
牛油	〃	247	—	—	—	—	1,235	—	—	1,482
蔬菜	〃	3	—	—	—	—	—	2,028	—	2,031
豆素	〃	—	—	—	—	—	—	42	—	42
胡桃	〃	—	—	—	—	—	—	791	—	791
羊毛	〃	304	—	—	—	—	—	184	—	488

輸入支那品仕出地別 (同上)

品目	單位	上海	芝罘	大連	其ノ他	合計
(綿製品類)						
シーチング(上海)	疋	6,880	—	—	—	6,880

品	目	單位	上	海	芝	罌	大	連	其	ノ	他	合	計
雲	齋 (同)	"		2,190									2,190
土	布	擔		48									48
花	色 土 布	擔		119									119
綿	織 絲	擔		15,559									15,559
(雜	貨)												
砒	石	擔		—									—
竹	簾	個		—									—
竹	簾	担		—									—
筍		"		74									74
書	籍	"		29									29
蠟	燭	"		253						98			351
米		"		4,295						—			4,295
磁	石	"		1						—			1
紙	卷 煙 草	"		1,351				336		1			1,688
石	炭(撫順開平)	噸		—				1,915		—			1,915
紙	扇	個		—				—		—			—
小	麥粉機械製	担		3,939				—		—			3,939
夏	布 粗 製	"		2				—		—			2
同	精 製	"		—				—		—			—
藥		"		100				—		—			100
桐	油	"		37.9				—		—			37.9
紙	一 等 品	"		255				—		—			255
同	二 等 品	"		3,932				—		—			3,932
同	錫 箔	"		418				—		—			418
同	其 / 他	"		99		52		—		—			151
糖		"		61				—		—			61
三	蒸 酒	"		87				—		—			87
靴	綿 及 絹	雙		82				—		—			82
生	絲 白	担		—				—		—			—
同	黃	"		14				—		—			14
同	製 品	斤		240				—		—			240
石	鹼 條 形 田	担		21				—		—			21
麥	稈 真	"		25				9		—			34
砂	糖 (赤)	"		—				—		—			—
同	(白)	"		—				—		—			—
茶		"		1,591				—		—			1,591
煙	草 刻	"		21				—		—			21
木	製 品	"		86				—		—			86

青島三驛發著貨物主要品 (十月中)

(單位噸以下一位數類頭數)

品目	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
石炭	發著	135.0 1,005.0	— 0.1	— 34.5	—	22.5 3,855.0	—	157.5 4,894.6
コークス	"	102.5 332.0	—	— 76.0	—	60.0 3,683.0	—	162.5 4,091.0
石灰	"	— 757.0	—	—	—	— 105.0	—	— 862.0
煉瓦(瓦ヲ含ム)	"	67.3 —	0.3 0.2	—	—	—	—	67.6 0.2
セメント	"	5.7 30.0	0.8 —	— 44.3	—	—	—	6.5 74.3
硝子板	"	—	—	—	—	—	—	—
硝子製品	"	18.8 16.1	0.4 0.4	—	—	—	—	19.2 16.5
桐	"	— 79.1	—	— 307.5	—	—	—	— 386.6
木材(板ヲ含ム)	"	44.9 15.0	3.2 0.7	17.5 242.6	—	45.0 —	—	110.6 258.3
竹及割竹	"	—	—	—	—	—	—	—
石材及同製品	"	15.0 —	—	— 0.1	—	—	—	15.0 0.1
鐵板及鐵製品	"	15.0 4.1	13.6 1.5	— 6.3	— 0.2	138.5 42.7	0.6 —	167.7 54.8
鐵鍋	"	— 4.5	—	—	—	—	—	— 4.5
古鐵	"	165.5 197.6	— 1.5	— 207.8	—	—	—	165.5 406.9
大豆	"	18.6 —	—	6.3 0.4	—	—	—	24.9 0.4
豆類(大豆ヲ除ク)	"	4.9 35.9	— 0.1	—	—	—	—	4.9 36.0
高粱	"	103.9 —	—	57.2 —	—	45.0 —	—	206.1 —
小麥	"	74.7 1,861.9	—	— 8,297.5	—	15.0 2,304.4	—	89.7 12,463.8
米	"	31.9 293.5	15.8 —	3.4 14.9	—	—	—	51.1 308.4
穀類(表中記載ノモノヲ除ク)	"	— 29.0	— 0.2	— 80.3	—	— 3.2	—	— 112.7
落花生	"	— 13.5	—	— 29.7	—	—	—	— 43.2

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
麥 粉	發 著	3.2 101.7	0.2 0.1	0.7 —	—	—	—	4.1 101.8
陶 磁 器 及 土 器	" "	— 170.3	0.6 0.2	— 49.0	—	—	—	0.6 219.5
支 那 紙	" "	226.9 0.9	0.7 0.6	13.9 —	—	14.0 —	—	255.5 1.5
紙 (支那紙ヲ除ク)	" "	— —	— —	— —	—	—	—	— —
麻	" "	— 22.5	— —	— —	—	—	—	— 22.5
綿	" "	0.2 237.4	0.1 0.1	1.5 460.6	—	— 308.3	—	1.8 1,006.4
綿 布	" "	472.8 —	5.9 4.8	— —	—	—	—	478.7 4.8
綿 絲	" "	1,276.4 —	19.0 —	118.4 216.0	—	—	—	1,413.8 216.0
綿 製 品	" "	— —	2.3 2.7	— —	—	—	—	2.3 2.7
絹 絲 (屑ヲ含ム)	" "	— 27.4	0.1 4.3	— 0.3	—	— 5.3	—	0.1 37.3
絹 布 類	" "	— 5.6	— 2.4	— —	—	—	—	— 8.0
繭 (屑繭ヲ含ム)	" "	— 18.0	— —	— 30.1	0.3	— 62.5	—	— 110.9
棗	" "	— 92.2	— —	— 6.5	—	—	—	— 98.7
梨	" "	— —	— —	— —	—	—	—	— —
胡 桃	" "	— 8.9	— 0.2	— 1.1	—	—	—	— 10.2
蜜 柑	" "	— —	— —	— —	—	—	—	— —
瓜 及 西 瓜	" "	— —	— —	— —	—	—	—	— —
瓜 子	" "	— —	— 0.1	— —	—	—	—	— 0.1
果 實 (表中記載ノモノヲ除ク)	" "	— 178.3	3.8 11.0	— 2.2	— 0.8	—	—	3.8 192.3
石 油	" "	— —	— —	658.0 —	—	237.6 —	—	895.6 —
落 花 生 油	" "	— 8.2	— —	— 71.7	—	—	—	— 79.9
豆 油	" "	— 200.6	— —	— 960.9	—	—	—	— 1,161.5
牛 油	" "	— 3.1	— 3.1	— 0.1	— 0.1	—	—	— 6.4

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
油 類(表中記載ノモノヲ除ク)	發 著	2.0 94.8	1.5 2.8	— 347.0	—	—	—	3.5 444.6
油 粕	"	307.9	—	225.7	—	—	—	533.6
肥 料 各 種	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	6.3	—	—	—	—	—	6.3
麥 稈 眞 田	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	25.5	1.1	—	—	—	—	26.6
安 平	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	24.3	—	—	0.1	—	—	24.4
粟 及 稗	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
鹽	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
砂 糖	"	1,891.0	1.9	61.0	—	418.1	—	2,372.0
	"	—	—	—	—	—	—	—
日 本 酒	"	3.1	18.4	1.1	—	—	—	22.6
	"	—	0.4	—	—	—	—	0.4
ビ ー ル	"	—	0.8	—	—	—	—	0.8
	"	2.2	—	—	—	—	—	2.2
支 那 酒	"	0.2	—	—	—	—	—	0.2
	"	5.8	4.3	1.7	—	—	—	11.8
食料品(表中記載ノモノヲ除ク)	"	0.8	25.0	0.9	—	—	—	26.7
	"	41.2	5.5	—	—	—	—	46.7
乾 物	"	—	0.7	—	—	—	—	0.7
	"	—	—	—	—	—	—	—
野 菜	"	—	1.9	—	—	—	—	1.9
	"	19.7	3.2	0.1	0.1	—	—	23.1
鷄 卵	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	6.1	4.6	80.9	—	—	—	91.6
藍	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
染 塗 料	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	76.2	0.9	13.0	—	—	—	90.1
藥 品 及 藥 材	"	29.6	5.6	0.6	—	—	—	35.8
	"	14.7	0.7	—	—	—	—	15.4
曹 達	"	12.9	0.3	—	—	—	—	13.2
	"	—	—	15.0	—	—	—	15.0
石 鹼	"	—	2.4	—	—	—	—	2.4
	"	—	—	—	—	—	—	—
煙 草	"	63.1	20.2	12.3	—	29.5	—	125.1
	"	—	—	—	—	—	—	—
葉 煙 草	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	0.2	4.4	—	451.2	—	455.8
茶	"	25.6	0.3	—	—	3.9	—	29.8
	"	—	—	—	—	—	—	—

品目	單位	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
豚毛	{	發著	10.4	—	—	—	—	10.4
			44.0	2.5	—	—	—	46.5
羊毛	{	"	—	—	—	—	—	—
		"	9.3	2.2	—	11.9	—	23.4
獸骨	{	"	—	—	—	—	—	—
		"	148.7	—	103.9	—	—	257.6
牛皮	{	"	0.8	—	—	—	—	0.8
		"	77.0	18.0	39.3	1.2	114.8	250.3
豚皮	{	"	—	—	—	—	—	—
		"	14.2	1.0	—	—	—	15.2
魚類	{	"	175.2	2.2	—	—	—	177.4
		"	51.3	—	—	—	—	51.3
昆布其ノ他海草	{	"	7.4	—	—	—	—	7.4
		"	—	—	—	—	—	—
糖	{	"	—	—	—	—	—	—
		"	—	—	—	—	—	—
木粉	{	"	—	—	—	—	—	—
		"	30.3	—	—	—	—	30.3
雜貨(表中記載ノモノヲ除ク)	{	"	991.4	5.8	5.6	19.1	0.1	1,022.0
		"	91.5	2.1	—	—	—	93.6
燐寸	{	"	154.1	—	32.5	—	—	186.6
		"	—	—	—	—	—	—
燐寸材料	{	"	—	—	33.4	78.6	—	112.0
		"	—	—	—	—	—	—
火藥類	{	"	—	—	—	—	—	—
		"	—	—	—	—	—	—
銅貨	{	"	—	0.1	—	—	—	0.1
		"	—	1.2	—	—	—	1.2
青銅錢	{	"	—	—	—	—	—	—
		"	—	7.2	95.0	2.9	—	105.1
銅具	{	"	—	1.0	—	—	—	1.0
		"	—	0.3	3.2	73.8	0.3	77.6
家及布袋	{	"	12.3	1.1	—	4.4	—	17.8
		"	0.2	0.5	2.4	0.2	—	3.3
麻袋及布袋	{	"	130.4	34.0	40.5	—	—	204.9
		"	7.5	2.1	0.2	0.3	—	10.1
其ノ他	{	"	103.7	33.5	77.6	7.6	6.4	228.8
		"	82.4	12.5	218.9	2.2	2.6	318.6
生牛	{	"	—	—	—	—	—	—
		"	1,489	—	—	—	—	1,489
合計	{	"	6,705.1	223.5	1,363.1	1,138.8	7.1	9,442.6
		"	6,626.4	107.7	12,083.7	8.4	0.3	29,855.2

埠頭陸揚貨物噸數仕出地別 (十月中)

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
白豆	米類	噸	—	108.6	—	210.5	319.1
高玉	梁黍	"	15.1	1.7	—	0.2	17.0
蜀麥	麥	"	—	—	—	310.3	310.3
小麥	麥	"	—	—	—	—	—
其ノ他穀類及種子	粉	"	3.1	—	—	0.1	3.3
蔬菜	菜	"	0.3	—	—	185.4	185.7
果實	實	"	20.0	—	—	13.6	33.6
茶	茶	"	17.6	—	—	16.3	33.9
白砂糖	糖	"	11.6	—	—	307.3	318.9
赤砂糖	糖	"	439.8	—	—	203.5	417.4
冰糖	糖	"	—	—	—	800.7	800.7
鮮魚	魚	"	23.4	—	—	44.4	45.0
昆布及海草	介	"	9.5	—	—	1.2	10.7
其ノ他海產物	草	"	79.8	—	—	—	79.8
日本酒	酒	"	31.6	2.6	—	8.2	9.3
洋酒	酒	"	217.8	12.4	—	5.3	—
支那酒	酒	"	3.8	—	—	14.3	—
麥酒	酒	"	—	—	—	23.0	—
清涼飲料	料	"	0.1	—	—	—	—
醬油	油	"	1.1	—	—	—	1.1
味噌	油	"	54.2	20.6	—	9.2	—
其ノ他食料品	油	"	8.3	4.5	—	7.8	—
煙	章	"	197.3	12.5	—	158.5	39.7
皮革類	類	"	151.5	25.4	—	673.3	—
石油類	類	"	0.5	—	—	23.4	4.8
桐油類	類	"	12.5	—	—	987.6	—
其ノ他油類	類	"	—	—	—	34.5	—
蠟燭	燭	"	63.7	—	—	29.0	—
石鹼	鹼	"	0.6	—	—	86.0	—
藥品	品	"	61.1	—	—	8.5	—
磷寸	寸	"	88.1	0.3	—	75.2	39.5
染料及塗料	料	"	812.1	—	—	47.1	—
		"	53.7	—	—	41.8	68.0

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
綿絲	噸	661.7	—	—	2,115.0	—	2,776.7
絹絲	〃	—	—	—	2.4	—	2.4
麻	〃	—	—	—	57.2	—	57.2
棉花	〃	1.0	—	—	54.0	—	55.0
棉布	〃	567.8	—	—	407.2	—	975.0
絹布	〃	3.2	—	—	0.5	—	3.7
麻袋	〃	290.5	—	—	174.5	—	465.0
洋物雜貨	〃	512.5	—	—	37.5	39.3	589.3
日本紙	〃	127.1	—	—	8.1	—	135.2
洋紙	〃	13.0	—	—	—	—	13.0
支那紙	〃	—	—	—	1,330.2	10.8	1,341.0
石炭	〃	14.5	—	—	1,745.0	—	1,759.5
セメント	〃	134.0	—	—	761.2	—	895.2
煉瓦	〃	0.1	—	—	—	—	0.1
陶磁器	〃	134.1	—	—	9.4	—	143.5
硝子及同製品	〃	271.4	50.7	—	135.1	—	457.2
鐵(古鐵ヲ含ム)	〃	1,184.1	—	—	95.3	43.7	1,323.1
其ノ他金屬	〃	34.6	—	—	4.8	—	39.4
金屬製品	〃	312.0	0.1	—	183.9	6.1	502.1
機械	〃	54.5	—	—	12.6	—	69.1
電氣用品	〃	58.9	—	—	4.2	—	63.1
車輛	〃	21.5	—	—	63.9	—	85.4
竹材	〃	0.1	—	—	30.5	—	30.6
木材	〃	2,426.9	—	—	312.7	—	2,739.6
燐寸材料	〃	362.6	—	—	—	—	362.6
木炭	〃	113.5	—	—	8.4	—	121.9
木炭類	〃	76.8	23.2	—	—	9.4	109.4
家具	〃	44.9	2.8	—	15.8	—	63.5
豆粕	〃	—	—	—	—	—	—
阿片	〃	—	—	—	—	—	—
貴重品	〃	0.6	—	—	0.3	—	0.9
其ノ他	〃	504.7	35.8	—	620.8	36.0	1,197.3
合計	〃	10,304.8	301.2	—	11,716.0	1,569.7	23,891.7

埠頭船積貨物噸數仕向地別 (十月中)

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
生牛	噸	—	—	—	41.5	—	41.5
其ノ他動物	"	0.5	—	—	2.7	—	3.2
落花生	"	18.1	—	—	139.2	—	157.3
豆類	"	—	—	—	—	11.6	11.6
其ノ他穀類及種子	"	5,989.8	—	—	—	—	5,989.8
麥粉	"	0.2	89.2	—	245.6	—	335.0
蔬菜	"	0.1	—	—	317.7	—	317.8
果實	"	—	—	—	793.7	19.3	813.0
核子	"	—	—	—	4.2	4.7	8.9
白砂糖	"	—	—	—	—	—	—
赤砂糖	"	—	—	—	—	—	—
冰糖	"	—	—	—	—	—	—
鮮魚介	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他海產物	"	0.1	—	—	37.9	—	38.0
牛豬肉	"	98.7	—	—	13.9	105.2	217.8
鹽豚	"	—	—	—	116.0	—	116.0
其ノ他獸肉	"	—	—	—	—	—	—
豆素麵	"	—	—	—	4.0	—	4.0
鷄卵	"	43.8	—	—	—	—	43.8
卵製品	"	0.1	—	—	91.3	—	91.4
麥酒	"	0.2	—	—	200.1	—	200.3
其ノ他酒類	"	—	—	—	1.2	—	1.2
鹽其ノ他食料品	"	12,420.3	3,256.0	—	—	—	15,676.3
其ノ他食料品	"	—	—	—	48.5	—	48.5
煙草	"	—	—	—	9.5	—	9.5
葉煙	"	—	—	—	1,987.6	—	1,987.6
獸骨	"	4.7	—	—	—	—	4.7
骨粉	"	—	—	—	—	—	—
牛皮	"	348.8	—	—	3.7	—	352.5
其ノ他獸皮	"	0.2	—	—	9.9	—	10.1
羊毛	"	57.6	—	—	72.5	—	130.1
豚毛	"	20.1	—	—	128.8	—	148.9
落花生油	"	203.8	—	—	29.8	—	238.6
豆油	"	—	—	—	1,025.9	—	1,025.9
牛油	"	20.7	—	—	86.0	—	106.7
豚油	"	—	—	—	—	—	—
蓖麻子油	"	119.1	—	—	65.1	—	184.2

品 目	單位	日本内地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
其ノ他油類	噸	—	—	—	8.6	—	8.6
藥 品	"	15.3	—	—	57.7	—	73.0
染料及塗料	"	—	—	—	0.7	—	0.7
綿 絲	"	—	—	—	154.4	—	154.4
絹 絲	"	—	—	—	108.0	—	108.0
絹 屑	"	1.1	—	—	456.3	—	457.4
麻	"	5.3	—	—	—	—	5.3
棉 花	"	984.9	20.0	—	2,179.3	—	3,184.2
繭 (屑ヲ含ム)	"	210.6	—	—	185.1	—	395.7
綿 布	"	—	—	—	144.8	—	144.8
絹 布	"	—	1.4	—	15.7	—	17.1
麻 袋	"	—	—	—	11.1	—	11.1
紙 類	"	—	—	—	11.5	—	11.5
溜 川 炭	"	3,277.0	—	—	1,755.0	—	5,032.0
博 山 炭	"	—	—	—	300.0	—	300.0
撫 順 炭	"	380.0	—	—	1,765.0	—	2,145.0
日 本 炭	"	—	—	—	—	—	—
コ ー ク ス	"	2,350.3	—	—	—	—	2,350.3
陶 磁 器	"	—	—	—	—	—	—
硝子及同製品	"	—	—	—	46.9	—	46.9
鐵(古鐵ヲ含ム)	"	459.9	—	—	5.1	—	465.0
眞 鍮 塊	"	6.1	—	—	72.5	—	78.6
其ノ他金屬	"	—	—	—	17.4	—	17.4
金 屬 製 品	"	5.5	—	—	6.6	—	12.1
機 械	"	—	0.1	—	18.8	—	18.9
車 輛	"	—	—	—	27.2	—	27.2
桐 材	"	627.1	—	—	—	—	627.1
其ノ他木材	"	13.8	—	—	—	—	13.8
麥 稈 眞 田 具	"	848.4	—	—	51.5	—	899.9
家 具	"	4.4	0.2	—	146.6	1.3	152.5
豆 粕	"	58.3	—	—	—	—	58.3
燐 寸	"	—	—	—	26.3	—	26.3
セ メ ン ト	"	—	—	—	1.4	—	1.4
石 油	"	—	—	—	—	—	—
貴 重 品	"	0.2	—	—	0.4	—	0.6
其ノ他	"	434.2	—	—	718.3	—	1,152.5
合 計	"	29,034.3	3,366.9	—	13,768.5	142.1	46,311.8

出入汽船及積卸貨物數量 (十月中)

區 別	汽 船 數				積 物 卸 噸 貨 數	一 月 以 降 累 計				積 物 卸 噸 貨 數	
	隻 數			登 噸 簿 數		隻 數			登 噸 簿 數		
	載貨船	空 船	計			載貨船	空 船	計			
入 出 計	港 港	61	25	86	61,221	23,891.7	605	160	765	629,857	291,177.9
		70	16	86	59,982	46,798.4	694	74	768	633,339	433,369.7
		131	41	172	121,203	70,690.1	1,299	234	1,533	1,263,196	724,547.6

備考 本表船積貨物ハ船用品ヲ含ム

出入汽船仕出仕向地別 (十月中)

入 港 ノ 部

仕 出 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			支 那 船			計		
	隻數	登簿	噸數	隻數	登簿	噸數	隻數	登簿	噸數	隻數	登簿	噸數	隻數	登簿	噸數
日 本 內 地 大 連 上 海	23	18,996	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23	18,996	—
	16	14,928	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	14,928	—
	16	14,398	1	1,333	—	—	—	—	—	—	—	—	17	15,731	—
芝 罘 天 津 其 他 支 那 港	—	—	1	1,333	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,333	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	891	3	3,688	—	—	—	—	—	—	—	—	23	4,579	—
臺 釜 仁 灣 釜 山 川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	1,278	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1,278	—
香 港 マニラ 浦 鹽	—	—	2	1,861	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1,861	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其 他 外 國 計	—	—	—	—	—	—	1	2,510	—	—	—	—	1	2,510	—
	78	50,491	7	8,215	1	2,510	—	—	—	—	—	—	86	61,216	—

出 港 ノ 部

仕 向 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			支 那 船			計		
	隻數	登簿	噸數	隻數	登簿	噸數	隻數	登簿	噸數	隻數	登簿	噸數	隻數	登簿	噸數
日 本 內 地 大 連	24	19,630	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24	19,630	—
	18	15,664	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	15,664	—

仕 向 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			支 那 船			計		
	隻數	登簿	噸數	隻數	登簿	噸數	隻數	登簿	噸數	隻數	登簿	噸數	隻數	登簿	噸數
上 芝 天	10		9.780	4		5.021	—		—	—		—	14		14.801
海 采 津	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—
	1		962	2		2.553	—		—	—		—	3		3.515
其 他 支 那 港	20		891	1		641	1		2.510	—		—	22		4.042
壘 釜 灣 山	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—
	2		1.052	—		—	—		—	—		—	2		1.052
仁 香 川 港	3		1.278	—		—	—		—	—		—	3		1.278
マ 二 ヲ	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—
	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—
浦 其 他 外 國 計	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—
	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—
合 計	78		49.257	7		8.215	1		2.510	—		—	86		59.982

入港汽船揚荷噸數國籍別 (十月中)

汽 船 國 籍 別	日 本 內 地				壘 灣	朝 鮮	大 連	上 海	芝 罘	天 津	其 支 那 他 港	香 港	其 外 他 國	計
	大 神	阪 戶	門 司	其 他										
日 本	5,447.4		4,857.4	—	—	301.2	3,329.7	6,184.1	162.5	28.0	187.0	—	—	20,497.3
英 國	—	—	—	—	—	—	—	1,132.5	—	686.7	5.5	1,569.7	—	3,394.4
米 國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	5,447.4		4,857.4	—	—	301.2	3,329.7	7,316.6	162.5	714.7	192.5	1,569.7	—	23,891.7

出港汽船積荷噸數國籍別 (十月中)

汽 船 國 籍 別	日 本 內 地				壘 灣	朝 鮮	大 連	上 海	芝 罘	天 津	其 支 那 他 港	香 港	浦 鹽	マ ニ ラ	其 外 他 國	計
	大 神	阪 戶	門 司	其 他												
日 本	12,867.3		16,167.0	—	—	3,366.9	2,061.9	8,212.0	1,079.1	182.1	287.0	—	—	—	—	44,223.3
英 國	—	—	—	—	—	—	—	1,795.9	76.3	6.2	68.0	35.6	—	—	—	1,982.0
米 國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	106.5	—	106.5
合 計	12,867.3		16,167.0	—	—	3,366.9	2,061.9	10,007.9	1,155.4	188.3	355.0	35.6	—	106.5	—	46,311.8

青島出入船舶旅客表 (十月中)

○印ハ帆船出入旅客ヲ示ス

入 港 上 陸 ノ 部

國	籍	男女別	大連	大神 阪戸	門其ノ 司他	上 海	朝 鮮	芝 罘	天 津	臺 灣	牛 莊	海 州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
日 本	人	男女	410 143	145 102	354 187	30 14	16 7	—	—	1	—	4 1	—	—	—	—	960 454
		人	2,005 217	4 —	19 —	117 22	34 9	151 15	5 —	—	20 —	404 17	376 27	79 2	2 —	33 —	3,249 309
英 國	人	人	3 1	1 2	— —	24 20	— —	— 1	— 2	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	28 26
		人	— —	1 1	1 —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	2 1
米 國	人	人	3 3	— —	— —	— 1	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	3 4
		人	— —	— —	— —	5 7	— —	— —	— —	— —	— —	1 —	— —	— —	— —	— —	6 7
佛 國	人	人	— —	— —	— —	3 3	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	3 3
		人	— —	— —	— —	1 —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 —
波 蘭	人	人	1 1	— —	— —	1 1	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	2 2
		人	— —	— —	— —	1 —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 —
丁 抹	人	人	— —	— —	— —	1 —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 —
		人	— —	— —	— —	1 —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 —
葡 萄 牙	人	人	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
		人	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
瑞 西	人	人	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
		人	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
合 計	計	男女	2,422 365	151 105	374 187	183 68	50 16	151 16	5 2	1 —	20 —	409 18	376 27	79 2	2 —	33 —	4,256 806
		計	2,787	256	561	251	66	167	7	1	20	427	403	81	2	33	5,062

出 港 乘 船 ノ 部

國	籍	男女別	大連	大神 阪戸	門其ノ 司他	上 海	朝 鮮	芝 罘	臺 灣	香 港	天 津	威海衛	マニラ	海 州	●山東省	●江蘇省	●福建省	●關東州	計
日 本	人	男	319	263	515	31	28	3	1	—	—	1	—	11	—	—	—	—	1,172
		女	94	171	431	31	12	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	740
支 那	人	男	6,697	34	8	267	—	1,029	—	1	14	—	—	276	383	178	4	40	8,931
		女	506	—	—	15	—	109	—	—	—	—	—	18	58	11	—	—	717

國籍	男女別	大連	神戶	門司 其他	上海	朝鮮	芝罘	臺灣	香港	天津	威海衛	マニラ	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
英國人	男女	5 2	2 2	—	8 4	—	1 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16 9
米國人	"	1 1	1 —	1 —	—	—	—	—	—	—	—	1 1	—	—	—	—	—	4 2
露國人	"	10 5	—	— 2	1 —	—	— 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11 8
佛國人	"	—	—	—	— 2	—	—	—	—	—	—	—	1 —	—	—	—	—	1 2
和蘭人	"	—	—	—	1 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 —
那威人	"	—	—	—	1 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 —
瑞典人	"	—	—	—	1 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 —
丁抹人	"	1 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 —
合計	"	7.033 608	300 173	524 433	310 52	28 12	1.033 111	1 —	1 —	14 —	1 —	1 1	288 19	383 58	178 11	4 —	40 —	10.139 1.478
計		7.641	473	957	362	40	1.144	1	1	14	1	2	307	441	189	4	40	11.617

◎青島大港兩驛乘降客人員（十月中）

驛別	一 等 車		二 等 車		三 等 車		計	
	乘	降	乘	降	乘	降	乘	降
青 島 驛	148	165	548	629	7.239	21.449	7.935	22.243
大 港 驛	37	12	217	45	7.287	576	7.541	633
合 計	185	177	765	674	14.526	22.025	15.476	22.876
一 月 以 降 累 計	1.681	1.652	7.347	7.278	217.328	249.189	226.356	258.514

◎ 青島屠獸場屠殺數 (十一月中)

日	次	牛	犢	豚	羊	山羊	計
一	日	199	1	22	1	—	223
二	日	26	1	40	1	1	69
四	日	326	—	27	2	1	356
五	日	220	1	22	3	—	246
六	日	26	2	41	2	—	71
八	日	239	—	25	3	—	267
九	日	160	1	41	3	—	205
十	一 日	211	—	18	2	—	231
十	二 日	61	1	24	3	—	89
十	三 日	86	—	23	21	—	130
十	四 日	303	—	22	—	—	325
十	五 日	302	1	24	1	—	328
十	六 日	95	—	40	1	—	136
十	八 日	248	—	27	2	—	277
十	九 日	233	—	22	—	—	255
二	十 日	264	—	31	4	—	299
二	十 一 日	110	1	29	—	—	140
二	十 二 日	117	—	50	5	—	172
二	十 五 日	372	—	33	—	—	405
二	十 六 日	334	—	23	—	—	357
二	十 七 日	417	—	24	1	—	442
二	十 八 日	110	—	26	33	—	169
二	十 九 日	526	—	25	—	—	551
三	十 日	507	1	45	3	—	556
合	計	5,492	10	704	91	2	6,299
一	月以降累計	29,601	34	8,042	693	6	38,376

(定不序順)

青島實業協會會員

大正七年十二月現在

會 員		代 表 者		會 員		代 表 者	
岩 城 商 會 支 店	田邊郁太郎	早舟町	江商株式會社 青島支店	松原秀三	所澤町		
伊藤忠合名會社青島支店	淵田太郎	所澤町	安部幸兵衛商店 青島出張所	副島高市	河南町		
原田汽船株式會社青島支店	川畑竹馬	所澤町	湯淺貿易株式會社 青島出張所	小林 乃	葉櫻町		
日本郵船株式會社青島出張事務所	近澤武男	葉櫻町	三井物產株式會社 青島出張所	飯塚重五郎	所澤町		
日本綿花株式會社 青島出張所	林田 勇	北京町	南滿洲鐵道株式會社 埠頭事務所 青島出張所	內 九 勇	葉櫻町		
東 和 公 司 青 島 支 店	三宅駿二	北京町	峯 村 洋 行	峯村正三	葉櫻町		
東亞煙草株式會社 青島販賣所	小網 通	北京町	合名會社鈴木商店 青島出張所	金子慶治	北京町		
朝 鮮 銀 行 青 島 支 店	片桐篤太郎	河南町	中 村 組 青 島 支 店	原 辰 治	北京町		
大倉商事株式會社 青島出張所	石橋藤次郎	早舟町	和 盛 公 司	石本貫一	葉櫻町		
橫濱正金銀行青島出張所	太田保一郎	靜岡町	東洋鹽業株式會社 青島支店	秋元定恭	大和町		
大連汽船株式會社 青島出張所	松本文三郎	葉櫻町	泰 利 商 會	松崎 翠	早霧町		
大日本麥酒株式會社 青島出張所	永井熙八	臺東鎮長通	山東興業株式會社	山田實史	大黑町		
內外綿株式會社 青島出張所	佐々木國藏	市外四方庄	吉 澤 洋 行	吉澤干城	天津町		
山 田 出 張 所	山田三平	北京町	青島製粉株式會社支店	百 溪 深	三日月町		
三菱商事株式會社濟南出張所 青島出張員	關口嘉重	所澤町	新 利 洋 行 出 張 所	古賀茂登吉	野山町		
茂木合名會社青島出張所	杉浦政芳	葉櫻町	梶 野 洋 行	合田幸一	河南町		
福昌公司青島出張所	千本木正治	若葉町					
神戸棧橋株式會社 青島派出所	河南 薰	早舟町					

大正七年十二月十八日印刷

大正七年十二月二十日發行

大正七年八月十七日第三種郵便物認可（毎月一回二十日發行）

發行兼編輯者
印刷所
印刷人

青島靜岡町十二番地 吉見正任
青島靜岡町十二番地 青島實業協會
青島靜岡町十四番地 青島新報社
青島靜岡町十四番地 足立孝

（實費銀參拾錢）

青島實業協會月報

（自第壹號
至第拾貳號）

總目錄

青島實業協會月報

〔自第壹號至第拾貳號〕

總目錄

協會錄事

	號數	一頁
○十二月例會(大正六年).....	一	一
○臨時會(大正六年十二月).....	二	一
○埠頭及鐵道に關する當局訪問.....	二	一
○新年會(大正七年).....	三	二
○二月例會(大正七年).....	四	一
○三月例會(同).....	五	一
○四月例會(同).....	五	四
○臨時會(五月十六日)小港發展策、埠頭問題委員會報告 自由區域に關する委員會見議決の件	六	一
○六月例會(大正七年).....	七	一
○七月例會(同).....	七	一
○小麥問題委員會(大正七年六月二十六日).....	八	一
○臨時會(大正七年一月二十六日)管内產地證明小麥輸出に關する緊急議題	九	一
○九月例會(大正七年).....	一〇	一
○十月例會(同).....	一一	一
○十一月例會(同).....	一二	一
○十二月例會(同).....	一二	一

資料

○支那の綿絲紡績業.....	三	二〇
○芝罘地方落花生收穫狀態.....	三	二八
○支那歷年の國際貿易.....	四	三
○上海金出入額.....	四	五
○濟南に於ける石鹼.....	四	五
○炭化石灰の需要.....	四	六
○公益紡織公司營業成績.....	四	七
○裕元紡織業開始.....	四	八
○山東苦力滿洲出稼事情.....	四	八
○昨年度の世界金產額と其移動.....	四	一二
○山東畜產物加工及精製事業に就て.....	五	七
○骨粉製造業及骨灰、血炭製造業.....	五	七
○牛油精製事業及石鹼製造業.....	五	八
○肉製品製造事業.....	五	八
○大正六年の支那對外貿易.....	五	一六
○大正六年の上海金融界.....	六	七
○香港に於ける麥粉.....	六	一二
○日本の對支放資額.....	六	一三
○經濟上より見たる支那.....	七	四
○銀貨の騰貴と其の原因.....	七	一四
○工場法施行の實績.....	七	一五
○山東の小麥.....	八	五
○山西鐵に就て.....	八	一

○山東の麥稈真出	九	四
○青島の屠獸場事情	一〇	五
○山東の豚毛	一一	八
○四川の豚毛	一二	三
○英人の見たる最近支那貿易事情	一二	四
○青島に於ける石鹼需給狀態	一二	七
○山東牛青島輸出狀況	一二	一〇
○博山の工業概況	一二	一五

時報

○支那關稅改訂委員會議の經過及現狀	五	二三
○其後の關稅改正會議	七	二
○埠頭料金改正	七	三
○上海取引所開業期	七	三
○山東の土匪と濟南の貿易	九	一八
○香港輸出入制限令	九	二一
○右制限令中改正	九	二五
○支那稅關收入額	九	二五
○落花生品質問題	一〇	三
○麥粉及小麥鐵道運賃問題	一〇	三
○鹽賠償價の引上	一〇	四

貿易及金融

○略說(青島貿易の主力)	一	二
○海運及鐵道(十二月中)	一	三
○金融(十二月中)	一	五

○大正六年貿易概況	二	一〇
○海運及鐵道(一月中)	二	一一
○金融(一月中)	二	一二
○青島貿易概況(一月中)	三	二
○青島と香港	三	三
○海運(二月中)	三	五
○鐵道(一月中)	三	七
○金融(二月中)	三	八
○青島貿易近況(二月中)	四	一四
○主要貿易品的情勢(二月中)	四	一五
○青島と仁川	四	一六
○青島海運概況(三月中)	四	一八
○船舶放資減少	四	一九
○備船賣船一覽	四	一九
○山東鐵道近況(二月中)	四	二四
○金融(二月中)	四	二五
○青島貿易近況(三月中)	五	一七
○主要貿易品的情勢(三月中)	五	一七
○金銀及銅貨輸出入額(三月中)	五	一八
○青島海運近況(三月中)	五	一八
○最近臨時船の出入	五	一九
○金融(四月中)	五	二三
○青島貿易近況(四月中)	六	一四
○主要貿易品情勢(四月中)	六	一四
○對各地青島航路近況(四月中)	六	一五
○山東鐵道近況(五月中)	六	一五

○最近三驛發著主要貨物……………六……………一六

○金融(五月中)……………六……………一六

○青島貿易近況(五月中)……………七……………一九

○主要貿易品情勢(五月中)……………七……………一九

○戎克貿易情況(五月中)……………七……………二〇

○船舶出入近況(五月中)……………七……………二〇

○臨時船出入近況……………七……………二二

○各航路近況……………七……………二二

○石臼所新寄港……………七……………二二

○山鐵倉庫業の開始……………七……………二二

○市内三驛主要貨物發著數……………七……………二二

○金融(六月中)……………七……………二二

○青島貿易近況(六月中)……………八……………一七

○主要貿易品情勢(六月中)……………八……………一八

○青島貿易額比較(大正七年一月以降)……………八……………一八

○青島と大連……………八……………一九

○最近船舶出入(六月中)……………八……………二三

○內地近海運輸近況……………八……………二四

○入場券規定改正……………八……………二五

○金融(七月中)……………八……………二五

○青島貿易近況(七月中)……………九……………二六

○主要貨物情勢(七月中)……………九……………二六

○青島と上海……………九……………二七

○大正四年中埠頭積揚貨物數量(青島上海間)……………九……………二七

○大正五年中埠頭船積陸揚噸數(青島上海間)……………九……………二八

○主要輸移出入品各年比較(青島上海間)……………九……………三一

○青島上海間汽船及出入旅客各年比較……………九……………三二

○青島最近船舶出入(七月中)……………九……………三三

○鐵道運賃と銅貨……………九……………三四

○青島貿易近況(八月中)……………一〇……………一九

○主要貨物情勢(八月中)……………一〇……………一九

○大連貿易情況(八月中)……………一〇……………二〇

○青島最近船舶出入(八月中)……………一〇……………二〇

○支那航路擴張計畫……………一〇……………二一

○內地近海運輸近況……………一〇……………二一

○內地に於ける最近傭船狀況……………一〇……………二二

○市内三驛發著主要貨物(八月中)……………一〇……………二二

○金融(九月中)……………一〇……………二二

○青島貿易近況(九月中)……………一一……………二五

○主要貨物の情勢(九月中)……………一一……………二六

○青島と日本内地……………一一……………二七

○青島最近船舶出入及臨時船出入情況(九月中)……………一一……………二七

○內地近海運輸近況……………一一……………二八

○市内三驛發著主要貨物(十月中)……………一一……………二九

○濟南驛發著貨物(九月中)……………一一……………二九

○津浦線濟南驛發著貨物(九月中)……………一一……………二九

○青島港出入汽船細別表(十月中)……………一一……………二六

○金融(十月中)……………一一……………三一

○青島貿易近況(十月中)……………一一……………三八

○主要貨物情勢(十月中)……………一一……………一九

○青島最近出入船舶(十月中)……………一一……………二〇

○臨時船出入狀況……………一一……………二一

○海州航路補助……………二二

○內地備船運賃氣配……………二二

○內地近海運輸近況……………二二

○青島港出入汽船細別表……………二二

○三驛發著主要貨物(十一月中)……………二七

○山東鐵道輸送貨物比較表(大正六七年度)……………二八

○金融(十一月中)……………三〇

重要貿易品商況

○石油・砂糖・燐寸・石灰・米・生牛皮及牛肉・紙類・木材・鹽・コ
ルクス・落花生・同油・豆油・銅塊・煙草・綿糸布(十二月
中)……………六

○牛皮・白米・砂糖・コルクス・洋酒・清酒・麥酒・木炭・鷄卵・牛
肉・炭・木材・煙草・豆油・鹽・綿糸布・石油・落花生及同油
(一月)……………二

○牛骨・牛皮・落花生及同油・燐寸・石油・砂糖・米・綿糸布・玩
貝類・三月人形・鹽・石灰・牛肉・麥稈真田・コルクス・紙類
煙草・清酒・洋酒・木炭・木材・石鹼(二月)……………三

○綿糸布・燐寸・砂糖・木材・石油・米・木炭・麻袋・煙草・落花生
及同油・鹽・牛肉・石灰・コルクス・牛皮・麥稈真田(三月中)
……………四

○綿糸布・砂糖・石油・煙草・燐寸・木材・糯米・硝子類・落花生
油・石灰・鹽・コルクス・牛肉・牛皮(四月中)……………五

○米・煙草・燐寸・砂糖・木材・石油・鮮魚・綿糸布・コルクス・落
花生・同油・石灰・牛肉・鹽(五月中)……………六

○米・木材・砂糖・燐寸・石油・綿糸布・牛肉・豆油・落花生及同
油・石灰・麥稈真田・鹽・コルクス・桐材・牛皮・麥酒(六月中)
……………七

○燐寸・砂糖・木炭・米・木材・石油・煙草・落花生及同油・豆油
鹽・石灰・牛肉・コルクス(七月中)……………八

○鹽・牛肉・石灰・豆油・煙草・石油・米・木材・木炭・綿絲布(八
月中)……………九

○綿糸布・燐寸・砂糖・石油・紙・木材・木炭・米・煙草・麻袋・牛
骨・石灰・落花生及同油・豆油・牛肉・牛皮・コルクス・桐材
鹽・麥酒(九月中)……………一〇

○燐寸・砂糖・米・木炭・紙・煙草・木材・綿糸布・石油・落花生
及同油・牛肉・コルクス・桐材・鹽・牛皮・石灰・麥稈真田・小
麥(十月中)……………一一

○綿糸布・砂糖・木材・石油・紙卷煙草・米・木炭・燐寸・落花生
及同油・豆油・牛肉・鹽・石灰・棉花・コルクス・小麥・牛皮
紙類(十一月)……………一二

內外經濟時報

○支那運河借款……………九

○小額紙幣發行高……………九

○正貨現在高……………九

○對支那貿易額……………九

○對支那電線販賣組合……………九

○支那抑留獨埠船處分……………九

○對外貿易總額……………九

○中華匯業銀行創立……………九

○造船鋼材不足調查……………九

○綿布同盟會開議……………一〇

○綿絲商同盟會……………一〇

○挾山銅鑛採掘……………一〇

○大阪市工場數……………一〇

○牛莊入港船……………一〇

○大連貿易額……………一〇

○上海日本人新設商社……………一〇

○東京手形交換高……………一〇

○大阪手形交換高……………一〇

○昨年の日本貿易……………一七

○昨年の米國貿易……………一七

○本邦企業界趨勢……………一八

○昨年の綿糸輸出……………一八

○合同紡對支發展……………一八

○植物油米國需要……………一八

○米國の今年造船	二	一八
○本邦郵便貯金額	二	一八
○大阪市化工博會	二	一八
○本邦鑛產額近況	二	一八
○新設工業會社數	二	一八
○大連海關稅收入	二	一八
○朝鮮の貿易金額	二	一八
○歐洲交戰國戰費	二	一九
○大連の貿易噸數	二	一九
○大連港出入船舶	二	一九
○上海日本人會社	二	一九
○大阪商船總會	二	一九
○三井増資額	二	一九
○大日本麥酒	二	一九
○神戸棧橋株	二	一九
○大倉組擴張	二	一九
○大阪外國貿易	三	一八
○日本石油發展	三	一八
○輸出入制限令	三	一八
○化學工業發展	三	一八
○東洋麻絲創立	三	一八
○特別用鹽規則	三	一八
○銅屑拂下結果	三	一八
○對露貿易激減	三	一八
○伊國戰費總額	三	一八
○臺灣產糖實收	三	一八

○新設工業會社	三	一八
○全國地價騰貴	三	一八
○日本鹽業會社	三	一八
○大連自由港議	三	一九
○滿洲石油商況	三	一九
○大連管内戶口	三	一九
○滿洲全線收入	三	一九
○滿鐵一月乘客	三	一九
○大連帆船貿易	三	一九
○去年的撫順炭	三	一九
○大連輸入貿易	三	一九
○大連輸入綿絲	三	一九
○大連輸入麥粉	三	一九
○上海取引所談	三	一九
○天津港口解水	三	一九
○去年的鹽稅額	三	一九
○上海石炭相場	三	一九
○日鮮運送組合	三	一九
○定東木材輸出	三	二〇
○京城貿易近況	三	二〇
○仁川貿易近況	三	二〇
○朝鮮製粉株數	三	二〇
○釜山貿易旺盛	三	二〇
○去年大連貿易	三	二〇
○大連堆貨記錄	三	二〇
○米麥輸出禁止	三	二〇

○中甸對支貿易	三	二〇	○日本品陶磁器	四	三七
○鹽酸加里暴落	三	二〇	○支那興業計畫	四	三七
○工業藥品禁輸	三	二〇	○支那鑛山調查	四	三七
○米墨貿易協定	四	二三	○臺灣企業有望	四	三七
○出入船舶噸數	四	二三	○支那關稅改訂	四	三七
○手形交換增加	四	二三	○三菱組織變更	四	三七
○不渡手形減少	四	三四	○臺灣製茶會社	四	三八
○正貨現在調查	四	三四	○損害保險會社	四	三八
○兩製鐵合併期	四	三四	○神戸棧橋計畫	四	三八
○鮮鐵收入激增	四	三四	○江商拂込完了	四	三八
○東亞興業增資	四	三四	○大日本麥酒會社	四	三八
○セメント合併	四	三四	○戰爭能率增進案	七	二五
○南滿鑛業設立	四	三四	○戰後の鋼鐵政策	七	二五
○正金下關支店	四	三四	○英國產業界良好	七	二五
○熊本實業視察	四	三五	○戰後の織物貿易	七	二五
○英米商人斡旋	四	三五	○貸附百二十億圓	七	二六
○大連の事業界	四	三五	○新機械輸入貸付	七	二六
○小額紙幣發行	四	三五	○全國手形交換高	七	二六
○簡易保險狀況	四	三五	○原料品輸入激增	七	二六
○大連の魚市場	四	三六	○五月中新設會社	七	二六
○加留謨新會社	四	三六	○新設各工業會社	七	二七
○二月朝鮮貿易	四	三六	○日華紡績社創立	七	二七
○仁川船渠計畫	四	三六	○燐寸の對米積出	七	二七
○租界電車收入	四	三六	○米對支企業投資	七	二七
○南洋日人發展	四	三六	○內地落花生不況	七	二八
○支那食糧調查	四	三六	○支那の銑鐵條令	七	二八

○米國禁入の影響	七	二九
○軍類禁入の打撃	七	二九
○貸付六十餘億弗	八	二七
○第三回募債成績	八	二八
○更に小公債發行	八	二八
○平時經濟的壓迫	八	二八
○軍費二百八十億	八	二八
○獨逸支出案可決	八	二九
○米國商船三萬隻	八	二九
○日本へ造船註文	八	二九
○英國の貿易趨勢	八	二九
○露國の損失巨大	八	二九
○正貨十二億餘圓	八	三〇
○昨年各國造船高	八	三〇
○小額紙幣發行高	八	三〇
○簡易保險の近況	八	三〇
○海上再保の成績	八	三一
○五月中の鑛產額	八	三一
○酒造石高の激増	八	三一
○朝鮮移住募成績	八	三一
○綿絲產額の激減	八	三一
○綿絲單位建改正	八	三一
○米國の極東銀行	八	三一
○合併日米支電氣	八	三一
○日華製油の合併	八	三一
○撫順出炭高漸増	八	三一

○支那產燐寸狀況	八	三三
○六月滿洲魚市場	八	三四
○滿洲皮革の成績	八	三四
○三品増資の決定	八	三四
○三品仲買總會議	八	三四
○滿鐵運輸の收入	八	三四
○英支合辦の鉛筆	八	三五
○北滿の小麥買付	八	三五
○天津に於ける鐵	八	三五
○關東州の鐵鑛熱	八	三五
○芝罘築港工事費	八	三六
○芝罘の築港延期	八	三六
○朝鮮の棉花會社	八	三六
○石油は五十錢高	八	三六
○日本郵船臨時總會	八	三六
○大阪商船會社總會	八	三六
○大阪商船汽船新造	八	三七
○大會組織變更	八	三七
○東亞煙工場近況	八	三七
○鞍山の工事繁盛	八	三七
○大連民政管内農	八	三八
○秦皇島の將來觀	八	三八
○瓜哇糖在荷潤澤	八	三九
○外糖問題の協議	八	三九
○燐寸の恢復曙光	八	四〇
○印棉狂騰の事情	八	四〇

○糖界稍活氣付く	八	四〇	○上海九月中商況	一一	四一
○滿洲の綿絲布界	八	四〇	○鹽供給に付當局の辯明	一二	三七
○吉林の亞麻試作	八	四〇	○支那關稅改正委員會	一二	三九
○支那工業試驗所	九	三七	○米國棉花分配委員會の議決	一二	三九
○去年輸入綿製品	九	三八	○山西省の石炭	一二	三九
○大連上半期貿易(大正七年)	九	三八	○日本の陝西石油協定	一二	四三
○全國手形交換高	九	三九	○保險業法改正諮問	一二	四三
○滿洲の黃燐燐寸	九	三九	○世界金融中心の移動	一二	四四
○支那向輸出油樽	九	四〇	○流行感冒と被保險人死亡	一二	四五
○滿洲の小製鐵所	九	四〇	○休戰條約と米國產業に對する制限撤廢	一二	四五
○懷仁鐵道と石炭	九	四一	○英國軍事從事員に對する戰後の措置	一二	四五
○朝鮮の竹パイプ	九	四一	○青島に於ける麥粉輸入情況	一二	四六
○滿洲水產魚市場	九	四一			
○朝鮮紙の利用策	九	四一	雜	錄	
○滿洲對米國航路	九	四二	○龍口近況	八	四一
○上海取引所營業	九	四二	○保險界大勢	八	四五
○對支電氣業統一	九	四三	○上海に於ける植物性油需給狀況	八	四六
○商品陳列館増加	九	四三	○大連に於ける豆油と高粱	八	四九
○米國に於ける戰後經濟施設に就て	一一	三七	○金銀輸移出入額	八	五〇
○對上海取引所反對運動	一一	三八	○青島に於ける綿絲布	八	五一
○關東州關稅改正意見	一一	三八	○青島屠獸場近況	八	五二
○滿鐵埠頭經營方針	一一	三九	○六月中の魚市場	八	五四
○高粱價返還訴訟	一一	三九	○青島に於ける木炭	一一	二八
○滿蒙毛織著手	一一	四〇	○最近營業出願種類	一一	三一
○花生米と花生油	一一	四〇	○臺東鎮近況	一一	三二
○本年朝鮮製鹽高	一一	四一	○發動機船と保險	一一	三三

○米棉の耕作及市價……………一〇……………三四

沿線雜錄

○坊子の家族大會……………	七……………三三
○張店與曹達原料……………	七……………三三
○濰縣聯合運動會……………	七……………三三
○繭出荷と相場立……………	七……………三三
○章邱炭と出炭量……………	七……………三三
○坊子大神宮落成……………	七……………三三
○坊子小學校落成……………	七……………三三
○張店の夏熱加る……………	七……………三三
○張店の中國人會……………	七……………三三
○博山窯業の製品……………	七……………三三
○博山在留日本人……………	七……………三三
○張店と曹達工場……………	七……………三三
○濰縣賣炭の移轉……………	七……………三三
○博山近況……………	八……………五九
○金嶺鎮近況……………	八……………六〇
○坊子近況……………	八……………六〇

濟南雜錄

○吉田領事の赴青……………	七……………三二
○濟南現在日本人……………	七……………三二
○泰安の土匪猖獗……………	七……………三二
○新貨購入の著手……………	七……………三二
○濟豐麵粉の近況……………	七……………三二

○高田大佐の歸任……………	七……………三二
○東文學校修業式……………	七……………三二
○南方派軍人警戒……………	七……………三二
○蕪子山植樹計畫……………	七……………三二
○山東鹽運使顧問……………	七……………三二
○山東省參議改選……………	七……………三二
○高粱取引の旺盛……………	七……………三二
○新炭鑛發見さる……………	七……………三二
○實業の發達擴張……………	七……………三二
○牛油牛皮の商況……………	七……………三二
○豆粕製造公司成る……………	七……………三二
○現銀の拂底……………	八……………六一
○棉業試驗場……………	八……………六一
○鑛業實習所……………	八……………六一
○燐寸會社成る……………	八……………六一
○鑛務契約紙……………	八……………六一
○濟南實業會……………	八……………六一
○革黨員取締……………	八……………六一
○森林の調査……………	八……………六一
○洋針製造所……………	八……………六一
○大汶口洪水……………	八……………六一
○硝石密送者……………	八……………六一
○小洋票偽造……………	八……………六一
○小麥の收穫……………	八……………六一
○外國人商況調査……………	八……………六一
○警務狀態檢閲……………	八……………六一

○各鑛區調查	八	六二
○小清河運航	八	六二
○濟南の水道	八	六二
○鐵鑛の發掘	八	六二
○濟南小麥市況	九	五〇
○濟南石油市況	九	五〇
○濟南砂糖市況	九	五〇
○商品小賣相場	九	五一
○土匪防務會議	九	五一
○土匪逮捕銃殺	九	五一
○山東一帶豐作	九	五一
○麵粉工廠設立	九	五一
○棉壓公司開設	九	五一
○山東財政困難	九	五一
○無線電信建設決定	九	五二
○家屋建築急務	九	五二
○濟南の日本人	九	五二

青 島 雜 錄

○夜間作業開始	一	一〇
○市民會幹事會及評議員會	一	一〇
○正金取引先増加	一	一〇
○鐵道連絡交渉	一	一〇
○年賀郵便	一	一〇
○練習艦隊	一	一〇

○日本人現在數	一	一一
○驅逐隊發向	一	一一
○夜間汽船出入許可	一	一一
○最近魚市場成績	一	一一
○膠海關收入	一	一一
○青島電話數	一	一一
○兩驛乘降客	一	一一
○青島罐詰總會	一	一一
○山東水產株成績	一	一一
○名刺交換會	二	一九
○在鄉軍人會	二	一九
○消防出初式	二	一九
○山東水產成績	二	一九
○中學生來青	二	一九
○原料品割引	二	一九
○輸出博山炭	二	一九
○獨語講習會	二	一九
○葉煙草輸送	二	二〇
○倉庫地貸下	二	二〇
○福昌公司立	二	二〇
○貸下地々割	二	二〇
○燐寸小箱製	二	二〇
○發電所收入	二	二〇
○埠頭現業員	二	二〇
○新製粉工場	二	二〇
○魚市場成績	二	二〇

○外人招待會	二	二〇
○日昇組織變更	二	二〇
○現在人力車	二	二〇
○支那人銀行	二	二〇
○電報受付時	二	二〇
○蔬菜糶市場	二	二〇
○寒天製造所	二	二〇
○鐵鑛區發見	二	二〇
○花生粉製造	二	二〇
○青島義士會	二	二一
○天然氷採取	二	二一
○人事	二	二一
○電報取扱時間延長	三	一六
○夜間船舶入港通知	三	一六
○竹岔島鑛山探掘者	三	一六
○最近家屋建築出願	三	一六
○營業出願濫出の弊	三	一六
○湯屋組合嘆願提出	三	一七
○高女本年卒業者數	三	一七
○水道擴張事業著手	三	一七
○青島製粉操業開始	三	一七
○英國の支那馬輸出	三	一七
○青島發電所の擴張	三	一七
○青島人力車會社株	三	一七
○法院民事裁判件數	三	一七
○ベスト豫防委員會	三	一七

○人事	三	一七
○居住届と轉居届	四	三八
○商標權確認研究	四	三八
○司令官水源地視察	四	三八
○青島高女父兄會	四	三八
○千歲艦外港入港	四	三八
○魚類販賣所問題	四	三八
○膠海關二月中收入	四	三八
○客棧組合の嘆願	四	三九
○塔蓮島漁港計畫	四	三九
○陸軍紀念日賀宴	四	三九
○招工局主任引揚	四	三九
○鐵道汽船連絡成	四	三九
○北滿行苦力輸送	四	三九
○二月末車輛現在	四	三九
○青島李村間道路	四	三九
○市民會評議員會	四	三九
○久原出張所引揚	四	三九
○鉛鑛会社の計畫	四	三九
○獨逸人退去處分	四	三九
○中旬魚市場成績	四	四〇
○改正新犬牌意匠	四	四〇
○青島市民會總會	四	四一
○野戰郵便局長會議	四	四一
○本年就學兒童數	四	四一
○原田汽船旅貨連絡	四	四一

○養蠶試驗所設置	四	四一	○工場地電力	六	二〇
○大港小港連絡路	四	四一	○故吉村大佐	六	二〇
○博山輕鐵の計畫	四	四一	○電話規則改	六	二〇
○道路規則の制定	四	四一	○繫留船電話	六	二〇
○市民會改正會則	四	四一	○新船車連絡	六	二〇
○青島各國人戸口	四	四一	○出炭稅賦課	六	二〇
○人事	四	四一	○洋灰工場成	六	二〇
○青島營業出願	四	四二	○工業地近況	六	二〇
○膠海關收入	五	二五	○人事	六	二一
○海軍檢閱使	五	二六	○製造品輸出便法	七	一九
○對敵取引數	五	二六	○侍從武官の來青	七	二九
○市民會總會	五	二六	○青島燐寸賣出期	七	二九
○第二艦隊來青	五	二六	○市中製氷の賣行	七	二九
○製粉開業宴	五	二六	○電話賣買の相場	七	二九
○郵貯と爲替	五	二六	○煉瓦需要の旺盛	七	三〇
○在郷軍人會	五	二六	○三井の移轉披露	七	三〇
○官民運動會	五	二六	○工場指定地擴張	七	三〇
○招魂祭執行	五	二六	○山東豚毛と英商	七	三〇
○博山炭組合	五	二六	○坊子炭坑出炭量	七	三〇
○人事	五	二六	○議員視察團來青	七	三〇
○外人死亡數	六	一九	○愛媛縣教育團著	七	三〇
○不實營業者	六	一九	○鍼力屑輸出近況	七	三〇
○日本人戸口	六	一九	○小學校長團來青	七	三〇
○魚市場成績	六	一九	○淄川炭の出炭高	七	三一
○新道路竣工	六	一九	○山東今年の豐作	七	三一
○買收一段落	六	二〇	○山東苦力の値上	七	三一

○三菱出張所開設	七	三一
○兩料金取扱便法	七	三一
○人事	七	三一
○工場防火設備	八	五五
○山鐵販賣出炭	八	五五
○勸業債券賣出	八	五五
○勸債賣行好況	八	五五
○衛生狀態良好	八	五五
○小港内の浚渫	八	五五
○青島漁業近況	八	五六
○倉庫建築進捗	八	五六
○外人避暑客數	八	五六
○支那人墓地移轉	八	五六
○六月海關收入	八	五六
○山東セメント	八	五六
○法規尊重の要	八	五七
○大港の埋立地	八	五七
○沿線通信機關	八	五七
○灣内貝類養殖	八	五七
○小港埋立貨下	八	五七
○青島現在車輛	八	五八
○家屋建築簡易	八	五八
○商標權の確保	八	五八
○大港埋立決定	八	五八
○大倉卵粉近況	八	五八
○憲兵派出所増	八	五八

○人事	八	五八
○賣炭方法變更	九	四三
○青島鹽受命額	九	四四
○鹽田地引渡高	九	四五
○青島鹽輸出高	九	四五
○鯛漁と鱈漁業	九	四六
○兩工事請負者	九	四六
○小港棧橋撤去	九	四六
○羊毛改良急務	九	四六
○土匪被害頻々	九	四七
○内地と山東牛	九	四七
○生牛輸出問題	九	四七
○屠獸冷却裝置	九	四八
○衛生狀態良好	九	四八
○民有地の沒收	九	四八
○支那人と電信	九	四八
○通信連絡案文	九	四八
○膠州鹽平年作	九	四八
○青島燐寸軸木	九	四八
○古鐵と鋳力屑	九	四九
○周村綿布工場	九	四九
○鹽化事業計畫	九	四九
○最近避暑外人	九	四九
○管内邦人生死	九	四九
○最近沿線人口	九	四九
○管内の日本人	九	四九

○ 人事	九	五〇
○ 鐵道倉庫業規則實施	一一	四二
○ 大星卵粉公司賣出期	一一	四二
○ 李村的鹽豚移出有望	一一	四二
○ 山東省日支通信聯絡	一一	四三
○ 山東製軋公司開業期	一一	四三
○ 山東葉煙草と買付高	一一	四三
○ 青島浦鹽間海運關係	一一	四四
○ 人事	一一	四四
○ 護岸工事開始	一一	四七
○ 第三埠頭計畫	一一	四七
○ 港內浮標撤去	一一	四七
○ 青島港則改正	一一	四七
○ 貨物引換證券	一一	四七
○ 制錢被害問題	一一	四八
○ 臺西鎮的發展	一一	四八
○ 小包關稅收入	一一	四八
○ 通信聯絡狀況	一一	四八
○ 畜產博出品數	一一	四八
○ 民事訴訟減少	一一	四八
○ 開設許可鹽田	一一	四九
○ 石臼所白楊樹	一一	四九
○ 本年家屋建築	一一	四九
○ 煙草栽培適地	一一	四九
○ 麥酒工場擴張	一一	五〇
○ 人事	一一	五〇

○ 青島守備軍民政部所管建物貸下規則 (大正七年一月二十八日、軍軍令第六號)	二	二一
○ 青島不動產證明規則 (大正六年一月二十六日、軍軍令第二號)	三	二九
○ 道路取締規則 (大正七年四月二日、軍軍令第八號)	四	四二
○ 議會取締規則 (大正七年四月三日、軍軍令第九號)	四	四四
○ 青島埠頭規則 (大正七年四月二十二日、軍軍令第十一號)	四	四五
○ 水產組合規則 (大正七年五月十七日、軍軍令第十四號)	五	二七
○ 船舶電話規則 (大正七年五月二十三日、軍軍令第二十號)	五	二八
○ 周旋業取締規則 (大正七年五月十八日、軍軍令第十六號)	五	二九
○ 銀行營業取締規則 (大正七年四月二十四日、軍軍令第十二號)	六	二一
○ 土石採取規則 (大正七年四月二十五日、軍軍令第十三號)	六	二二
○ 青島守備軍公證規則 (大正六年十二月二十一日、軍軍令第三十五號)	七	三三
○ 「モルヒネ」「コカイン」取締規則 (大正七年四月二十一日、軍軍令第十號)	七	三五
○ 原動機取締規則 (大正七年六月二十七日、軍軍令第二十二號)	七	三五
○ 植樹獎勵規程 (大正七年七月十一日、軍軍令第二十五號)	八	六二
○ 戰時海上再保險ニ關スル軍告示 (大正七年四月十四日、軍告示第六十三號)	八	六三
○ 軍軍令第三十四號中改正 (大正七年八月三十日、軍軍令第三十號)	九	五二
○ 青島發電所給電ニ係ル電燈取付工事費 (大正七年八月三十一日、軍告示第一二七號)	九	五三
○ 鐵道倉庫業規則 (大正七年九月三十日、軍軍令第三十六號)	一〇	三五
○ 青島鹽業規則 (大正七年十月七日、軍軍令第三十七號)	一一	四四

○電報料金後納規則……………五〇
(大正七年十一月二十三日、軍告示第四十二號)

倫敦銀塊相場

○倫敦銀塊相場(十二月中)……………	一一	一二
○同(一月中)……………	二	一二
○同(二月中)……………	三	一二
○同(三月中)……………	四	五三
○同(四月中)……………	五	三二
○同(五月中)……………	六	二二
○同(六月中)……………	七	三八
○同(七月中)……………	八	六三
○同(八月中)……………	九	五三
○同(九月中)……………	一〇	四二
○同(十月中)……………	一一	五〇
○同(十一月中)……………	一二	五二

統計

○青島港出入船舶(大正六年十一月中)……………	一	一三
○青島出入船舶旅客數(大正六年自九月至十一月)……………	一	一三
○青島屠獸場屠殺數(大正六年自一月至十一月)……………	一	一四
○青島、臺東鎮郵便發著數(大正六年自九月至十一月)……………	一	一四
○青島、臺東鎮郵便爲替數(同年十月、十一月中)……………	一	一四
○青島、臺東鎮郵便貯金數(同上)……………	一	一四
○青島輸出貿易品(大正六年十一月中)……………	一	一五
○山鐵三驛貨物發著表(同上)……………	一	一五
○青島の物價表(大正六年十二月中)……………	二	二三

○青島輸出貿易品(同上)……………	二	二六
○青島三驛發著重要貨物數量(同上)……………	二	二八
○青島港出入汽船數(大正六年中)……………	二	二九
○青島港出入帆船數(大正六年中)……………	二	三〇
○青島出入汽船旅客數(大正六年中)……………	二	三一
○青島、大港兩驛乘客(大正六年中)……………	二	三二
○屠獸場屠殺數(大正七年一月中)……………	三	三二
○青島の物價表(同上)……………	三	三四
○青島三驛發著(同上)……………	三	三七
○青島輸出貿易品(同上)……………	三	四〇
○青島港出入汽船(同上)……………	三	四四
○青島港出入汽船旅客數(同上)……………	三	四五
○青島物價表(大正七年二月中)……………	四	五四
○青島港出入汽船及積卸貨物數量(同上)……………	四	五七
○青島港出入汽船(同上)……………	四	五七
○青島港出入汽船揚荷及積荷數量(同上)……………	四	五八
○大正六年中青島貿易輸出入品……………	四	五九
○大正六年中民船貿易品……………	四	六一
○埠頭陸揚貨物噸數仕出地別(大正七年二月中)……………	四	六二
○埠頭船積貨物噸數仕向地別(同上)……………	四	六四
○大正六年中青島三驛發著主要貨物數量……………	四	六六
○青島三驛發著主要品(大正七年二月中)……………	四	六七
○青島出入船舶旅客表(同上)……………	四	七〇
○青島、大港兩驛乘客(同上)……………	四	七一
○屠獸場屠殺數(大正七年三月中)……………	四	七二
○青島物價表(三月中)……………	五	三二

○青島輸出入貿易品(三月中).....	五.....三五
○青島三驛發著貨物主要品(三月中).....	五.....三九
○青島港出入汽船及積卸貨物數量(三月中).....	五.....四三
○青島港出入汽船仕出及仕向地別(三月中).....	五.....四三
○青島港出入汽船揚荷及積荷噸數(三月中).....	五.....四四
○青島港出入汽船旅客表(三月中).....	五.....四五
○青島、大港兩驛乘降客(三月中).....	五.....四六
○屠獸場屠殺數(四月中).....	五.....四六
○青島物價表(五月中).....	六.....二五
○青島輸出入貿易品(四月中).....	六.....二八
○青島三驛發著貨物主要品(四月中).....	六.....三二
○青島港出入汽船及積卸貨物噸數(四月中).....	六.....三六
○青島港出入汽船仕出及仕向地別(四月中).....	六.....三六
○青島港入港汽船揚荷及積荷噸數.....	六.....三七
○青島港出入汽船旅客表(四月中).....	六.....三八
○青島、大港兩驛乘降客人員(四月中).....	六.....三九
○屠獸場屠殺數(五月中).....	六.....四〇
○青島物價表(六月中).....	七.....三九
○青島輸出入貿易品(五月中).....	七.....四二
○埠頭陸揚貨物數(五月中).....	七.....四八
○埠頭船積貨物(五月中).....	七.....五〇
○青島三驛發著貨物主要品(五月中).....	七.....五二
○青島出入汽船及積卸數量(五月中).....	七.....五六
○青島港出入汽船仕出及仕向地別(五月中).....	七.....五六
○入港汽船揚荷噸數(五月中).....	七.....五七
○出港汽船積荷噸數(五月中).....	七.....五八

○青島出入船舶旅客表(五月中).....	七.....五八
○青島、大港兩驛乘降客人員(五月中).....	七.....五九
○屠獸場屠殺數(六月中).....	七.....六〇
○青島輸出入貿易品(六月中).....	八.....六四
○青島三驛發著貨物主要品(六月中).....	八.....七〇
○埠頭陸揚貨物噸數仕出地別(六月中).....	八.....七四
○埠頭船積貨物噸數仕向地別(六月中).....	八.....七五
○青島出入汽船及積卸貨物數量(六月中).....	八.....七八
○青島出入汽船仕出、仕向地別(六月中).....	八.....七八
○青島港出入汽船揚荷及積荷噸數國籍別(六月中).....	八.....七九
○青島出入船舶旅客表(六月中).....	八.....八〇
○青島、大港兩驛乘降客人員(六月中).....	八.....八一
○屠獸場屠殺數(七月中).....	八.....八二
○青島輸出入貿易品(七月中).....	九.....五五
○青島三驛發著貨物主要品(七月中).....	九.....六一
○埠頭陸揚貨物噸數仕出地別(七月中).....	九.....六五
○埠頭船積貨物噸數仕向地別(七月中).....	九.....六六
○青島出入汽船及積卸貨物數量(七月中).....	九.....六九
○青島出入汽船仕出、仕向地別(七月中).....	九.....六九
○入港汽船揚荷噸數國籍別(七月中).....	九.....七〇
○出港汽船積荷噸數國籍別(七月中).....	九.....七〇
○青島出入汽船旅客表(七月中).....	九.....七一
○青島、大港兩驛乘降客人員(七月中).....	九.....七二
○屠獸場屠殺數(八月中).....	九.....七三
○青島輸出入貿易品(八月中).....	一〇.....四三
○青島三驛發著貨物主要品(八月中).....	一〇.....四九

○埠頭陸揚貨物噸數仕出地別(八月中).....	一〇.....	五三
○埠頭船積貨物噸數仕向地別(八月中).....	一〇.....	五五
○青島港出入汽船及積卸貨物數量(八月中).....	一〇.....	五七
○青島港出入汽船仕出仕向地別(八月中).....	一〇.....	五七
○入港汽船積荷噸數國籍別(八月中).....	一〇.....	五八
○出港汽船積荷噸數國籍別(八月中).....	一〇.....	五八
○青島出入船舶旅客表(八月中).....	一〇.....	五九
○青島、大港兩驛乘降客人員(八月中).....	一〇.....	六〇
○屠獸場屠殺數(九月中).....	一〇.....	六一
○青島輸出貿易品(九月中).....	一一.....	五一
○青島三驛發著貨物主要品(九月中).....	一一.....	五七
○埠頭陸揚貨物噸數仕出地別(九月中).....	一一.....	六一
○埠頭船積貨物噸數仕向地別(九月中).....	一一.....	六三
○青島出入汽船及積卸貨物數量(九月中).....	一一.....	六五
○青島出入汽船仕出仕向地別(九月中).....	一一.....	六五
○入港汽船積荷噸數國籍別(九月中).....	一一.....	六六
○出港汽船積荷噸數國籍別(九月中).....	一一.....	六六
○青島出入船舶旅客表(九月中).....	一一.....	六七
○青島、大港兩驛乘降客人員(九月中).....	一一.....	六八
○屠獸場屠殺數(十月中).....	一一.....	六九
○青島物價表(十月中).....	一二.....	五三
○青島輸出入貿易品(十月中).....	一二.....	五九
○青島三驛發著貨物主要品(十月中).....	一二.....	六五
○埠頭陸揚貨物噸數仕出地別(十月中).....	一二.....	六九
○埠頭船積貨物噸數仕向地別(十月中).....	一二.....	七一
○青島出入汽船及積卸貨物數量(十月中).....	一二.....	七三

○青島出入汽船仕出、仕向地別(十月中).....	一二.....	七三
○入港汽船積荷噸數國籍別(十月中).....	一二.....	七四
○出港汽船積荷噸數國籍別(十月中).....	一二.....	七四
○青島港出入船舶旅客表(十月中).....	一二.....	七五
○青島、大港兩驛乘降客人員(十月中).....	一二.....	七六
○屠獸場屠殺數(十一月中).....	一二.....	七七
附 錄		
○青島海關制度.....	九.....	一
○青島海關制度.....	一〇.....	一三

青島實業協會月報總目錄(終)